

# 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

——わが法の史的源流の一つの紹介——

堤 龍 弥

## 目次

- I まえがき
- II 法文の翻訳 (以上, 本号)
- III 立法理由の翻訳
- IV あとがき
- 補遺 1 ピエール・フランソワ・ベロの人と作品
- 補遺 2 強制執行編の法文および注釈の翻訳

## I ま え が き

ジュネーヴは、1814年、ナポレオン率いるフランスの支配から脱して、正式なカントンとしてスイス連邦に加入した。本稿は、この新生ジュネーヴのために1819年9月29日に立法された民事訴訟法 (Loi sur la procédure civile du 29 septembre 1819 pour le Canton de Genève) の内容を紹介し、あわせて同法の立法者であるベロ (Pierre-François Bellot) の経歴を披露しようとするものである。

この民事訴訟法は、その立法理由書の序文にもあるように、「手続の大胆な簡略化と、証拠調べをできる限り一般公衆の監視下に置き、かつその証拠調べの結果を受訴裁判所の裁判官たちの直接的な評価に委ねる、

という配慮」によって歴史的にも注目すべきものである。

周知のように、わが国の民事訴訟法の原型、明治民事訴訟法（旧々民事訴訟法）は、1877年のドイツ帝国法（CPO）をモデルとして採用したが、このドイツ帝国法を特徴づける公開主義、口頭主義、直接主義は、もともと1850年のハノーファー王国法（その立法者レオンハルト（Adolf Leonhardt）は、のちにドイツ帝国法の立法にも関与する）に由来している。<sup>(1)</sup>そして、そのハノーファー王国法は、ドイツ普通法とフランス法の成果を結合したものとされているが、正確にはフランス法よりもジュネーヴ法を参照したものである。<sup>(2)</sup>この意味では、ジュネーヴ法はわが国民事訴訟法の源流の一つと言っても過言ではない。

ジュネーヴ法の立法者ペロは、レオンハルト、クライン（Franz Klein、1895年オーストリア民事訴訟法の立法者）と並んで、19世紀ヨーロッパ民事訴訟法の3大立法者に数えられることがある。本稿は、このペロと、彼の作品であるジュネーヴ民事訴訟法を紹介することによって、わが国の民事訴訟法の審理方式とその成立過程に関心をもたれる人々に一つの史的な資料を提供しようとするものである。<sup>(3)</sup>

(1) これに関連し、ドイツ民法における審理方式の史的考察に関する最近の文献として、鈴木正裕「争点整理の方策について」原井古稀祝賀『改革期の民事手続法』274頁以下。

(2) A. Leonhardt, Die bürgerliche Proceßordnung und deren Nebengesetze, 3. Aufl., 1861, S. 139; ders., Zur Reform des Civilprocesses in Deutschland 1, Hannover 1865, S. 118 ff. および神戸大学外国法研究会編・獨逸民事訴訟法〔I〕現代外国法典叢書（10）3～4頁（中田淳一執筆）参照。

(3) 法文および立法理由の翻訳の底本としては、シャルル・ショブ（Charles Schaub, 弁護士、ペロの甥でその相続人）とその協力者のシャルル・ブロッシェ（Charles Brocher, 博士・教授、ペロの弟子で法学部の後継者、カントン・ジュネーヴ破毀院判事）の編集・発行になる“Loi sur la procédure civile du canton de Genève avec l'exposé des motifs par P.-F. Bellot, 4<sup>e</sup> éd., 1877”を利用した。

## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

以下、本書の内容および本翻訳に関連して、いくつかお断りしておかなければならない。

まず、ジュネーヴ民法は、全33編から構成され、そのうち第1編～第23編がいわゆる判決手続に、第24編が仲裁、第25編が公正証書に当てられており、第26編～第32編がいわゆる強制執行編に、そして最後の第33編が一般規定となっている。そして、1821年刊の第1版では、第1編～第25編（本書の第1部）および第33編に、ペロ自身の手になる立法理由（Exposé des motifs）が付けられており、第26編以降（本書の第2部）の注釈（Commentaires）は、ペロの死後、第2版（1837年刊）で付加されたものである（ちなみに、この第2部の注釈も、ペロ自身の手になる1829年のジュネーヴ・アカデミー〔ジュネーヴ大学の前身〕で行われた講義録から忠実に編纂されたものである）。その後、1870年に出版された第3版は、ジュネーヴにおいてよりも外国で品切れが続出したようである。なお、本拙訳の底本である第4版については、当時連邦法の制定作業が進んでおり、その成立後はジュネーヴ法のかなりの部分が改廃される可能性があったにもかかわらず、その理論的価値ゆえか、新たにペロの人と作品の章を加えて出版された経緯がある。以上から、本稿では、ペロの手になる当初の立法状況を再現する意味からも、強制執行編を除いた判決手続に関連する部分を、便宜上先に翻訳することにする。

つぎに、最近本書の原本が復刻されたとはいえ、必ずしもポピュラーなものでなく、訳文の拙劣さもさることながら読者の便宜を考え（訳文に疑問を感じたときにすぐにその内容を読者自身で正確に確認していただくことができるよう、法文についてのみではあるが）あえて原文を付けさせていただくことにした。

また、上記原本においては、その法文中に（ ）で参照条文等が引用されており、また脚注も付されている。これは、代議員会が研究および実務上の観点から本書の公式版（l'édition officielle）においてその挿入を認めたものであり、本来の法文の構成部分ではない。このうち、脚注は、主としてその後の法令の改廃をフォローしたものであるが、他の関連法（その主なものは、本書の最後に Supplément として掲載されている。本稿では省略）の理解が不可欠であることと、先にも述べたように、できるだけペロの当初の法文を紹介したいことなどから、本稿では割愛させていただくことにした（なお、法文中の引用条文のうち、明らかな誤植と思われるところのみ訂正させていただいた）。

なお、訳文中の〔 〕および〔 〕は訳者が読者の便宜のために挿入したもので、前者は直前の言葉の言換え、後者は文脈中の補充部分である。

まさに訳文の未熟さを露呈しているようであるが、訳者の試行錯誤の跡とご了解願えれば幸いである。今後ご指摘を得て、訂正の機会を持ちたいと考えている。

最後に、本書の価値とその時代背景について種々ご教示のうえ、その原本をご貸与くださった私の恩師でもある鈴木正裕先生（甲南大学法学部教授、前神戸大学長、神戸大学名誉教授）のご厚意に対し、心より感謝申し上げます。次第である。

## II 法文の翻訳

LOI SUR PROCÉDURE CIVILE du 29 septembre 1819

1819年9月29日ジュネーヴ州民事訴訟法

### 目次

TITRE I. De la demande en justice

第1編 裁判上の請求（1～6条）

TITRE II. Des mesures provisionnelles

第2編 仮の措置（7～31条）

SECTION 1. Des diverses mesures provisionnelles

第1節 各種の仮の措置

SECTION 2. De l'obtention et de l'exécution des mesures provisionnelles

第2節 仮の措置の取得および執行

SECTION 3. De l'opposition aux mesures provisionnelles

第3節 仮の措置に対する異議

TITRE III. Des exploits ou actes d'huissiers

第3編 執達書または執行吏証書（32～56条）

SECTION 1. Des exploits en général

第1節 執達書の通則

SECTION 2. Des exploits d'ajournement en particulier

第2節 呼出状の特則

TITRE IV. De l'introduction des causes en justice

第4編 訴えの提起（57～64条）

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

TITRE V. Exceptions à proposer d'entrée de cause

第5編 訴訟開始に対する抗弁 (65~70条)

SECTION 1. De l'exception déclinatoire

第1節 無管轄の抗弁

SECTION 2. De la caution à fournir par le demandeur étranger

第2節 外国人の原告により立てられるべき保証人

SECTION 3. De la mise en cause des garants

第3節 担保義務者の訴訟呼出し

TITRE VI. Instruction préalable à la plaidoirie

第6編 弁論の事前手続 (71~83条)

TITRE VII. De la plaidoirie et de la manière de la suppléer

第7編 弁論およびその補佐 (84~95条)

SECTION 1. De la plaidoirie

第1節 弁論

SECTION 2. Des causes plaidées sans plaidoirie

第2節 弁論を経ないで裁判される訴訟事件

TITRE VIII. Conclusions du Ministère public

第8編 検察官の論告 (96~100条)

TITRE IX. Des jugements

第9編 判決 (101~113条)

SECTION 1. Des jugements et de leur prononciation

第1節 判決およびその言渡し

SECTION 2. De la rédaction des jugements

第2節 判決書

SECTION 3. Des copies et expéditions des jugements

第3節 判決の謄本および正本

SECTION 4. De la signification des jugements

第4節 判決の送達

TITRE X. Des dépens

第10編 訴訟費用 (114~128条)

TITRE XI. Du défaut et de l'opposition

第11編 欠席 [判決] および故障申立て (129-149条)

SECTION 1. Du défaut

第1節 欠席 [判決]

SECTION 2. De l'opposition

第2節 故障申立て

TITRE XII. Des ordonnances préparatoires et des procédures probatoires en général

第12編 準備命令および証拠調べ通則 (150～159条)

TITRE XIII. De l'interrogatoire des parties

第13編 当事者尋問 (160-171条)

SECTION 1. Du mode ordinaire de procéder

第1節 通常の手續方式

SECTION 2. Des exceptions au mode ordinaire de procéder

第2節 通常の手續方式に対する例外

TITRE XIV. Du serment judiciaire déferé à une partie

第14編 当事者に要求される裁判上の宣誓 (172～178条)

TITRE XV. De l'enquête par témoins

第15編 証人尋問 (179～213条)

SECTION 1. Du mode ordinaire de procéder

第1節 通常の手續方式

SECTION 2. Des exceptions au mode ordinaire de procéder

第2節 通常の手續方式に対する例外

TITRE XVI. Des experts

第16編 鑑定人 (214～228条)

TITRE XVII. Du transport des juges sur les lieux

第17編 裁判官による現場検証 (229, 230条)

TITRE XVIII. De la vérification des écritures

第18編 文書の検真 (231～257条)

TITRE XIX. Du pétitoire et du possessoire en matière d'immeubles

第19編 不動産に関する本権の訴えおよび占有の訴え (258～266条)

TITRE XX. De l'intervention

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第20編 参加 (267～271条)

TITRE XXI. Suspension, reprise et péremption d'instance

第21編 訴訟手続の停止, 受継および滅効 (272～279条)

TITRE XXII. De l'interprétation et de la révision des jugements

第22編 判決の解釈および訂正 (280～302条)

SECTION 1. Des cas donnant lieu à interprétation et à révision

第1節 解釈および訂正が問題となる場合

SECTION 2. Des délais pour se pourvoir en interprétation et en révision

第2節 解釈および訂正の請求期間

SECTION 3. De la manière de former et d'instruire la demande en interprétation et celle en révision

第3節 解釈請求および訂正請求を提起し審理する方法

SECTION 4. Des jugements d'interprétation et de révision

第4節 解釈および訂正判決

TITRE XXIII. De l'appel à la Cour de justice civile

第23編 民事上級裁判所への上訴 (303～334条)

SECTION 1. Des cas où l'appel est admis

第1節 上訴が認容される場合

SECTION 2. Du délai d'appel

第2節 上訴期間

SECTION 3. De la forme d'appel

第3節 上訴の方式

SECTION 4. De l'exécution provisoire en cas d'appel

第4節 上訴の場合の仮執行

SECTION 5. De la manière de procéder sur l'appel

第5節 上訴審の手續方式

SECTION 6. Des jugements d'appel

第6節 上訴審判決

SECTION 7. De l'interprétation et de la révision des jugements d'appel

第7節 上訴審判決の解釈および訂正

TITRE XXIV. De l'arbitrage

第24編 仲裁 (335～367条)

SECTION 1. Des cas où l'arbitrage est permis

第1節 仲裁が許される場合

SECTION 2. Nomination, acceptation, révocation et récusation des arbitres

第2節 仲裁人の選任, 受諾, 解任および忌避

SECTION 3. De l'instruction devant les arbitres

第3節 仲裁人の面前における審理

SECTION 4. Du jugement arbitral

第4節 仲裁判断

SECTION 5. Des voies de recours contre le jugement arbitral

第5節 仲裁判断に対する不服申立て

SECTION 6. De l'expiration de l'arbitrage

第6節 仲裁の満了

TITRE XXV. Des actes assimilés aux jugements

第25編 判決と同一の [効力を有する公証人] 証書 (368～373条)

TITRE XXVI. De l'exécution forcée. —Dispositions générales

第26編 強制執行。一般規定 (374～410条)

TITRE XXVII. De l'exécution forcée sur les biens meubles

第27編 動産に対する強制執行 (411～482条)

TITRE XXVIII. De l'exécution forcée sur les revenus des immeubles

第28編 不動産収入 [未分離果実, 地代, 小作料] に対する強制執行 (483～513条)

TITRE XXIX. De l'exécution forcée sur les immeubles

第29編 不動産に対する強制執行 (514～631条)

TITRE XXX. Suite de l'exécution forcée sur les immeubles. —De l'ordre des créanciers et de la distribution du prix

第30編 不動産に対する強制執行の続き。債権者配当順位および代金配当 (632～681条)

TITRE XXXI. De la contrainte par corps

第31編 [債務者の] 身体拘束 (682～725条)



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

TITRE XXXII. Du délaissement forcé

第32編 強制委付 (726～736条)

TITRE XXXIII. Dispositions générales

第33編 一般規定 (737～771条)

SECTION 1. Des délais

第1節 期間

SECTION 2. Des nullités

第2節 無効

SECTION 3. Des peines contre les parties

第3節 当事者に対する制裁

SECTION 4. Des peines contre les officiers judiciaires

第4節 司法補助吏に対する制裁

SECTION 5. Du formulaire

第5節 書式

TITRE PREMIER DE LA DEMANDE EN JUSTICE

第1編 裁判上の請求

ART.1. Celui qui prétend à une chose ou à un droit, pour l'obtenir légitimement, en cas de refus du débiteur ou de détenteur, doit en former la demande devant le tribunal compétent d'après la Loi sur l'organisation judiciaire.

第1条 権利を主張しまたは物を要求する者は、債務者または所持者がそれを拒む場合、適法にそれを取得するためには、司法組織法に基づく管轄裁判所に訴えを提起しなければならない。

ART.2. Pour former une demande en justice, ou pour y défendre, il faut avoir le libre exercice de ses droits.

Les personnes ou les corps qui n'ont pas le libre exercice de leurs droits doivent être représentés, assistés ou autorisés en justice de la

manière fixée par les lois qui règlent leur état ou leur organisation.

第2条 訴えを提起しまたはそれに応訴するためには、当該権利の自由行使権〔行為能力〕を有しなければならない。

係争権利の自由行使権を有していない個人または団体は、その身分または組織を規律する法律により定められた方法で代理され、補佐され、または裁判上の権限を与えられなければならない。

ART.3. Il ne sera statué sur aucune demande, sans que la partie, contre laquelle elle sera formée, n'ait été entendue ou dûment appelée, sauf les mesures provisionnelles autorisées par la Loi(Tit. II).

第3条 請求の相手方とされた当事者は、法律により認められている仮の措置を除いて（第2編）、審尋されまたは適式に呼び出されない限り、いかなる請求についても、裁判されない。

ART.4. Toute demande devant un tribunal, y sera formée par un exploit d'ajournement (Tit.III, Sect. II), à moins que l'une et l'autre des parties n'y comparaissent volontairement, pour exposer leur différend et requérir jugement.

第4条 裁判所に提起される請求は、呼出状（第3編第2節）によりなされる。ただし、当事者の双方が、その紛争を明らかにし、判決を求めて、任意に出頭してきた場合は、この限りでない。

ART.5. Aucune demande entre époux, ou entre ascendants et descendants, ne sera formée devant un tribunal sans l'autorisation du Président, qui ne l'accordera qu'après avoir cherché à concilier les parties.

Cette autorisation pourra être donnée dans la forme prescrite par l'article 46.

第5条 夫婦または親子間のいかなる請求も、裁判所長の許可なくしては裁判所に提起されえず、裁判所長は当事者間に和解を勧試した後でのみ、その許可を与える。

1819年のジュネーブ民事訴訟法(1)

ART.6. Pour toute autre demande, l'essai préalable de la conciliation sera purement facultatif. Le mode en est réglé par la Loi sur l'organisation judiciaire.

第6条 その他の請求については、和解の事前勧試は、全くの任意である。その方式は司法組織法により規定される。

TITRE II DES MESURES PROVISIONNELLES

第2編 仮の措置

SECTION I Des diverses mesures provisionnelles.

第1節 各種の仮の措置

ART.7. Le Président du Tribunal civil pourra autoriser à saisir, entre les mains d'un tiers, les sommes et autres effets mobiliers appartenant au débiteur de la partie requérante.

L'autorisation de saisir pourra aussi être accordée tant par l'Auditeur du domicile du débiteur que par celui du domicile du tiers.

第7条 民事裁判所長は、第三者の手中にある、原告の債務者所有の金銭その他の動産の、[仮] 差押えを許可することができる。

[仮] 差押えの許可は、債務者の住所地の法務官、さらには第三者の住所地の法務官によっても与えられうる。

ART.8. Le Président du Tribunal civil pourra autoriser, pour loyers et fermages exigibles, la saisie des meubles et fruits existants dans les bâtiments et sur les fonds loués ou affermés.

En cas de déplacement des meubles garnissant la maison ou la ferme, le Président du Tribunal civil pourra en autoriser la saisie, si la réquisition lui en est faite dans le délai pendant lequel le privilège, pour loyers et fermages, est conservé sur lesdits immeubles.

第8条 民事裁判所長は、請求されている賃料および小作料のために、建物

内または賃貸または小作させている土地に存する動産および果実の〔仮〕差押えを許可することができる。

家屋または小作地に備え付けられている家財の移動の場合、民事裁判所長は、その賃料および小作料のために、先取特権が前述の不動産上に認められている期間内に、申立てがなされたときは、その〔仮〕差押えを許可することができる。

ART.9. Le Président du Tribunal civil pourra autoriser à saisir, entre les mains de tout détenteur, les effets mobiliers dont la propriété serait revendiquée.

第9条 民事裁判所長は、いかなる所持者の手中でも、所有権に基づいてその返還が請求されている動産の〔仮〕差押え〔占有移転禁止の仮処分〕を許可することができる。

ART.10. Il pourra autoriser à saisir, en mains du débiteur lui-même, ses effets mobiliers,

1° S'il n'est pas domicilié dans le Canton;

2° Si, quoique domicilié, il y a lieu de craindre sa fuite ou le divertissement de ses effets.

Dans le dernier cas la saisie pourra être autorisée même pour une dette non échue.

第10条 民事裁判所長は、つぎの場合には、債務者自身の手中において、その動産の〔仮〕差押えを許可することができる。

1 債務者が州内に居住していないとき、

2 居住してはいるが、逃亡またはその財産の私消のおそれがあるとき。

後者の場合には、〔仮〕差押えは、未だ履行期の来ていない債務のためにも、許可されうる。

ART.11. Le Président du Tribunal civil, pour une dette exigible, pourra autoriser l'arrestation du débiteur non domicilié dans le Canton,

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

s' il est justiciable de ses tribunaux, et contraignable par corps (Tit. XXXI, Sect. I).

第11条 民事裁判所長は、支払期限の来た債務のために、債務者が当該裁判所の管轄に服しかつ民事拘束されうる場合には（第31編第1節）、州内に居住していない債務者の〔仮〕勾留を許可することができる。

ART.12. Si le débiteur donne des sûretés suffisantes, le Président du Tribunal civil refusera, ou fera cesser les mesures provisionnelles autorisées dans les deux articles précédents.

第12条 債務者が十分な担保を提供するときは、民事裁判所長は、許可を与えずまたは前2条において許可された仮の措置を中止させる。

ART.13. Lorsqu'il s'agira de nouveaux ouvrages entrepris contre l'ancienne disposition des lieux, le Président du Tribunal civil pourra les faire suspendre, ou n'en autoriser la continuation qu'avec caution (Art. 751, n°7).

第13条 当該物件に対する以前の措置を害する新たな企てが生じたときは、民事裁判所長は、それらを一時停止させ、または保証人をもってのみ、その続行を許可することができる（第751条7号）。

ART.14. En cas d'urgence, les mesures provisionnelles, décrites dans les six articles précédents, pourront être autorisées par l'Auditeur de l'arrondissement, à la charge d'en référer dans les vingt-quatre heures au Président du Tribunal civil, qui pourra les révoquer ou les modifier.

第14条 緊急の場合、前6条に規定された仮の措置は、それを取り消しまたは変更することのできる民事裁判所長への24時間内の付託を条件に、郡の法務官により許可されうる。

ART.15. Lorsque d'après la nature des objets, il y aura urgence de vérifier et de constater leur état, le Président du Tribunal civil pourra

nommer à cet effet un ou trois experts.

Il recevra leur serment et leur rapport, ou il commettra, pour les recevoir, un Auditeur ou le Maire de la commune (Titre XVI).

Il décidera, suivant les circonstances, si les parties devront être appelées à l'expertise.

第15条 物の性質により、その状態を検査し確認すべき緊急性があるときは、民事裁判所長は、そのために一人または三人の鑑定人を任命することができる。

所長は、その宣誓と報告を受け、またはそれらを受けるために、法務官または市長に委任する（第16編）。

所長は、状況により、当事者を鑑定に呼び出すべきかどうかを決定する。

ART.16. S'il s'agit d'affaires de la juridiction du Tribunal de commerce, la mesure provisionnelle ci-dessus sera ordonnée par son Président.

第16条 商事裁判所の管轄に属する事件が問題となるときは、上記の仮の措置は、同所長により命じられる。

ART.17. A défaut du Président du Tribunal civil ou du Président du Tribunal de commerce, l'Auditeur de l'arrondissement pourra lui-même nommer les experts, recevoir leur serment et leur rapport.

第17条 民事裁判所長または商事裁判所長に代わり、郡の法務官も自ら、鑑定人を任命し、その宣誓および報告を受けることができる。

ART.18. A l'exception des cas mentionnés dans la présente Section, et de ceux qui seraient ailleurs prévus spécialement par la Loi, les tribunaux statueront eux-mêmes, parties ouïes ou dûment appelées, sur toute autre espèce de demande provisionnelle.

第18条 本節に記載された諸場合および法律によりとくに規定された場合を除き、その他の種類の仮の申立てについては、裁判所が自ら、当事者を審尋しまたは適式に呼び出した上で、裁判する。

SECTION II

De l'obtention et de l'exécution des mesures provisionnelles.

第2節 仮の措置の取得および執行

ART.19. L'ordonnance qui autorisera une mesure provisionnelle, sera rendue de l'une des manières suivantes:

Sur une requête écrite et signée par la partie;

Sur une requête signée par un Procureur;

Sur un exposé verbal qui sera inséré dans l'ordonnance.

La requête ou l'exposé verbal exprimera la nature et le motif de la mesure réclamée.

Les pièces à l'appui y seront jointes.

第19条 仮の措置を許可する命令は、つぎの方法の一つにより下される。

当事者により作成され署名された申請書に基づいて、

代訴士により署名された申請書に基づいて、

命令に登載される口頭による説明に基づいて。

申請書または口頭による説明には、請求されている措置の種類およびその理由が明示される。

証拠となる書証が、それに添付される。

ART.20. Dans les cas prévus par les art.7, 8, 10 et 11, l'ordonnance déterminera la somme pour laquelle la saisie sera autorisée.

第20条 第7条、第8条、第10条および第11条に規定されている場合には、命令は、[仮] 差押えが許可される [被保全債権] 額を決定する。

ART.21. Avant d'autoriser les mesures provisionnelles, le Président du Tribunal civil et les Auditeurs pourront assujettir les requérants à donner caution.

La caution admise fera sa soumission sur l'ordonnance; elle en signera l'original et la copie.

第21条 仮の措置を許可する前に、民事裁判所長および法務官は、申立人に  
対し、保証人を立てるよう義務付けることができる。

承認された保証人は、命令に服し、その原本および謄本に署名する。

ART.22. Les ordonnances provisionnelles seront exécutées sur l'original et sans signification préalable.

Il en sera donné copie lors de l'exécution seulement.

第22条 仮の命令は、原本に基づきかつ事前の送達なしに執行される。

ただ執行に際しては、その謄本が交付される。

ART.23. Lesdites ordonnances, selon la nature de la mesure qu'elles autoriseront, seront mises à exécution d'après les règles tracées dans les Titres XXVI, XXVII, XXVIII et XXXI.

第23条 上記命令は、その許可する措置の種類により、第26編、第27編、第28編および第31編に示された規定に従って、執行が開始される。

ART.24. L'ordonnance, qui accordera une mesure provisionnelle, sera périmée de plein droit, si elle n'a été mise à exécution dans les deux semaines de sa date.

第24条 仮の措置を認める命令は、その日から2週間内にその執行が開始されないときは、当然に失効する。

ART.25. L'effet des mesures provisionnelles cessera aussi de plein droit:

1° Pour le cas de l'arrestation du débiteur(Art.11), s'il n'y a eu, dans la semaine dès l'exécution, demande introduite en justice (Tit. IV et Art. 715);

2° Pour tous les autres cas, s'il n'y a eu, dans le mois dès l'exécution, accord entre les parties, ou demande introduite en justice (Titre IV).



## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第25条 つぎの場合もまた、仮の措置の効果は、当然に消滅する。

1 債務者の〔仮〕勾留の場合には（第11条）、その執行から1週間内に、裁判上の訴えが提起されないとき（第4編および第715条）、

2 その他の場合には、その執行から1ヶ月内に、当事者間に和解が成立せずまたは裁判上の訴えが提起されないとき（第4編）。

ART.26. Les termes, fixés dans les deux articles précédents, pourront être restreints par l'ordonnance qui autorisera la mesure provisionnelle.

第26条 前2条に定められた期間は、仮の措置を許可する命令により、限縮されうる。

ART.27. Dans le cas des art.7 et 9, la saisie pourra être faite par simple lettre missive du Président du Tribunal civil ou de l'Auditeur, si l'objet de la saisie n'excède pas la compétence du Président du Tribunal civil.

La saisie, faite en cette forme, sera périmée de plein droit, s'il n'y a eu, dans la semaine, accord entre les parties, ou demande introduite en justice (Titre IV).

第27条 第7条および第9条の場合に、〔仮〕差押え〔または仮処分〕の対象が、民事裁判所長の管轄権限を越えないときは、〔仮〕差押え〔または仮処分〕は、民事裁判所長または法務官の単なる親書によりなされうる。

この方式によりなされた〔仮〕差押え〔または仮処分〕は、1週間内に、当事者間に和解が成立せずまたは裁判上の訴えが提起されないときは、当然に失効する（第4編）。

### SECTION III De l'opposition aux mesures provisionnelles.

#### 第3節 仮の措置に対する異議

ART.28. Il pourra être formé opposition aux mesures provisionnelles et aux ordonnances qui les auront autorisées.

L'opposition ne suspendra point l'exécution.

第28条 仮の措置およびそれらを許可した命令に対しては、異議を申し立てることができる。

異議は、執行を停止しない。

ART.29. L'opposition sera formée par exploit d'ajournement (T. III, Sect. II), et elle sera portée:

Devant le Tribunal de commerce, dans le cas de l'art. 16;

Devant le Président du Tribunal civil, dans le cas des art. 7 et 9, si, la créance du saisissant n'excédant pas sa compétence, l'objet saisi n'excède pas non plus cette compétence, ou la dette du tiers saisi n'est pas contestée;

Devant le Tribunal civil, dans tous les autres cas.

第29条 異議は呼出状（第3編第2節）によってなされ、つぎの面前にもたらされる。

第16条の場合は、商事裁判所、

第7条および第9条の場合は、差押人の債権がその管轄権限を越えず、被差押対象物もまたこの管轄権限を越えないとき、または被差押第三者の債務が争われていないときは、民事裁判所長、

その他の場合は、民事裁判所。

ART.30. Le tribunal, sur l'opposition, maintiendra, modifiera ou révoquera, suivant les circonstances, les mesures provisionnelles.

Il annulera celles qui auraient été accordées par un magistrat incompétent ou hors des cas déterminés en la Section I (Art. 751, n°1).

第30条 裁判所は、異議に対して、状況により、仮の措置を維持し、変更しまたは取り消す。

裁判所は、管轄権限を持たない司法官によりまたは第1節において定められた場合（第751条1号）以外で付与された仮の措置を無効とする。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.31. Si le débiteur n'est pas justiciable des tribunaux du Canton, ceux-ci ne connaîtront de la mesure provisionnelle que sous le rapport de l'observation des regles prescrites pour son obtention et son exécution.

Toute autre contestation, tant sur le fond du droit que sur la mesure provisionnelle, sera renvoyée devant les Juges naturels des parties.

第31条 債務者が州裁判所の管轄に服さないときは、同裁判所は、その取得および執行について規定した法規の順守の点についてのみ仮の措置の裁判権を有する。

その他の争いは、本案であれ仮の措置についてであれ、当事者の本国の裁判官に移送される。

TITRE III DES EXPLOITS OU ACTES D' HUISSIERS

第3編 執達書または執行吏証書

SECTION I Des exploits en général.

第1節 執達書の通則

ART.32. Tout exploit ou acte d'huissier comprendra:

Un original pour la partie requérante;

Une copie pour chaque partie sommée ou citée.

第32条 執達書または執行吏証書は、つぎのものからなる。

申立当事者のための原本、

催告されまたは呼び出される各当事者のための謄本。

ART.33. Il ne sera donné qu'une seule copie aux époux non séparés de corps, si l'exploit n'est signifié au mari qu'afin d'autoriser sa femme.

第33条 妻に権限を与えるためにだけその夫に執達書が送達されるときは、別居していない夫婦に一つの謄本のみが交付される。

ART.34. L'original et la copie de tout exploit contiendront:

La date;

Le nom, les prénoms, la profession, le domicile ou la résidence de la partie requérante, ceux de la partie sommée ou citée, ou toute autre désignation précise des parties;

La mention du lieu où chaque copie sera laissée, et de la personne à qui elle le sera;

Le nom, les prénoms et la signature de l'huissier.

第34条 執達書の原本および謄本には、つぎの事項が含まれる。

日時、

申立当事者の氏名、職業、住所または居所、催告されまたは呼び出される当事者のそれら、または当事者を明確にするその他の表示、各謄本が交付される場所およびその場合の交付相手の記載、執行吏の氏名および署名。

ART.35. L'exploit signifié à la requête d'un individu sans domicile ni résidence dans le Canton, contiendra élection d'un domicile dans le Canton.

Toute signification responsive sera faite à ce domicile élu, et, à défaut d'élection, au parquet du Procureur général (Art. 38).

第35条 州内に住所も居所も有しない個人の申請により送達された執達書には、州内における住所の選定が含まれる。

答弁書の送達は、この選定された住所に、もし選定がない場合には、[高等法院の] 主席検察官（第38条）になされる。

ART.36. La copie de l'exploit sera remise, soit à la partie sommée ou citée en personne, soit de la manière décrite dans les articles suivants (Art.37 à 40).

第36条 執達書の謄本は、催告されまたは呼び出される当事者本人に、あるいは次条以下（第37条から第40条）において規定される方法で、交付される。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.37. Si la partie sommée ou citée a un domicile ou une résidence dans le Canton, la copie de l'exploit y sera remise pour elle à l'un de ses parents ou domestiques.

Si l'huissier n'y trouve aucun parent ou domestique, il remettra la copie à un voisin qui signera l'original, et, au défaut de voisin, qui veuille ou puisse signer, à l'Auditeur de l'arrondissement pour la Ville de Genève, ou au Maire de la commune pour le reste du Canton.

Dans ce dernier cas l'Auditeur ou le Maire visera l'original.

第37条 催告されまたは呼び出される当事者が州内に住所または居所を有するときは、執達書の謄本は、そこでこの者に代わり、その両親または〔住込みの〕使用人の一人に交付される。

執行吏がそこで両親または使用人に会わないときは、その原本に署名する隣人にその謄本を交付し、署名してくれるまたはできる隣人がいない場合は、ジュネーヴ市については、郡の法務官に、州のその他については、市長に交付する。

後者の場合において、法務官または市長は、その原本に証印を押す。

ART.38. Si la partie sommée ou citée n'a ni domicile ni résidence dans le Canton, la copie sera remise pour elle au Procureur général, qui visera l'original, à moins que, par les traités ou les concordats passés avec l'État auquel appartient l'individu sommé ou cité, il n'ait été convenu d'un autre mode.

第38条 催告されまたは呼び出される当事者が州内に住所も居所も有しないときは、その謄本は、その者に代わり、原本に証印を押す主席検察官に交付される。ただし、催告されまたは呼び出される個人が属する国家との間で締結されている条約または協約により、他の方法によると決められているときはこの限りでない。

ART.39. Si la partie sommée ou citée n'a aucun domicile ou résidence connue, un extrait de l'exploit sera inséré en outre dans la Feuille

d' Avis.

第39条 催告されまたは呼び出される当事者が知れたる住所も居所も有しないときは、執達書の抄本が、通知書に添付される。

ART.40. Dans le cas d'un domicile élu par une partie, l'huissier y remettra la copie, s'il y trouve celui chez qui le domicile est élu ou l'un des parents ou domestiques de ce dernier ou de la partie.

A défaut desdites personnes, il sera procédé conformément aux articles précédents (Art.37 à 39).

第40条 当事者により選定された住所において、執行吏が、その住所が選定された当該本人またはその両親もしくは後者もしくは当事者の使用人の一人に出会うときは、そこでその謄本を交付する。

上記の者たちがいない場合は、前数条（第37条から第39条）に従って行われる。

ART.41. Toute signification d'exploit aux héritiers d'une partie décédée depuis moins de six mois pourra leur être faite collectivement, sans désignation de noms et de qualités, au domicile qu'avait le défunt.

Néanmoins si ce domicile était fermé, ou s'il n'y restait plus aucun parent ou domestique du défunt, la signification aux héritiers collectivement leur sera faite d'après les art.38 et 39.

第41条 死亡して6ヶ月にならない当事者の相続人への執達書の送達は、[各相続人の] 氏名および身分の表示なしに、これらの者に対し一括して故人の有していた住所になされうる。

ただし、この住所が閉鎖され、またはそこに故人の両親も使用人もはや住んでいないときは、相続人への送達は、これらの者に対し一括して第38条および第39条によりなされる。

ART.42. Les Auditeurs et les Maires donneront sans retard aux parties avis des copies qu'ils auront reçues pour elles (Art. 37).

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

Le Procureur général transmettra de même sans retard les copies par lui reçues pour les parties, si leur domicile ou leur résidence lui est connue(Art. 38).

Les uns et les autres tiendront un registre sur lequel ils inscriront sommairement les copies d'exploit avec la date de leur remise ou envoi.

第42条 法務官および市長は、遅滞なく当事者に対して、自らが当事者に代わって受領（第37条）した謄本の通知をする。

主席検察官は、当事者の住所または居所が分かり次第、同様に遅滞なく、当事者に代わって受領（第38条）した謄本を渡す。

両者とも、記録簿に、執達書の謄本をその交付または送付の日付とともに簡単に記録する。

ART.43. Pour les formalités ci-dessus, et les autres de même nature de la présente Loi, le Maire de la commune pourra être suppléé par l'un de ses Adjoints, l'Auditeur de l'arrondissement par l'un de ses collègues, et le Procureur général par l'un de ses Substituts.

第43条 上記手続および本法におけるその他同種の手続については、市長は助役の一人により、郡の法務官は同僚の一人により、主席検察官は検事代理の一人により、代理されうる。

ART.44. Les copies des exploits seront remises:

1° Pour l'État, au Procureur général;

2° Pour le trésor public et la Ville de Genève, au bureau de la Chambre des comptes;

3° Pour les communes, à la personne ou au domicile des Maires;

4° Pour les administrations ou établissements publics, pour les diverses corporations, et pour les sociétés dites cercles, en leurs bureaux, et si elles n'en ont pas, à la personne ou au domicile de leurs Trésoriers ou Secrétaires;

5° Pour les sociétés de commerce, en leurs bureaux ou magasins, à la personne ou au domicile de l'un des associés gérants;

6° Pour les unions et directions de créanciers, à la personne ou au domicile de l'un des directeurs.

第44条 執達書の謄本は、つぎの者または場所で交付される。

- 1 国家については、主席検察官、
- 2 国庫およびジュネーヴ市については、会計法院事務局、
- 3 市町村については、長本人またはその住所、
- 4 公共機関または公の施設について、様々な同業組合について、およびサークルと呼ばれる団体については、それらの事務局において、またそれらが事務局を持たないときは、それらの会計係または書記の本人またはその住所、
- 5 商事会社については、その事務所または店舗において、支配人の一人の本人またはその住所、
- 6 債権者集団については、その長の一人の本人またはその住所。

ART.45. Aucun exploit ne sera signifié un dimanche ou un autre jour de fête légale sans la permission du Président du Tribunal devant lequel l'ajournement a lieu, ou sans celle du Président du Tribunal civil, si l'exploit ne porte pas ajournement (Sect. II).

第45条 いかなる執達書も、呼出しがなされるその裁判所長の許可がなければ、または当該執達書が呼出しを伴わないときは民事裁判所長の許可がなければ、日曜日またはその他の法定祝日には送達されない（第2節）。

ART.46. Cette permission sera donnée sur l'original de l'exploit, et transcrite sur la copie.

第46条 この許可は、執達書の原本になされ、その謄本に転記される。

ART.47. Aucun exploit ne sera signifié ni avant le lever du soleil ni après son coucher.



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第47条 いかなる執達書も、日の出前および日没後には送達されない。

ART.48. Aucun huissier ne pourra signifier un exploit dans lequel lui-même, sa femme, ou l'un de ses parents ou alliés, jusqu'au sixième degré inclusivement, serait partie.

第48条 いかなる執行吏も、自分自身、その妻またはその6親等までの親族の一人が当事者となる執達書を送達することはできない。

ART.49. Sera nul tout exploit fait en contravention des art.32, 34, 36, 37, 38, 39, 40, 44, 45, 47 et 48 (Art. 125 et 760 à 763).

第49条 第32条、第34条、第36条～第40条、第44条、第45条、第47条および第48条に違反する執達書は無効である（第125条、第760条～第763条）。

SECTION II Des exploits d'ajournement en particulier.

第2節 呼出状の特則

ART.50. Outre les formalités prescrites dans la Section précédente, l'exploit d'ajournement contiendra, à peine de nullité (Article 133, n° 1):

- 1° L'indication du tribunal devant lequel l'ajournement est donné;
- 2° Le jour et l'heure de la comparution;
- 3° Les conclusions.

Il contiendra sommairement les moyens de la demande (Art. 74).

第50条 前節に規定する手続のほか、呼出状〔呼出しのための執行吏執達書〕には、無効の制裁のもとに（第133条1号）、つぎの事項が含まれる。

- 1 呼出しがなされる裁判所の表示、
- 2 出廷の日時、
- 3 請求の趣旨。

それには請求の理由が簡潔に含まれる（第74条）。

ART.51. Il sera donné, avec l'exploit d'ajournement, copie ou extrait

des pièces sur lesquelles la demande est fondée.

Il ne sera donné qu'une seule copie pour les époux, ainsi que pour les individus, ayant un intérêt commun, qui seront cités par un même exploit.

L'exploit fera mention de celle des parties à qui la copie des pièces sera laissée.

Si les pièces sont trop longues ou trop nombreuses, il en sera donné seulement un bordereau avec offre de communication (Art. 82).

第51条 呼出状とともに、請求を根拠づける書証の謄本または抄本が交付される。

夫婦、および個人で共通の利益を有し同じ執達書により呼び出される者達には、一つの謄本のみが交付される。

執達書には、書証の謄本が渡される当事者の請求が記載される。

書証が非常に長大かまたは非常に多数のときは、伝達（第82条）の申し出を伴った、その明細書のみが交付される。

ART.52. Le délai des ajournements devant le Tribunal de commerce et le Président du Tribunal civil sera au moins:

D'un jour pour la ville de Genève, les communes adjacentes et la ville de Carouge;

De deux jours pour le reste de Canton.

第52条 商事裁判所または民事裁判所長への呼出期間は、少なくとも、ジュネーヴ市、近隣の市町村およびカルージュ市については、1日、州のその他については、2日。

ART.53. Devant les autres tribunaux, ce délai sera au moins;

De trois jours pour la ville de Genève, les communes adjacentes et la ville de Carouge;

De six jours pour le reste de Canton (Art. 133, n° 2, et Art. 737).

第53条 その他の裁判所においては、この期間は少なくとも、

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ジュネーヴ市、近隣の市町村およびカルージ市については、3日、  
州のその他については、6日（第133条2号および第737条）。

ART.54. Dans les cas qui requièrent célérité, le Président de chaque Tribunal pourra permettre de citer à un délai plus bref.

Cette permission sera donnée conformément à l'art.46.

第54条 迅速さが要求される場合には、各裁判所長は、より短い期間で呼び出すことを許可することができる。

この許可は、第46条に従って与えられる。

ART.55. Lorsqu'il s'agira de citer un individu sans domicile ni résidence dans le Canton, le Président du Tribunal fixera, sur l'original de l'exploit, le délai de la comparution, eu égard à la distance du domicile et aux autres circonstances (Art. 133, n° 3).

第55条 州内に住所も居所も有しない個人を呼び出す必要があるときは、裁判所長は、住所との距離およびその他の事情を考慮したうえで、執達書の原本に、出廷期間を定める（第133条3号）。

ART.56. Aucun exploit, portant citation devant un tribunal étranger, ne sera signifié sans le visa du Procureur général sur l'original et les copies (Art. 762 et 763, n° 1).

Si le Procureur général refuse son visa, il en énoncera le motif.

Dans ce dernier cas, il pourra en être référé au Conseil d'État, qui statuera définitivement.

第56条 外国裁判所への呼出しを通知するいかなる執達書も、その原本または謄本に主席検察官の証印がなければ、送達されない（第762条および第763条1号）。

主席検察官が証印を拒絶するときは、その理由を明記する。

この場合、主席検察官は、終局的に裁判するコンセイユ・デタに訴えられる。

TITRE IV  
DE L'INTRODUCTION DES CAUSES EN JUSTICE

第4編 訴えの提起

ART.57. Avant l'ouverture de l'audience d'introduction, le demandeur remettra au greffe du tribunal, pour l'appel de la cause, l'exploit d'ajournement (Titre III, Section II), ou un extrait contenant la désignation des parties.

第57条 第1回口頭弁論の開始前に、原告は、[弁論冒頭に行われる] 事案列挙のため、呼出状〔訴状〕（第3編第2節）または当事者の表示を含んだ抄本を裁判所書記課に提出する。

ART.58. Chaque cause sera introduite et continuera d'être appelée dans l'ordre de sa remise au greffe, à moins qu'il ne soit décidé autrement par le tribunal.

第58条 各訴訟事件は、書記課へのその提出の順に、開始され、出廷が命じられる。ただし、裁判所により別の決定がなされるときは、この限りでない。

ART.59. Les parties comparaitront à l'audience par elles-mêmes, par les personnes sous la puissance ou l'autorité desquelles elles se trouvent, ou par leurs Procureurs.

第59条 当事者は、本人自身、その法定代理人またはその代訴士により、口頭弁論に出席する。

ART.60. La partie qui n'aura ni domicile ni résidence dans le Canton, sera interpellée par le Président de faire sur la feuille d'audience l'élection d'un domicile dans la ville de Genève.

第60条 当事者は、州内に住所も居所も有しないときは、裁判所長により、ジュネーブ市内における住所の選定を口頭弁論期日記録にすよう促される。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.61. Toutes les significations relatives à la cause, au jugement, aux voies de recours contre ledit jugement, et à son exécution, seront faites à ce domicile élu de la manière prescrite par l'art. 40, à moins que la partie ne l'ait révoqué, ou qu'il ne se soit écoulé plus d'un an dès la prononciation du jugement (Tit.IX, Sect. I).

Dans ces deux cas, ainsi que dans celui où aucun domicile n'aurait été élu, les significations ci-dessus seront faites conformément aux art. 38 et 39.

第61条 訴訟事件, 判決, 当該判決に対する不服申立て, およびその執行に関する送達は, この選定住所に第40条に規定された方法でなされる。ただし, 当事者がそれを撤回し, または判決の言渡し(第9編第1節)から1年以上経過しているときは, この限りでない。

これら二つの〔例外的な〕場合, およびいかなる住所も選定されなかった場合は, 前記送達は, 第38条および第39条に従ってなされる。

ART.62. La plaidoirie (Tit. VII, Section I) aura lieu dès la première comparution ou elle sera ajournée à une audience prochaine.

第62条 弁論(第7編第1節)は, 最初の出廷から直ちに行われ, または次の口頭弁論に延期される。

ART.63. Toutefois, si la cause l'exige, les juges pourront ordonner la communication des conclusions et des pièces produites (Art.82), ou l'instruction préalable tracée dans le Titre VI.

第63条 ただし, 訴訟事件上必要があれば, 裁判官は, 提出された主張書面および書証の伝達(第82条)または第6編に示された事前手続を命じることができる。

ART.64. Seront observées au surplus les dispositions de la Loi sur l'organisation judiciaire, à l'égard de la conciliation dans les causes qui en paraîtraient susceptibles.

第64条 さらに、受入れ可能な訴訟上の和解については、司法組織法の規定に従わなければならない。

TITRE V

EXCEPTIONS A PROPOSER D'ENTERÉE DE CAUSE

第5編 訴訟開始に対する抗弁

SECTION I De l'exception déclinatoire.

第1節 無管轄の抗弁

ART.65. La partie citée devant un tribunal autre que celui qui doit connaître de la contestation, pourra demander son renvoi devant les Juges compétents.

Ce renvoi devra être demandé préalablement à toute autre exception ou défense.

第65条 当該係争事件の管轄権限を有する裁判所以外の裁判所に呼び出された当事者は、管轄裁判官に事件を移送するよう申し立てることができる。

この移送は、他の抗弁または防御方法に先立って申し立てられなければならない。

ART.66. Toutefois, s'il s'agit d'une incompétence à raison de la matière, les parties pourront demander le renvoi, et les Juges devront l'ordonner, même d'office, en tout état de cause.

第66条 ただし、当該事件について無管轄のときは、当事者はその移送を申し立てることができ、また裁判官も、いずれにせよ職権で、その移送を命じなければならない。

SECTION II De la caution à fournir par le demandeur étranger.

第2節 外国人の原告により立てられるべき保証人

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.67. Si le défendeur le requiert d'entrée de cause, le demandeur étranger, non domicilié dans le Canton (Art. 683), sera tenu de donner caution pour le paiement des dépens et des dommages-intérêts résultant du procès (Tit.XXVI, Sect.V), ou de consigner la somme provisoirement arbitrée par le tribunal.

第67条 訴訟開始において被告の申立てがあれば、原告が外国人で、州内に住所を有しないときは（第683条）、訴訟費用および訴訟から生じる損害賠償の支払い（第26編第5節）のための保証人を立てまたは裁判所により仮に裁定された金額を供託しなければならない。

ART.68. Le demandeur étranger sera dispensé de donner caution ou de consigner:

S'il est d'un État dans lequel on ne l'exige pas du Genevois demandeur;

S'il possède dans le Canton des biens suffisants pour assurer le paiement desdits dépens et dommages-intérêts.

第68条 原告が外国人であるときでも、つぎの場合には保証人を立てまたは供託することが免除される。

外国人である原告が、ジュネーヴ人が原告となる場合にそれが要求されない国に属するとき、

外国人である原告が、州内に上記費用および損害賠償の支払いに十分な財産を有するとき。

SECTION III De la mise en cause des garants.

第3節 担保義務者の訴訟呼出し

ART.69. Si la partie citée allègue un juste motif pour mettre en cause un garant ou un sous-garant, il lui sera accordé un délai suffisant à raison de leur domicile.

Pendant ce délai il sera sursis à la demande originaire.

第69条 呼び出された当事者が担保義務者または副担保義務者を訴訟に呼び

出すための正当な理由を主張するときは、その住所を考慮した十分な期間がこの者に与えられる。

この期間中、当初請求は停止される。

ART.70. Il pourra être procédé séparément au jugement de la demande originaire, sauf à statuer ensuite sur la demande en garantie:

Si la mise en cause n'a pas été requise d'entrée;

Si le garant n'a pas été appelé dans le délai fixé (Art. 69);

Si la demande originaire est en état d'être jugée et que la demande en garantie ne puisse l'être promptement.

第70条 この場合は、当初請求の判決とは別に審理されうる。ただし、つぎの場合には、続いて担保請求についても裁判される。

その訴訟呼出しが開始に際し請求されなかったとき、

担保義務者が定められた期間内（第69条）に呼び出されなかったとき、

当初請求が裁判に熟し、かつ担保請求も同様に迅速に裁判されるとき。

## TITRE VI INSTRUCTION PRÉALABLE A LA PLAIDOIRIE

### 第6編 弁論の事前手続

ART.71. L'instruction préalable à la plaidoirie ne sera point admise devant le Tribunal de commerce et le Président du Tribunal civil.

第71条 弁論の事前手続は、商事裁判所および民事裁判所長の面前では認められない。

ART.72. Devant les autres tribunaux, elle ne pourra être ordonnée:

Si l'urgence de la demande s'y oppose;

Si la nécessité n'en est reconnue à raison du nombre des chefs de demande, de la nature des points de fait ou de droit de la cause.

第72条 その他の裁判所においても、それは、つぎの場合には命じられえない。



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

請求の緊急性が、それを許さないとき、

請求の項目数、訴訟事件の事実問題または法律問題の性質から、その必要性が認められないとき。

ART.73. Dans les causes où l'instruction préalable aura été ordonnée, la constitution de Procureur sera obligatoire.

Cette constitution se fera sur la feuille d'audience.

第73条 事前手続が命じられた訴訟事件においては、代訴士の選任が義務づけられる。

この選任は、口頭弁論期日記録になされる。

ART.74. Si l'exposé de la demande était de nature à dépasser les bornes d'un exploit d'ajournement (Tit.III, Sect.II), les Juges, en admettant l'instruction préalable, pourront ordonner au demandeur de produire, dans le délai qu'ils fixeront, une écriture additionnelle, contenant le développement de sa demande.

第74条 請求の趣旨が呼出状 [に記載] (第3編第2節) の限度を超える可能性があるときは、裁判官は、事前手続を認めた上で、その定める期間内にその請求の拡張を含んだ追加文書の提出を原告に命じることができる。

ART.75. Après la production de cette écriture, et, dans les cas ordinaires, dès la première comparution, les Juges fixeront le délai dans lequel le défendeur sera tenu de produire sa défense.

第75条 この文書の提出後、通常は、最初の出廷後直ちに、裁判官は、被告が抗弁を提出すべき期間を定める。

ART.76. Les Juges accorderont successivement de nouveaux délais, au demandeur, pour produire sa réplique, et au défendeur, pour produire sa duplique, si la production de ces écritures est estimée nécessaire (Article 744 et 751, n° 2).

第76条 裁判官は、必要と認めるときは、逐次、原告に対しては再抗弁を提出するための、被告に対しては再々抗弁を提出するための新たな期間を与える（第744条および第751条2号）。

ART.77. Les Juges, dans les cas où ils le trouveront plus expédient, pourront fixer, d'entrée et à la fois, les délais que chaque partie aura respectivement pour produire lesdites écritures.

第77条 裁判官は、適当と判断するとき、最初から同時に、各当事者がそれぞれ前記の文書を提出するための期間を定めることができる。

ART.78. Dans les écritures ci-dessus, les faits seront posés en tête, sans mélange de moyens.

La partie, qui se prévaudra desdits faits, sera tenue de les articuler avec précision, et celle, à laquelle ils seront opposés, de les reconnaître ou dénier catégoriquement.

Le silence et toute réponse évasive pourront être pris pour un aveu desdits faits.

第78条 上記文書には、理由の一切交えない、事実が冒頭に置かれる。

当該事実を主張する当事者は、それらを正確に逐条的に陳述しなければならず、またそれらの事実を対抗される相手方当事者は、それらを明白に認めるかまたは否認しなければならない。

沈黙および曖昧な返答は、当該事実を自白したものと見なされうる。

ART.79. Lesdites écritures contiendront en outre:

Les moyens et exceptions des parties, d'une manière sommaire;

Les conclusions;

Le bordereau des pièces, dont il sera fait usage;

L'offre de communiquer lesdites pièces (Art. 125, 751, n° 3; 756, 759 et suivants).

第79条 前記文書には、さらにつきのものが含まれる。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

簡潔に、当事者の理由および異議、  
主張書面、  
利用しようとする書証の明細書、  
前記書証の伝達の申し出（第125条、第751条3号；第756条、第759条以下）。

ART.80. Lesdites écritures seront datées et signées par les Procureurs qui les produiront ou par les Avocats qui les auront rédigées.

第80条 前記文書は、それらを提出する代訴士またはそれらを作成した弁護士により日付が記されかつ署名される。

ART.81. La production de ces écritures se fera entre les Procureurs. Ils s'en remettront respectivement des copies signées. La remise sera constatée par un récépissé au bas des originaux.

第81条 これら文書の提出は、代訴士間で行われる。

代訴士は、相互に署名された謄本を交付しあう。

この交付は、それらの原本末尾における受領書により認証される。

ART.82. Toute communication se fera par la voie du greffe sans déplacement, ou de Procureur à Procureur sur récépissé.

Le récépissé fixera le terme de la communication (Art. 721, n° 3).

第82条 伝達は、移動がなければ書記課を通じて、または受領書により代訴士から代訴士による方法で行われる。

受領書には、伝達期限が定められる（第761条3号）。

ART.83. A mesure que les causes ci-dessus seront instruites, les Juges fixeront le jour de la plaidoirie.

第83条 上記訴訟事件が事前手続に付されると同時に、裁判官は、弁論期日を指定する。

TITRE VII

DE LA PLAIDOIRIE ET DE LA MANIÈRE DE LA SUPPLÉER

第7編 弁論およびその補佐

SECTION I De la plaidoirie.

第1節 弁論

ART.84. Seront observées les dispositions de la Loi sur l'organisation judiciaire, concernant la publicité de la plaidoirie et le droit des parties de se défendre elles-mêmes.

第84条 弁論の公開および当事者本人の防御権に関しては、司法組織法の規定に従わなければならない。

ART.85. Dans toutes les causes entre époux, ou entre ascendants et descendants, les tribunaux pourront ordonner la plaidoirie à huis clos sur la réquisition de l'une des parties.

Dans les causes entre associés, ils pourront aussi l'ordonner sur la réquisition de toutes les parties.

第85条 夫婦または親子間の訴訟事件については、裁判所は、当事者の一方の申立てに基づいて、非公開の弁論を命じることができる。

社員間の訴訟事件についても、裁判所は、両当事者の申立てに基づいて、同様の措置を命じることができる。

ART.86. Dans la plaidoirie à huis clos, chaque partie pourra se faire assister de trois parents et amis, outre son Avocat et son Procureur.

第86条 非公開の弁論において、各当事者は、その弁護士および代訴士のほか、三人の両親および友人により補佐してもらうことができる。

ART.87. Avant de plaider, les Avocats et les Procureurs liront leurs conclusions motivées, les signeront et les remettront au Greffier, qui les

paraphera.

Il en sera de même si, dans le cours de la plaidoirie, il est pris d'autres conclusions.

第87条 弁論に先立ち、弁護士および代訴士は、各自の理由を付した主張書面を読み上げ、それに署名した後、それを書記官に提出し、書記官はそれに略署する。

弁論中に、その他の主張書面が提出されたときも、同様である。

ART.88. Si les parties plaident elles-mêmes, elles auront l'option de remettre leurs conclusions, comme il est dit en l'article précédent, ou de les dicter au Greffier.

第88条 当事者が自ら弁論を行うときは、当事者は、前条で述べたようにその主張書面を提出するか、書記官にそれを書き取らせるかの選択権を持つ。

ART.89. Si l'instruction préalable a eu lieu, il ne pourra être employé, lors de la plaidoirie, d'autres pièces que celles dont les parties se seront donné copie ou offert communication (Art.51 et 79).

第89条 事前手続が行われたときは、[その後の] 弁論においては、当事者がその謄本を交付されまたは伝達の申し出があった（第51条および第79条）以外の書証は利用することができない。

ART.90. La plaidoirie comprendra:

Demande et réplique de la part du demandeur;

Défense et duplique de la part du défendeur.

Toutefois, si les Juges estiment qu'une cause est suffisamment éclairée par la demande et la défense, ils pourront refuser la réplique et la duplique (Art. 751, n° 3, 756, 759, 767 et 769).

第90条 弁論は、つぎのものからなる。

原告側の請求および再抗弁、

被告側の抗弁および再々抗弁。

ただし、訴訟事件が請求および抗弁により十分に明らかになっていると判断するときは、裁判官は、再抗弁および再々抗弁を受理しないことができる（第751条3号、第756条、第759条、第767条および第769条）。

SECTION II Des causes jugées sans plaidoirie.

第2節 弁論を経ないで裁判される訴訟事件

ART.91. Les Juges pourront ordonner le dépôt des pièces, et juger sur leur vu et examen, sans plaidoirie:

Dans les causes chargées de trop de chefs pour être convenablement éclairées à l'audience;

Dans celles où toutes les parties le requerront.

第91条 裁判官は、書証の提出を命じることができ、つぎの場合には、その調査・検討に基づいて、弁論を経ないで、裁判することができる。

口頭弁論で適切に解明されるにはあまりに多くの項目を含んだ訴訟事件、両当事者がそのような取扱いを要求する訴訟事件。

ART.92. Les Juge fixeront le terme dans lequel le dépôt des pièces devra être effectué (Art. 129, n° 2).

第92条 裁判官は、書証の提出期限を定める（第129条2号）。

ART.93. Les productions se feront au greffe.

Elles comprendront les titres, les exploits et écritures (Tit. III et VI), et toutes les autres pièces dont il est fait usage.

Chaque partie pourra y joindre un mémoire.

Elle accompagnera sa production d'un inventaire.

Il lui sera donné par le Greffier un récépissé du tout.

第93条 それらの提出は、書記課になされる。

それらは、証書、執達書および文書（第3編および第6編）ならびに利用されるその他の書証を含む。

## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

各当事者は、それに申立理由書を加えることができる。

各当事者は、目録を添えて、その提出を行う。

各当事者には、書記官により受領書が与えられる。

ART.94. Les parties se donneront respectivement communication des mémoires et des inventaires joints aux productions (Art. 82).

Toute pièce non portée dans l'inventaire, et tout mémoire non communiqué, sera rejeté de la production.

第94条 当事者は、相互に申立理由書およびその提出に添付された目録を伝達しあう。

目録に記載のない書証および伝達されない申立理由書は、その提出から除かれる。

ART.95. Lorsque les parties auront produit, le Greffier remettra les pièces successivement à chaque Juge sur son récépissé.

Tous les Juges, qui devront connaître de la cause, seront tenus d'avoir lu les pièces avant le jour fixé pour délibérer du jugement.

第95条 当事者が書証を提出したときは、書記官が、各裁判官に、順次その受領書と引換えに、それらを手渡す。

訴訟事件を審判すべき裁判官は、判決について審議するために指定された日の前に、書証を読んでおかなければならない。

## TITRE VIII DES CONCLUSIONS DU MINISTÈRE PUBLIC

### 第8編 検察官の論告

ART.96. Dans les causes, qui requièrent les conclusions du ministère public, les pièces lui seront communiquées par les parties ou leurs Procureurs avant l'audience de la plaidoirie, et trois jours au moins avant cette audience, s'il y a eu une instruction préalable.

第96条 検察官の論告を必要とする訴訟事件の場合には、書証は、当事者ま

たはその代訴士により、口頭弁論前に、また事前手続を経たときは、この口頭弁論の少なくとも3日前に、検察官に伝達される。

ART.97. Le ministère public conclura immédiatement après la plaidoirie, ou, s'il requiert un délai, à l'une des prochaines audiences.

第97条 検察官は、弁論終了後直ちに、または猶予期間が必要なときは、次の口頭弁論の冒頭で、論告を行う。

ART.98. Dans les causes jugées sans plaidoirie (Tit.VII, Sect.II), la communication se fera par le Greffier, et les conclusions seront données dès que chaque Juge aura lu les pièces de procès (Art. 95).

第98条 弁論なしに裁判される訴訟事件の場合には（第7編第2節）、この伝達は、書記官によってなされ、論告は、各裁判官が当該訴訟の書証を読んだ（第95条）直後に、行われる。

ART.99. Le ministère public sera entendu en audience publique ou à huis clos, selon la nature des causes, conformément à ce qui est prescrit pour la plaidoirie (Art.84 et 85).

第99条 検察官は、訴訟事件の性質により、弁論について規定したところに従って（第84条および第85条）、公開の法廷でまたは非公開で、審尋される。

ART.100. Les parties et leurs Avocats ou Procureurs n'obtiendront la parole, après le ministère public, que pour rectifier un fait, ou répondre à un moyen nouveau.

第100条 当事者およびその弁護士または代訴士は、検察官の後で、事実を訂正しまたは新たな攻撃防御方法に反論するためにのみ、発言を許される。

## TITRE IX DES JUGEMENTS

### 第9編 判決



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

SECTION I Des jugements et de leur prononciation.

第1節 判決およびその言渡し

ART.101. La cause, ou un incident de la cause étant instruit de la manière tracée dans les Titres précédents, les Juges s'occuperont sans retard de la décision.

Si le fond est en état d'être décidé définitivement, ils arrêteront et prononceront le jugement.

Dans le cas contraire, il sera procédé d'après les Titres XII et suivants.

第101条 訴訟事件またはその付帯事件が前編で示された方法で審理されたときは、裁判官は、直ちに判決に取りかかる。

本案が終局的に裁判できる状態になれば、裁判官は、結審し、判決を言い渡す。

そうでない場合には、第12編以下に基づいて、手続が進められる。

ART.102. Si la cause, en état d'être jugée sur quelques chefs, ne l'était pas sur d'autres, les Juges pourront, suivant les circonstances, prononcer de suite le jugement sur les premiers chefs, ou ne prononcer définitivement sur le tout que lorsque les autres chefs seront aussi en état d'être jugés.

第102条 訴訟事件が、いくつかの項目について裁判できる状態にあるが、その他の項目についてはそうでないときは、裁判官は、状況により、前者の項目について直ちに判決を言い渡すこともできれば、後者の項目も裁判できる状態になったときに初めてすべてについて終局的に [判決を] 言い渡すこともできる。

ART.103. Seront observées les dispositions de la Loi sur l'organisation judiciaire, en ce qui concerne:

Le nombre de Juges requis;

Le mode d'opiner;

L'obligation de motiver les jugements;  
La publicité de leur prononciation;  
La mention des Juges qui y auront assisté;  
La signature du Président et du Greffier.

第103条 つぎの事項については、司法組織法の規定に従わなければならない。  
い。

必要な裁判官数、  
意見表明の方式、  
判決に理由を付ける義務、  
その言渡しの公開、  
それに立ち会った裁判官の表示、  
裁判所長および書記官の署名。

ART.104. En procédant au jugement, les Juges commenceront par poser les questions de fait et celles de droit soumises à leur décision.

Ils voteront séparément sur chacune d'elles.

Ils ne passeront aux questions de droit qu'après avoir décidé celles de fait.

第104条 判決を行うに当たり、裁判官は、その判断に付する事実問題および法律問題の提示から始める。

裁判官は、それらの各々について別々に評決する。

裁判官は、事実問題を確定した後でのみ、法律問題に移る。

ART.105. Les Juges ne pourront changer les jugements qu'ils auront rendus, que de la manière et dans les cas déterminés par la Loi.

第105条 裁判官は、法律に定められた方法および場合にのみ、自ら言い渡した判決を変更することができる。

ART.106. Les jugements n'auront d'effet qu'entre ceux qui y auront été parties, leurs héritiers ou ayants droit.

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

Ils ne nuiront ni ne profiteront aux tiers (Art. 114 et suivants; art. 315 et 316).

第106条 判決は、その当事者、その相続人または権利承継人の間でのみ、その効力を有する。

判決は、第三者を害することも利することもない（第114条以下、第315条および第316条）。

SECTION II De la rédaction des jugements.

第2節 判決書

ART.107. La rédaction des jugements contiendra:

1° Les noms, prénoms, professions et demeures, ou toute autre désignation précise des parties, la qualité sous laquelle elles procèdent, les noms de leurs Avocats et Procureurs;

2° Leurs conclusions (Art. 87 et 88);

3° Celles du ministère public, dans les cas où elles sont requises (Article 96);

4° Les questions de fait et de droit posées par les Juges (Art. 104);

5° La décision sur chacune d'elles et les motifs;

6° Le dispositif, soit ce que les Juges auront ordonné.

第107条 判決書には、つぎの事項が含まれる。

1 氏名、職業および住所、その他当事者を明らかにする表示、訴訟手続におけるこれらの者の地位、その弁護士および代訴士の氏名、

2 当事者の主張書面（第87条および第88条）、

3 それが必要とされる場合には、検察官の論告（第96条）、

4 裁判官により提示された事実上および法律上の問題（第104条）、

5 それらの各々についての判断とその理由、

6 裁判官が命じた [判決] 主文。

ART.108. Cette rédaction contiendra en outre les aveux, déclarations,

offres, acquiescements et désistements faits à l'audience et qui auront été insérés dans la feuille d'audience à la réquisition des parties, à celle du ministère public ou d'office.

第108条 この判決書には、さらに口頭弁論でなされ、当事者の申立て、検察官のそれまたは職権で口頭弁論期日記録に載せられた自白、供述、申し出、認諾および取下げが含まれる。

### SECTION III Des copies et expéditions des jugements.

#### 第3節 判決の謄本および正本

ART.109. Il ne sera donné copie ou extrait des jugements prononcés sur plaidoirie à huis clos qu'aux parties ou à leurs ayants droit, à moins d'une autorisation expresse du Président.

Ils sera délivré par les Greffiers, moyennant salaire, des copies ou extraits de tous les autres jugements à quiconque les réclamera.

第109条 非公開の弁論に基づいて言い渡された判決の謄本または抄本は、裁判所長の明示の許可がない限り、当事者またはその権利承継人にのみ交付される。

その他の判決の謄本または抄本は、それを請求する者が誰であれ、報酬と引換えに、書記官により交付される。

ART.110. Les expéditions exécutoires seront revêtues de la formule requise par la Loi sur l'organisation judiciaire.

Elles ne seront délivrées qu'aux parties en faveur desquelles les jugements auront été rendus ou à leurs ayants droit (Art. 124 et 375).

第110条 この執行正本には、司法組織法により必要とされる執行文が付けられる。

それは、判決がその者の有利に下された当事者またはその権利承継人にのみ交付される（第124条および第375条）。

## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.111. Le Greffier fera mention de la partie à qui sera délivrée une expédition exécutoire, tant sur cette expédition que sur la minute du jugement.

第111条 書記官は、この正本および判決原本に、執行正本が交付された当事者を記載する。

ART.112. Une nouvelle expédition exécutoire ne sera délivrée à la même partie, qu'en vertu d'ordonnance rendue par le Président, les parties intéressées présentes ou dûment appelées.

L'ordonnance du Président restera annexée à la minute du jugement.

Mention en sera faite à la suite de la nouvelle expédition, ainsi que de la somme qui restera due, si le jugement est acquitté en partie (Art. 762 et 763, n° 2).

第112条 新たな執行正本は、利害関係当事者が出席または適法に呼び出された上で、裁判所長により下された命令によってのみ、同一当事者に交付される。

裁判所長の命令は、そのまま判決原本に添付される。

判決が一部履行されているときは、その残額が新たな正本の末尾に記載される（第762条および第763条2号）。

## SECTION IV De la signification des jugements

### 第4節 判決の送達

ART.113. La signification du jugement à la partie condamnée se fera par un exploit d'huissier (Tit.III).

Elle contiendra en tête la copie du dit jugement, à peine de nullité (Art. 41, 61, 126, 392, 393 et 740).

第113条 敗訴当事者に対する判決の送達は、執達書（第3編）により行われる。

その冒頭には、無効の制裁のもとに、当該判決の謄本が含まれる（第41条、

第61条, 第126条, 第392条, 第393条および第740条)。

## TITRE X DES DÉPENS

### 第10編 訴訟費用

ART.114. Tout jugement, même sur incident, condamnera aux dépens la partie qui succombera.

第114条 判決は、付帯事件に関するものも含め、敗訴当事者に訴訟費用の負担を命じる。

ART.115. S'il y a plusieurs parties condamnées, les dépens se partageront entre elles par tête ou à raison de leur intérêt dans la contestation.

第115条 複数の敗訴当事者がいるときは、訴訟費用は、これらの者の間で頭割りにまたは当該争訟におけるその利害に応じて、配分される。

ART.116. Lorsque plusieurs parties seront condamnées pour cause de violence, de fraude, ou d'obligation solidaire, les dépens seront adjugés contre elles avec solidarité.

第116条 複数の当事者が強迫、詐欺または連帯債務を理由に敗訴判決を受けるときは、訴訟費用は、これらの者に対し連帯して負担させられる。

ART.117. Si les parties succombent respectivement sur quelques chefs, les dépens seront compensés ou supportés entre elles dans la proportion que les Juges fixeront.

第117条 当事者がいくつかの〔請求〕項目についてそれぞれ敗訴するとき、訴訟費用は、これらの者の間で裁判官が決定した割合で、分担または負担させられる。

ART.118. Les Juges pourront toujours compenser les dépens entre

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

époux, ascendants et descendants, frères et sœurs, alliés aux mêmes degrés, et associés.

第118条 裁判官は、いつでも配偶者、親子、兄弟および姉妹、同一親等の姻族および社員間で訴訟費用を分担させることができる。

ART.119. Les tuteurs, curateurs, et autres administrateurs, qui, dans une cause, ont compromis les intérêts de leur administration, pourront être condamnés aux dépens personnellement et sans répétition.

第119条 訴訟事件において、その財産管理の利益を危うくした後見人、保佐人およびその他の管理人は、個人的にかつ返還請求権なく、訴訟費用の負担を命じられる。

ART.120. Les Juges pourront accorder la distraction des dépens au profit des Procureurs qui affirmeront, lors de la prononciation du jugement, que ces dépens leur sont dus.

第120条 裁判官は、判決の言渡しの時に、訴訟費用が自分達に支払われるべきことを主張する代訴士の便宜のために、その訴訟費用の直接受領を認めることができる。

ART.121. Les dépens comprendront:

- 1° Les droits du fisc;
- 2° Les émoluments des Greffiers, Procureurs et Huissiers réglés conformément au tarif;
- 3° L'indemnité des témoins et des experts (Art.200 et 220);
- 4° Les frais de voyage et de séjour des parties, lorsque le voyage a été fait dans la seule vue du procès.

Les honoraires des Avocats n'entreront point dans les dépens; ils seront pris en considération, lorsqu'il y aura lieu d'adjuger les dommages-intérêts (Art.751 et 752).

第121条 訴訟費用にはつぎのものが含まれる。

- 1 手数料,
- 2 報酬表に従って支払われるべき書記官, 代訴士および執行吏の報酬,
- 3 証人および鑑定人の手当て (第200条および第220条),
- 4 旅行が訴訟のためのみになされたときは, 当事者の旅費および滞在費。弁護士報酬は, 訴訟費用には含まれない。ただし, 損害賠償を認容すべきとき (第751条および第752条) は, 考慮される。

ART.122. L'état des dépens sera dressé et signé par le Procureur de la partie qui les aura obtenus.

Il sera remis au greffe avec les pièces justificatives.

Les déboursés et l'émolument y seront exprimés séparément.

第122条 訴訟費用の明細書は, それを得た当事者の代訴士により作成され署名される。

それは, 証拠書類とともに書記課に提出される。

立替金および報酬は, そこに別々に明記される。

ART.123. Dans les causes où il n'aura point été constitué de Procureur, l'état des dépens sera dressé par le Greffier.

第123条 代訴士がまったく選任されなかった訴訟事件においては, 訴訟費用の明細書は, 書記官により作成される。

ART.124. L'état des dépens sera vérifié, arrêté et signé par le Président ou le Juge qu'il commettra.

Il sera annexé à la minute du jugement, et transcrit à la suite de l'expédition exécutoire (Art. 110).

第124条 訴訟費用の明細書は, 裁判所長または裁判所長が委任した裁判官により, 審査され, 決定され, 署名される。

それは, 判決原本に添付され, 執行正本 (第110条) の末尾に転記される。

ART.125. Seront rejetés du dit état:



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

Tout acte frustratoire et toute écriture oiseuse (Art. 760);

Toute pièce où le coût n'est pas exprimé d'une manière détaillée.

第125条 つぎのものは、当該明細書から排除されなければならない。

不要な行為および役に立たない文書 (第760条),

その費用が詳細に明記されていない書証。

ART.126. Il sera donné à la partie condamnée copie de l'état des dépens lors de la signification du jugement (Art. 113).

第126条 判決の送達 (第113条) の際に、訴訟費用の明細書の謄本が敗訴当事者に交付される。

ART.127. La partie condamnée pourra former opposition au dit état dans les deux semaines dès cette signification.

第127条 敗訴当事者は、この送達から2週間内に、当該明細書に対し異議を申し立てることができる。

ART.128. L'opposition sera formée par un exploit d'ajournement, portant citation à la première audience.

Elle énoncera les articles attaqués.

Elle ne sera point suspensive.

第128条 異議は、最初の口頭弁論への呼出しを伝える呼出状によってなされる。

それには、異議の対象とする条項が明記される。

それは、停止効を有しない。

TITRE XI DU DÉFAUT ET DE L'OPPOSITION

第11編 欠席 [判決] および故障申立て

SECTION I Du défaut.

第1節 欠席 [判決]

ART.129. Défaut sera prononcé:

1° Contre la partie qui, à l'audience indiquée par l'exploit d'ajournement ou à celle à laquelle la cause aura été remise, ne comparaitra pas ou refusera de plaider;

2° Contre la partie qui, dans une cause devant être jugée sans plaidoirie (Titre VII, Sect. II), n'aura pas fait sa production dans le délai fixé (Art. 92).

第129条 つぎの者に、欠席 [判決] が言い渡される。

1 呼出状により指定されまたは訴訟が延期されたその口頭弁論期日に、出席しないかまたは弁論を拒む当事者に対して、

2 弁論を経ないで裁判することになる訴訟事件において (第7編第2節)、定められた期間内にその提出 (第92条) をしなかった当事者に対して。

ART.130. Si le défaut est prononcé contre le défendeur, le demandeur obtiendra ses conclusions (Art.142 et 143).

第130条 欠席 [判決] が被告に対して言い渡されるときは、原告は、その申立てが認容される (第142条および第143条)。

ART.131. Si le défaut est prononcé contre le demandeur, le défendeur sera libéré des conclusions prises contre lui, et il obtiendra ses conclusions reconventionnelles, si elles ont été produites au demandeur (Art. 81).

第131条 欠席 [判決] が原告に対して言い渡されるときは、被告は、自分に対して提起されていた申立てから解放され、反訴が原告に対して提起されていたときは (第81条)、それが認容される。

ART.132. Nonobstant le défaut, ne seront point adjudgées les conclusions que les faits articulés ou les pièces produites justifieraient n'être pas fondées.

第132条 欠席にもかかわらず、逐条的に陳述された事実または提出された書証から理由のないことが証明される申立ては認容されない。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.133. Il ne sera pas prononcé défaut contre le défendeur, et sa réassignation sera ordonnée:

1° Si l'exploit d'ajournement est nul (Art. 49 et 50);

2° S'il porte un délai plus bref que ne le fixent les art. 52 et 53;

3° Si, dans le cas des art. 54 et 55, les Juges estiment que le délai accordé est trop bref.

Dans ce dernier cas, les Juges fixeront celui qui devra être observé sur la réassignation.

第133条 つぎの場合には、被告に対して欠席 [判決] は言い渡されず、その再呼出しが命じられる。

1 呼出状が無効なとき (第49条および第50条),

2 第52条および第53条に定められたよりも短い期間が付与されたとき,

3 第54条および第55条の場合において、裁判官が付与期間が非常に短いと判断するとき。

最後の場合、裁判官は、再呼出しについて順守されるべき期間を定める。

ART.134. Si une force majeure et notoire empêche la comparution d'une partie, les Juges ajourneront la prononciation du défaut; ils pourront ordonner la réassignation.

第134条 公知の不可抗力のため当事者の一方が出席できないときは、裁判官は、欠席 [判決] の言渡しを延期し、再呼出しを命じることができる。

ART.135. Si une demande, fondée sur le même titre et ayant le même objet, est formée contre plusieurs parties, dont les unes fassent défaut et les autres comparaissent, le Tribunal, s'il ne juge de suite, accordera acte du défaut, et il remettra à statuer sur le fond, pour prononcer à l'égard de toutes les parties par un seul jugement.

第135条 同一の権原に基づきかつ同一の目的を有する請求が、複数の当事者に対して提起され、そのうちの一方が欠席し、他方が出席するときは、裁判所は、直ちに裁判するのではないときは、欠席を法的に認定した上で、すべ

ての当事者に対して単一の判決で言い渡すために、本案についての判決を延期する。

SECTION II De l'opposition.

第2節 故障申立て

ART.136. Le défaillant pourra se faire relever du jugement par défaut prononcé contre lui en formant opposition dans les deux semaines qui suivront sa signification (Art. 113, 738, 742 et 743).

第136条 欠席 [判決を受けた] 当事者は、その送達後二週間内に（第113条、第738条、第742条および第743条）、故障を申し立て、この者に対して言い渡された欠席判決をなかつたものにしてもらうことができる。

ART.137. Si le défaillant est absent ou non domicilié dans le Canton, les Juges pourront fixer, dans le jugement par défaut, un délai plus long pour l'opposition.

第137条 欠席当事者が州内にいないか居住していないときは、裁判官は、欠席判決において、故障申立てのためのより長い期間を定めることができる。

ART.138. Nonobstant l'expiration des délais ci-dessus (Art.136 et 137), le défaillant pourra être admis dans son opposition s'il justifie qu'à raison d'absence, de maladie grave ou d'autre circonstance de force majeure, il n'a pu connaître l'instance ni le jugement, ou former opposition dans le délai fixé.

第138条 上記期間（第136条および第137条）の満了にもかかわらず、欠席当事者が、不在、重病、その他の不可抗力の事情のため、訴訟手続も判決も知ることができず、または定められた期間内に故障申立てができなかったことを証明するときは、その故障申立てが認められうる。

ART.139. Au dit cas, l'opposition ne sera plus recevable, si, dès la

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

cessation de l'obstacle ou dès la connaissance acquise de l'instance, du jugement ou d'un acte d'exécution, le défaillant a laissé écouler, sans former opposition, présent, le délai de deux semaines, absent, le délai estimé nécessaire d'après la distance des lieux.

第139条 当該場合において、障害が止んだ後、または訴訟手続、判決もしくはは執行行為を知った後、欠席当事者が、故障を申し立てることなく、出席の場合は2週間、欠席の場合は場所との距離により必要と判断される期間を、漫然と徒過ぎさせたときは、故障申立てはもはや受理されえない。

ART.140. Cette opposition cessera aussi d'être recevable un an après l'entière exécution du jugement, ou cinq ans après sa signification (Article 113).

第140条 この故障申立ては、判決の完全な執行後1年またはその送達（第113条）後5年を経過した場合も、受理されなくなる。

ART.141. L'opposition sera formée, à peine de nullité, par un exploit d'ajournement (Tit.III, Sect.II).

Cet exploit portera citation à trois jours ou à la première audience après ce délai.

第141条 故障申立ては、無効の制裁のもとに、呼出状（第4編第2節）によりなされる。

この執達書は、3日後またはこの期間後の最初の口頭弁論への呼出しの効力を有する。

ART.142. L'opposition, faite en la forme ci-dessus et dans le délai des art. 136 et 137, suspendra l'exécution du jugement, à moins que les Juges, en adjugeant le défaut, n'aient ordonné l'exécution provisoire du jugement, nonobstant opposition, avec ou sans caution.

第142条 上記方式により第136条および第137条の期間内になされた故障申立ては、判決の執行を停止する。ただし、裁判官が、欠席判決において、故

障申立てにもかかわらず、保証人を条件にまたはそれなしで、判決の仮執行を命じた場合はこの限りでない。

ART.143. Cette exécution provisoire ne sera ordonnée que s'il y a titre authentique, promesse reconnue ou péril en la demeure.

第143条 この仮執行は、公署名義、承認された約束または遅滞による危険があるときにのみ命じられる。

ART.144. Dans le cas de l'art. 138 l'exécution du jugement ne sera suspendue que si le tribunal l'ordonne en admettant l'opposition.

第144条 第138条の場合、判決の執行は、裁判所が故障申立てを認めてそれを命じるときにのみ、停止される。

ART.145. Les frais frustratoires occasionnés par le défaut régulièrement obtenu seront à la charge du défaillant, lors même que sur l'opposition il obtiendrait gain de cause.

Les Juges pourront même déclarer l'opposition non recevable, si le défaillant ne consigne au préalable, en mains du Greffier, lesdits frais tels qu'ils les arbitreront.

第145条 合法的に得られた欠席により生じた不要な費用は、故障申立てに基づき欠席当事者が勝訴するときでも、この者の負担となる。

裁判官は、彼が裁定した上記費用を欠席当事者が予め書記官に寄託しないときは、故障申立てを不受理とすることもできる。

ART.146. L'opposition admise, il sera procédé conformément aux Titres précédents, en reprenant l'instruction de la cause au point où elle se trouvait lors du défaut.

第146条 故障申立てが認められたときは、欠席 [判決] 時の状態のところから訴訟事件の審理が続行され、前編に従って手続が行われる。

ART.147. Les Juges pourront maintenir, rétracter ou changer le jugement par défaut, en tout ou en partie.

En marge de la minute du jugement par défaut, mention sera faite de celui qui interviendra sur l'opposition.

第147条 裁判官は、欠席判決を、全部または一部、維持し、取り消しまたは変更することができる。

欠席判決原本の欄外に、故障申立てについて下される判決が記載される。

ART.148. Dans le cas de l'art.135, le jugement sur l'opposition profitera aux parties condamnées contradictoirement:

S'il repose sur des moyens communs qui leur étaient inconnus, ou dont la preuve dépendit des défaillants;

Si l'objet de la condamnation est indivisible.

第148条 第135条の場合、故障申立てについての判決は、つぎの場合には、対席で敗訴判決を言い渡された当事者の有利に効力を生じる。

それが、この者の知らないまたはその証拠が欠席当事者に属する、共通の理由に基づくとき、

敗訴判決の目的が不可分なとき。

ART.149. La partie opposante, après un second jugement par défaut, ne sera plus recevable à former opposition.

第149条 故障を申し立てた当事者は、二度目の欠席判決後は、もはや故障を申し立てる資格がない。

## TITRE XII DES ORDONNANCES PRÉPARATOIRES ET DES PROCÉDURES PROBATOIRES EN GÉNÉRAL

### 第12編

準備命令〔特定の証拠調べをする旨の命令〕および証拠調べ通則

ART.150. Dans les causes où le fond ne sera pas en état d'être jugé

de suite (Art.101), les Juges pourront ordonner préparatoirement l'interrogatoire des parties, ou de l'une d'elles (Tit. XIII), leur serment (Tit. X IV), l'audition de témoins (Tit. XV), l'avis d'experts (Tit. XVI), la vue des lieux (Tit. XVII), la vérification d'écritures (Tit. XVIII), ou toute autre opération préliminaire, si ces diverses procédures probatoires sont utiles à la découverte de la vérité, et autorisées par la Loi.

第150条 本案が直ちに裁判できる状態にない訴訟事件の場合（第101条），裁判官は，準備的に，両当事者またはその一方の尋問（第13編），その宣誓（第14編），証人尋問（第15編），鑑定人の意見（第16編），現場の検分（第17編），文書の検真（第18編），またはその他の予備手続を，これらの各証拠調べが真実の発見に有用でかつ法律により認められるときは，命じることができる。

ART.151. Les Juges ne seront point liés par les ordonnances préparatoires, ni leurs suites, sauf le cas du serment judiciaire déféré à l'une des parties (Tit.XIV).

第151条 裁判官は，当事者の一方に要求される裁判上の宣誓の場合（第14編）を除き，準備命令にも，その結果にも，拘束されない〔自由心証主義〕。

ART.152. Les ordonnances préparatoires seront délibérées, prononcées, rédigées et expédiées comme les jugements (Tit.IX).

Toutefois, s'il ne s'est élevé aucun débat sur l'opération ordonnée, la rédaction pourra être réduite à la désignation des parties, et au dispositif (Art. 107, n<sup>os</sup> 1 et 6).

第152条 準備命令は，判決と同様に（第9編），審議され，言い渡され，作成され，そして交付される。

ただし，命じられる〔証拠調べ〕手続についていかなる議論も起こらなかったときは，その命令書は，当事者の表示と主文（第107条1号および6号）に簡略化されうる。



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.153. Toute ordonnance préparatoire fixera l'audience où l'opération ordonnée devra se faire devant le tribunal, ou lui être rapportée.

第153条 準備命令は、その命じられる〔証拠調べ〕手続が裁判所で行われまたはそこに報告されることとなる口頭弁論期日を指定する。

ART.154. Les ordonnances préparatoires ne seront point signifiées si elles ne sont rendues par défaut (Tit.XI, Sect.I).

第154条 準備命令は、それが欠席（第11編第1節）を理由に下されるのではないときは、送達されない。

ART.155. Si l'ordonnance préparatoire est rendue par défaut, le défaillant pourra former opposition dans la forme et les délais fixés en la Section II du Titre précédent.

第155条 準備命令が欠席を理由に下されるときは、欠席〔準備命令を受けた〕当事者は、前編第2節に定められた方式および期間内に、故障を申し立てることができる。

ART.156. Les diverses procédures probatoires se feront en audience publique, à l'exception des cas où la plaidoirie à huis clos aura été ordonnée, et des actes que la Loi autorisera de faire hors de l'audience.

第156条 各証拠調べは、非公開の弁論が命じられた場合および法律が法廷外で行うことを認めている行為を除き、公開の法廷で行われる。

ART.157. Il sera dressé un procès-verbal circonstancié,

De tous les actes de la procédure probatoire qui se feront hors de l'audience;

De ceux qui auront lieu à l'audience dans les causes en premier ressort.

Il ne sera dressé qu'un procès-verbal sommaire dans les autres cas.

第157条 つぎの場合には、詳細な調書が作成される。

法廷外で行われる証拠調べ、

訴訟事件につき第一審として法廷で行われた証拠調べ。  
その他の場合には、簡単な調書のみが作成される。

ART.158. Les parties pourront prendre au greffe communication des procès-verbaux, sans être tenues de les faire expédier, sauf en cas d'appel (Tit.XXIII).

第158条 当事者は、書記課で調書の伝達を受けることができ、上訴の場合（第23編）を除き、その謄本を交付してもらう義務はない。

ART.159. La procédure probatoire terminée, il sera passé à la plaidoirie et au jugement, à la même ou à une prochaine audience, sans nouvelle écriture.

第159条 新たな証拠書類がなければ、証拠調べが終わると同時にまたは次回  
の口頭弁論で、弁論および判決に移行する。

## TITRE XIII DE L'INTERROGATOIRE DES PARTIES

### 第13編 当事者尋問

#### SECTION I Du mode ordinaire de procéder.

##### 第1節 通常の手続方式

ART.160. Les faits, sur lesquels les parties devront être interrogées, ne seront point circonscrits dans l'ordonnance qui admettra l'interrogatoire.

第160条 当事者が尋問されることになる事実は、尋問を認める命令には詳述されない。

ART.161. Chaque partie, avant l'interrogatoire de l'autre et hors de sa présence, pourra expliquer au tribunal les faits sur lesquels elle désire que celle-ci soit entendue.

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第161条 各当事者は、他方当事者の尋問前にその出席外で、尋問されることを希望する事実を裁判所に伝えることができる。

ART.162. Les parties seront interrogées par le Président sur chaque fait séparément et sur toutes les circonstances propres à la manifestation de la vérité.

Elles répondront sans se servir d'aucun projet écrit.

第162条 当事者は、各事実について別々に、また真実の出現に資するすべての事情について、裁判所長により尋問される。

当事者は、いかなる覚書も用いることなく、答弁する。

ART.163. Les parties pourront être entendues en l'absence l'une de l'autre; au dit cas, elles seront ensuite confrontées.

第163条 当事者は、他方当事者がいないときに尋問されえ、この場合、当事者は、あとで対質させられる。

ART.164. Les Juges, en demandant la parole au Président, pourront adresser aux parties les questions qu'ils estimeront convenables.

Le ministère public aura la même faculté.

第164条 裁判官は、裁判所長に発言を求めたうえで、適切と考える質問を当事者にすることができる。

検察官も、同じ権能を有する。

ART.165. Les parties pourront s'adresser réciproquement des questions et des observations par l'organe du Président et sans s'interrompre.

第165条 当事者は、互いに裁判所長の機関として絶えず質問をし意見を述べあうことができる。

ART.166. Le Greffier lira à chaque partie sa déclaration, s'il en est dressé un procès-verbal circonstancié (Art.157), sinon le Président lui

en rappellera la teneur.

Il lui sera demandé si elle y persiste, ou si elle a quelque changement ou addition à faire.

第166条 書記官は、詳細な調書を作成したときは（第157条）、各当事者にその供述内容を読み聞かせる。そうでないときは、裁判所長が各当事者にその内容をもう一度確認する。

書記官は、当事者がそれを維持するか、または当事者が変更もしくは付加すべきことを有するかどうかを当事者に尋ねる。

ART.167. Si la partie refuse de répondre, ou si, sans justifier d'aucun empêchement légitime, elle ne comparait pas en personne, les Juges pourront tenir contre elle les faits pour avérés.

第167条 当事者が答弁を拒絶するとき、または何らの正当な障害事由を証明することなく、自ら出席しないときは、裁判官は、この者に対し当該事実を真実と見なすことができる。

## SECTION II Des exceptions au mode ordinaire de procéder.

### 第2節 通常の手続方式に対する例外

ART.168. Si une partie allègue quelque maladie ou infirmité grave qui l'empêche de comparaître, le Tribunal pourra commettre un ou plusieurs de ses membres et le Greffier pour l'entendre dans sa demeure, en présence de l'autre partie, ou hors de sa présence, suivant les circonstances.

第168条 当事者の一方が、その出席を妨げる何らかの重大な病気または身体障害を主張するときは、裁判所は、その構成員の一人または数人および書記官に委託して、事情により相手方当事者立会いでまたはその立会いなしに、その住居で尋問することができる。

ART.169. Si les Juges, qui se transporteront auprès de la partie,

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

reconnaissent qu'elle aurait pu comparaître, ils ajourneront son interrogatoire à une audience prochaine.

A cette audience, la partie qui aura prétendu faussement ne pouvoir comparaître, sera condamnée à une amende de 300 florins au plus.

第169条 当事者のもとに赴いた裁判官が、その者が出席可能であったと認めるときは、その尋問を次回の口頭弁論へ延期する。

この口頭弁論において、偽って出席できないと主張した当事者は、300フローリン以上の罰金に処せられる。

ART.170. Si la partie ne réside pas dans le Canton, les Juges auront l'option d'ordonner qu'elle soit entendue devant eux ou devant le Juge de sa résidence.

第170条 当事者が州内に居住していないときは、裁判官は、当事者が自分のところかその居住地の裁判官のところのいずれで尋問されるかを命じる選択権を有する。

ART.171. Dans le dernier cas, le tribunal délivrera une commission rogatoire pour le Juge du lieu.

Il circonscrit les faits sur lesquels la partie devra être interrogée.

Il fixera le terme où l'interrogatoire sera rapporté.

第171条 後者の場合、裁判所は、当該地の裁判官に共助の依頼をする。

裁判所は、当事者が尋問されるべき事実を詳しく報告する。

裁判所は、尋問調書が送られてくる期限を定める。

TITRE XIV

DU SERMENT JUDICIAIRE DÉFÉRÉ A UNE PARTIE

第14編 当事者に要求される裁判上の宣誓

ART.172. Toutes les fois que le serment sera déféré à l'une des parties, l'ordonnance précisera les faits qui en sont l'objet.

第172条 宣誓が当事者の一方に要求されるときはいつも、命令には、その対象となる事実が明示される。

ART.173. Le Président, en audience publique, exposera nettement à la partie les faits sur lesquels le serment lui est déféré;il lui rappellera les peines contre le parjure.

La prestation du serment n'aura lieu qu'à une audience subséquente, à moins de circonstances qui exigent qu'elle ait lieu immédiatement.

第173条 裁判所長は、公開の法廷において、当該当事者に対し、宣誓が要求される事実を明確に説明し、宣誓違反に対する刑罰について注意を喚起する。

宣誓は、それが直ちになされることを必要とする事情がない限り、次の口頭弁論で行われる。

ART.174. Le serment sera prêté comme suit:

La partie tiendra la main levée, les Saintes Écritures seront ouvertes devant elle, et le Président lui prononcera ces mots:

《Vous jurez devant Dieu, de dire toute la vérité, et rien que la vérité, sur les faits qui viennent de vous être rappelés et sur lesquels votre partie adverse (s'il s'agit d'un serment déféré par elle), ou le tribunal (s'il s'agit d'un serment dérééré d'office) s'en rapporte à votre conscience.》

Après que la partie aura dit: 《Je le jure,》 le Président ajoutera:

《Que Dieu, témoin de votre serment, vous punisse si vous êtes parjure.》

第174条 宣誓は、以下のようになされる。

当事者は、手を挙げたままで、聖書がその前に開かれ、裁判所長が、当事者につぎの言葉を発する。

『汝、神にかけて、改めて汝に説明された事実および相手方当事者（宣誓がこの者により要求された場合）または裁判所（宣誓が職権で要求された場合）が汝の良心に委ねた事実について、真実のみを述べ、真実以外の何ものも述べないことを誓え。』

1819年のジュネーブ民事訴訟法(1)

当事者が、『私はそれを誓う。』と述べた後、裁判所長は、つぎのように付け加える。

『神は、汝の宣誓の証人ゆえ、もし汝が宣誓に違反すれば汝を罰するであろう。』

ART.175. La forme ci-dessus pourra être modifiée par les Juges, si la partie professe un culte qui lui interdise le serment dans cette forme ou n'en reconnaisse pas l'efficacité.

第175条 上記の方式は、当事者がそのような方式による宣誓を禁じる宗教を表明しまたはその効用を認めないときは、裁判官により変更されうる。

ART.176. Le Tribunal recevra ensuite la déclaration de la partie.

Le Président lui adressera toutes les questions propres à l'éclaircir.

Il la lui répétera. Il lui demandera si elle y persiste sous la foi de son serment.

第176条 裁判所は、続いて当事者の供述を受ける。

裁判所長は、当事者にその供述を明らかにするのに適切な質問をする。

裁判所長は、当事者にその供述を読み上げる。裁判所長は、当事者に、宣誓してそれを維持するかどうかを尋ねる。

ART.177. Si, sans justifier d'aucun empêchement légitime, la partie ne comparait pas en personne à l'audience fixée, ce défaut de comparution sera considéré comme un refus de prêter le serment déféré.

第177条 何ら正当な障害事由を証明することなく、当事者が指定された口頭弁論期日に自ら出席しないときは、この欠席は、要求された宣誓を拒絶したものと見なされる。

ART.178. Les dispositions de la Section II du Titre précédent seront applicables au cas du serment judiciaire.

第178条 前編第2節の規定は、裁判上の宣誓の場合に準用される。

TITRE XV DE L'ENQUÊTE PAR TÉMOINS

第15編 証人尋問

SECTION I Du mode ordinaire de procéder.

第1節 通常の手続方式

ART.179. L'ordonnance, qui admet l'enquête par témoins, énoncera les faits à prouver, lesquels devront être précis et concluants.

第179条 証人尋問を認める命令には、証明すべき事実が明確かつ明白に明記される。

ART.180. La liste désignant les noms, professions et demeures des témoins, que chaque partie voudra faire entendre, sera remise au greffe trois jours au moins avant l'audience fixée pour l'enquête (Art. 207).

Chaque partie pourra s'opposer à l'audition d'un témoin non porté ou non clairement désigné sur cette liste.

第180条 各当事者が尋問を希望する証人の氏名、職業および住所を表示したリストは、証人尋問のために指定された口頭弁論期日の少なくとも3日前に書記課に提出される（第207条）。

各当事者は、このリストに記載されずまたは明確に表示されていない証人の尋問に対して異議を申し立てることができる。

ART.181. Les témoins, s'ils ne consentent à comparaître volontairement, seront assignés par exploit, deux jours au moins avant l'audition (Art.207 et 737).

Ils seront assignés à la requête de la partie qui les produit et en vertu de l'ordonnance qui a admis l'enquête, sans qu'il puisse leur en être remis copie.

第181条 証人が任意の出廷に同意しないときは、当該尋問期日の少なくとも2日前に、執達書により呼び出される（第207条および第737条）。



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

証人は、自分達を証人に立てる当事者の申請に基づきその証人尋問を認められた命令により、その謄本が交付されうることなく、呼び出される。

ART.182. Le témoin assigné, qui ne comparait pas, sera condamné aux dépens frustratoires et à une amende qui n'excédera pas cent florins.

Il sera réassigné à ses frais.

第182条 呼び出された証人が出廷しないときは、不用な訴訟費用と100フローリンを越えない罰金の支払いが言い渡される。

この証人は、その費用負担で再呼出しを命じられる。

ART.183. Si le témoin réassigné est encore défaillant, il sera condamné de nouveau aux dépens frustratoires, aux dommages-intérêts des parties, et à une amende qui n'excédera pas trois cents florins.

第183条 再呼出しを命じられた証人が再び欠席するときは、新たに不用な訴訟費用と当事者の損害賠償および300フローリンを越えない罰金の支払いが言い渡される。

ART.184. Le Tribunal pourra en outre ordonner:

Que le témoin soit amené devant lui par la force publique;

Qu'il soit conduit et retenu en prison jusqu'à l'audience fixée pour l'entendre, s'il ne peut être ouï de suite.

第184条 裁判所は、さらにつぎのことを命じることができる。

証人が警察力により裁判所に勾引されるべきこと、

証人を直ちに尋問することができないときは、刑務所に護送され、尋問のために指定された期日まで留置されるべきこと。

ART.185. Ces peines ne seront point prononcées:

1° Si l'exploit de citation est nul (Art.49 et 50);

2° S'il ne rappelle les dispositions pénales ci-dessus (Art.182 à 184);

3° Si le témoin a été cité à un délai plus bref que ne le fixe l'art.181;

4° S'il est légitimement empêché de comparaître.

第185条 これらの制裁は、つぎの場合には言い渡されない。

- 1 呼出状が無効であるとき（第49条および第50条）、
- 2 呼出状に上記の制裁規定が注意書きされていないとき、
- 3 証人が第181条で定められているよりも短い期間で呼び出されたとき、
- 4 正当な障害事由により出廷することができないとき。

ART.186. Le témoin condamné pourra former opposition à l'audience où il sera entendu dans l'enquête, et, si celle-ci est terminée, dans les deux semaines après la signification à lui faite du jugement de condamnation.

第186条 制裁の言渡しを受けた証人は、証人として尋問される口頭弁論において、またそれが終了したときは、制裁言渡しの判決がこの者に送達された日から2週間内に、異議を提起することができる。

ART.187. Le témoin opposant pourra être déchargé, en tout ou partie, des condamnations prononcées contre lui, selon que son excuse est plus ou moins valable.

第187条 異議を申し立てた証人は、その弁明の正当性の程度に応じて、この者に対して言い渡された制裁の全部または一部を免除されうる。

ART.188. Ne pourront être entendus comme témoins:

Les parents en ligne directe de l'une des parties;

Les frères et sœurs;

Les oncles et les neveux;

Les alliés au même degré;

Les conjoint, même divorcé.

第188条 つぎの者は証人として尋問されえない。

当事者の一方の直系血族、

兄弟と姉妹、

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

叔父と甥、  
同じ等級の姻族、  
配偶者（元配偶者を含む）。

ART.189. Toutefois les parties pourront faire entendre leurs dits parents et alliés, à l'exception des descendants, dans les questions d'état et dans les causes de divorce ou de séparation de corps.

第189条 ただし、当事者は、身分問題と離婚または別居事件については、その直系卑属を除き、いわゆる親類縁者を尋問してもらうことができる。

ART.190. Toutes les autres personnes seront admises comme témoins, sauf aux parties à articuler et aux Juges à apprécier les diverses circonstances corroboratives et infirmatives du témoignage.

第190条 逐条的に陳述すべき当事者および証言 [の信憑性] を強めたり弱めたりする様々な事情を評価すべき裁判官を除き、その他の者は、証人として認められる。

ART.191. A l'audience fixée, l'ordonnance, qui admet l'enquête, sera lue par le Greffier, les témoins non présents.

Les parties donneront sommairement sur lesdits faits les explications nécessaires.

第191条 指定された口頭弁論期日に、証人が出廷しなくとも、証人尋問を認める命令が、書記官により読み上げられる。

当事者は、当該事実について、簡単に必要な説明を行う。

ART.192. Les témoins seront successivement introduits et entendus séparément, dans l'ordre réglé par celui qui les produit, en commençant par ceux du demandeur ou de la partie soutenant les faits.

第192条 証人は、自分達を申請した者により決められた順序で、まず原告または当該事実を主張する当事者側の証人から、順次別々に招き入れられ、

尋問される。

ART.193. Le témoin sera d'abord interpellé par le Président de déclarer:

- Ses nom, prénoms, âge, profession et demeure;
- S'il est parent ou allié de l'une des parties, et à quel degré;
- S'il est attaché à son service;
- S'il est son créancier ou son débiteur;
- S'il a quelque autre relation avec elle.

第193条 証人は、まずつぎの事項を供述するよう裁判所長より促される。

- その氏名、年齢、職業および住所、
- 当事者の一方の親族かどうかとその等級、
- 当事者の一方と雇用関係にあるかどうか、
- 当事者の一方の債権者または債務者かどうか、
- 当事者の一方とその他の何らかの関係があるかどうか。

ART.194. Avant de déposer, le témoin prêtera serment comme suit:

Il tiendra la main levée, les Saintes Écritures seront ouvertes devant lui, et le Président lui prononcera ces mots:

《Vous promettez sur votre honneur et votre conscience, et vous jurez devant Dieu, de dire toute la vérité et rien que la vérité, sans haine ni faveur pour aucune des parties.》

Le témoin dira à voix haute: 《Je le jure.》

Cette forme pourra être modifiée à l'égard du témoin qui sera dans le cas prévu par l'art.175.

第194条 証言する前に、証人は、以下のように宣誓する。

証人は、手を挙げたままで、聖書がその前に開かれ、裁判所長が、証人につぎの言葉を発する。

「汝、その名誉と良心に賭けて、いずれの当事者に対しても敵対的・好意的にならず、真実のみを述べ真実以外の何ものも述べないことを約束し、神

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

の前で誓え。]

証人は、大きな声で、「私はそれを誓う。」と述べる。

この方式は、第175条に規定される場合の証人に対しては、変更されうる。

ART.195. Les enfants, au-dessous de l'âge de seize ans révolus, pourront être entendus, mais sans prestation de serment.

第195条 満16歳未満の子供は、宣誓しないで、尋問されうる。

ART.196. Les dispositions des art.162, 164, 165 et 166 seront observées dans l'audition des témoins.

第196条 第162条、第164条、第165条および第166条の規定は、証人尋問に準用される。

ART.197. La partie qui interrompt un témoin, pourra être condamnée à une amende de cinquante florins au plus.

En cas de récidive, l'amende pourra être doublée et la partie exclue de l'auditoire.

第197条 証人 [の証言] を妨げる当事者は、最高で50フローリンの罰金の支払いを言い渡されうる。

再び同じ妨害行為をした場合は、罰金は2倍になりえ、その当事者は法廷から排除される。

ART.198. Chaque témoin, après sa déposition, restera dans l'auditoire jusqu'à la fin de l'enquête, à moins que le tribunal n'en décide autrement.

第198条 各証人は、証言後、証人尋問の終了まで、法廷にとどまる。ただし、裁判所が別の決定をする場合は、この限りでない。

ART.199. Les témoins pourront être de nouveau interrogés toutes les fois que des dépositions ultérieures le rendront nécessaire.

Ceux, dont les dépositions paraîtraient contradictoires, seront confron-

tés.

第199条 証人は、その後の証言で必要となるたびに、再度尋問されうる。  
その証言が矛盾していると思われる証人は、対質させられる。

ART.200. Si le témoin réclame une indemnité, elle sera fixée par le tribunal à raison de l'état ou profession du témoin, de l'éloignement de son domicile et du temps qu'aura duré l'enquête (Art.121).

La taxe sera exécutoire contre la partie qui aura fait citer le témoin.

第200条 証人が手当を要求すれば、それは、証人の身分または職業、その住所との距離および証人尋問が継続した時間を考慮して、裁判所により決定される（第121条）。

その手数料は、その証人を呼び出してもらった当事者に対して執行される。

ART.201. Si l'instruction présente des présomptions graves de faux témoignage ou de subornation de témoins, le tribunal fera mettre sur-le-champ en état d'arrestation les coupables présumés.

Il transmettra au magistrat compétent son ordonnance et la procédure.

第201条 当該審理において証人の偽証または買収の重大な疑念が生じたときは、裁判所は、直ちに当該被疑者を勾留せしめる。

裁判所は、管轄司法官にその命令と手続を移送する。

ART.202. Si tous les témoins cités ne peuvent être entendus à l'audience fixée, l'enquête sera continuée à l'audience suivante, sans nouvelle citation.

第202条 呼び出された証人全員が指定された口頭弁論期日に尋問されえないときは、証人尋問は、新たな呼出しなしに、次の口頭弁論期日に続行される。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.203. Si l'une ou l'autre partie demande de produire de nouveaux témoins, le tribunal pourra ordonner la prorogation de l'enquête.

Il ne sera jamais accordé plus d'une prorogation à chaque partie.

第203条 どちらか一方の当事者が、新たな証人の申請を請求するときは、裁判所は、証人尋問の延長を命じることができる。

各当事者には、もはやそれ以上の延長は認められない。

ART.204. Si le témoin comparant refuse, sans juste motif, de prêter serment ou de déposer, il sera condamné aux frais frustratoires, aux dommages-intérêts des parties, et à une amende qui n'excédera pas trois cents florins.

第204条 出廷した証人が、正当な理由なく、宣誓または証言を拒絶するときは、不用な費用、当事者の損害賠償、および300フローリンを越えない罰金の支払いが言い渡される。

ART.205. Le tribunal pourra aussi ordonner que le témoin soit conduit et retenu en prison jusqu'à l'expiration d'un premier délai auquel sa déposition sera ajournée.

Si, à l'expiration de ce délai, le témoin persiste en son refus, le tribunal pourra prolonger son emprisonnement, en fixant un second délai d'une durée au moins double du premier.

Cet emprisonnement ne pourra être ultérieurement prolongé.

第205条 裁判所は、証人を刑務所に護送し、その証言が延期される最初の猶予期間の満了まで勾留するよう命じることにもできる。

この期間が満了しても、証人が拒絶し続けるときは、裁判所は、少なくとも最初の2倍の長さの第二の猶予期間を定めて、その勾留を延長することができる。

この勾留は、その後は延長されえない。

ART.206. Nonobstant lesdits délais, l'emprisonnement cessera si,

avant leur expiration, le témoin s'est soumis à déposer ou s'il y a eu accord entre les parties.

Dans ce dernier cas l'élargissement sera ordonné par le Président.

第206条 前記猶予期間中でも、その満了前に、証人が証言することに同意するかまたは当事者間で合意ができれば、勾留は終了する。

後者の場合、釈放は裁判所長により命じられる。

## SECTION II Des exceptions au mode ordinaire de procéder.

### 第2節 通常の手続方式に対する例外

ART.207. Dans les causes où il y a urgence et dans toutes celles du ressort du Président du Tribunal civil, les délais fixés par les art. 180 et 181 pourront être abrégés.

Les témoins pourront même être entendus à l'audience où l'enquête sera ordonnée.

第207条 緊急性がある訴訟事件の場合および民事裁判所長の管轄に属する訴訟事件の場合、第180条および第181条に定められた期間は、短縮されうる。

証人は、証人尋問が命じられるその口頭弁論期日にも尋問されうる。

ART.208. Si la vue du lieu peut contribuer à la clarté des dépositions, les témoins pourront être entendus sur le lieu même par le tribunal ou par un ou plusieurs de ses membres assistés du Greffier.

第208条 現場を見ることが証言の明確性に寄与することができるときは、証人は、その現場で、裁判所によりまたは書記官に伴われたその構成員の一人または数人により、尋問されうる。

ART.209. Si un témoin, par maladie ou infirmité grave, ne peut se rendre à l'audience, le tribunal commettra un ou plusieurs de ses membres, pour se transporter avec le Greffier en la demeure du témoin, et pour y recevoir sa déposition, en la présence des parties ou hors de



leur présence, suivant les circonstances.

第209条 証人が、重大な病気または身体障害のため、法廷に出向くことができないときは、裁判所は、その構成員の一人または数人に委託して、書記官を伴って証人の住居に赴き、事情により当事者立会いでまたはその立会いなしに、そこでその証言を聴取する。

ART.210. Si les Juges, qui se transporteront auprès d'un témoin, reconnaissent qu'il aurait pu comparaître, ils ne recevront point sa déposition, et ils ordonneront sa comparution à une audience prochaine.

A cette audience le témoin, qui aura faussement prétendu ne pouvoir comparaître, sera condamné aux peines de l'art. 183.

S'il ne comparaisait pas, il pourra être procédé contre lui d'après l'art. 184.

第210条 証人のもとに赴いた裁判官が、証人が出頭可能であったと判断するときは、その証言を一切聴取しないで、次回口頭弁論への出廷を命じる。

この口頭弁論において、偽って出廷できないと主張した証人は、第183条の制裁を言い渡される。

証人が出廷しないときは、この者に対し第184条に従った手続が行われうる。

ART.211. Si un témoin n'a ni domicile ni résidence dans le Canton, la partie, qui veut le produire, requerra une commission rogatoire pour le Juge du lieu.

Cette commission ne sera délivrée par le tribunal, que parties ouïes ou dûment appelées.

第211条 証人が州内に住所も居所も有しないときは、その証人申請を希望する当事者は、現地の裁判官に対する共助の囑託を申し立てる。

この囑託は、当事者が同意するかまたは適法に呼び出される場合に限り、裁判所によりなされる。

ART.212. La commission rogatoire sera délivrée, selon l'exigence des cas:

Pour faire citer et comparaître le témoin devant les tribunaux du Canton;

Pour le faire entendre devant le Juge du lieu.

L'ordonnance, qui accorde la commission rogatoire, fixera, au premier cas, le terme dans lequel le témoin devra comparaître, et au second cas, celui où sa déposition sera rapportée.

第212条 共助の嘱託は、つぎのような場合に、その必要に応じて、なされる。

州裁判所に証人を呼び出し出廷させるため、

現地の裁判官に証人を尋問してもらうため。

共助の嘱託を認める命令は、前者の場合には、証人が出廷すべき日時を、後者の場合には、その証言が報告されるべき日時を、指定する。

ART.213. Si le témoin doit être entendu devant le Juge du lieu, les parties seront tenues, lors de l'ordonnance qui accordera la commission rogatoire, d'élire un domicile dans le lieu de la résidence du Juge.

A ce domicile sera notifiée la sommation pour assister à l'audition du témoin.

Au défaut d'élection de domicile aucune sommation ne sera requise.

第213条 証人が現地の裁判官の前で尋問されることになるときは、当事者は、共助の嘱託を認める命令の際に、裁判官の官邸所在地に住所の選定を行わなければならない。

証人尋問に立ち会うための呼出しは、この住所に通知される。

住所の選定がないときは、呼出しは必要とされない。

## TITRE XVI DES EXPERTS

### 第16編 鑑定人

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.214. Lorsque les Juges ordonneront un avis d'experts, ils désigneront les experts et les objets sur lesquels leur avis doit être donné.

第214条 裁判官が専門家の意見〔聴取〕を命じるときは、鑑定人とその意見が示されるべき事項を指定する。

ART.215. Les experts seront nommés d'office, à moins que les parties ne s'accordent de suite à l'audience sur cette nomination.

第215条 鑑定人は、職権で選任される。ただし、当事者がその選任につき口頭弁論で直ちに合意する場合は、この限りでない。

ART.216. Les experts seront au nombre de trois.

Toutefois, si les parties y consentent, ou s'il s'agit d'objets de peu de valeur, il n'en sera nommé qu'un seul.

第216条 鑑定人は、総数3人である。

ただし、当事者が同意するか、または〔鑑定〕事項がそれほど重要なものでないときは、1人だけ選任される。

ART.217. Les experts pourront être récusés pour cause postérieure à leur nomination.

Ils pourront l'être aussi pour cause antérieure, lorsqu'ils auront été nommés d'office.

Dans ce dernier cas la récusation ne sera pas recevable, si elle n'est proposée dans les trois jours de la nomination.

第217条 鑑定人は、その選任後に生じた原因を理由に、忌避されうる。

選任前の原因についても、職権で選任されたときは、前項と同様である。

後者の場合、その忌避が選任から3日以内に申し立てられなかったときは、認められない。

ART.218. Les causes de récusation seront les mêmes que pour les Juges.

第218条 忌避理由は、裁判官についてのそれと同様である。

ART.219. Elles seront proposées et jugées à l'audience, parties présentes ou citées.

第219条 それは、当事者が出席しまたは呼び出されるときは、口頭弁論で申し立てられ裁判される。

ART.220. Les experts seront appelés à l'audience comme les témoins (Art.181).

Leur défaut de comparution et leur refus de donner leur avis entraîneront les mêmes peines, sauf l'emprisonnement (Art.182, 183 et 204).

Leur indemnité sera fixée dans la même forme (Art.200).

第220条 鑑定人は、証人と同様に口頭弁論に呼び出される（第181条）。

その出廷がない場合およびその意見を示さない場合は、勾留を除いて、[証人と]同様の制裁が課せられる（第182条、第183条および第204条）。

その手当ても、[証人と]同様の方式で決定される（第200条）。

ART.221. Si l'objet de l'expertise est de nature à ce que les experts puissent immédiatement donner leur avis, ils seront entendus de suite à l'audience, séparément, dans l'ordre réglé par le Président et de la manière prescrite pour les témoins par les art. 193, 194, 196, 197, 198 et 199.

第221条 鑑定事項が鑑定人が直ちにその意見を示しうるようなものであるときは、鑑定人は、直ちに口頭弁論において、別々に、裁判所長により決められた順序で、かつ第193条、第194条、第196条、第197条、第198条および第199条で証人について規定された方法で、尋問される。

ART.222. Si l'expertise ordonnée exige la vue des lieux ou tout autre examen préalable, le tribunal fera prêter aux experts, dans la forme prescrite par l'art.194, le serment de bien et fidèlement remplir leur mission.

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

Il déterminera l'audience où sera reçu leur rapport, et s'il sera verbal ou écrit.

第222条 命じられた鑑定が、現場の検分その他の事前の調査を必要とするときは、裁判所は、鑑定人に、第194条に規定された方式で、その任務を適切かつ誠実に遂行するよう宣誓をせよ。

裁判所は、その報告を受領すべき口頭弁論期日、およびそれが口頭または書面のいずれでなされるべきかを決定する。

ART.223. Si le tribunal ordonne un rapport verbal, la déclaration des experts sera reçue à l'audience comme dans l'art.221.

第223条 裁判所が口頭での報告を命じるときは、鑑定人の供述は、第221条の場合と同様に、口頭弁論において受領される。

ART. 224. Si le tribunal ordonne un rapport écrit, les experts le dresseront après en avoir conféré entre eux.

Le rapport énoncera leur avis motivé, et, en cas de diversité d'opinions, celui de chacun d'eux.

Il sera daté, écrit par l'un des experts et signé par tous.

L'expert, qui ne partagera pas l'avis de la majorité, pourra écrire lui-même dans le rapport son opinion individuelle.

第224条 裁判所が書面での報告を命じるときは、鑑定人は、それを協議した後、書面に作成し報告する。

この報告書には、理由を付した意見が明記され、意見が多様であるときは、鑑定人それぞれの意見が明記される。

それは、鑑定人の1人により作成され日付が入れられ、全員により署名される。

多数意見に賛成しない鑑定人は、自らその報告書にその個人的意見を書くことができる。

ART.225. Si les experts ne savent pas tous écrire, ou, si aucun d'eux

ne peut rédiger un rapport, le tribunal commettra pour l'écrire, et, au besoin, pour assister les experts, un de ses membres, un Auditeur, ou le Maire de la commune.

En ce cas le rapport sera signé par le magistrat qui l'aura écrit et par ceux des experts qui sauront signer.

第225条 鑑定人が何も書くことができないとき、または鑑定人のうち誰も報告書を作成することができないときは、裁判所は、それを作成するために、また必要なら、鑑定人を補佐するために、その構成員の1人、法務官または市長に委託する。

この場合、その報告書は、それを作成した司法官と署名可能な鑑定人により、署名される。

ART.226. Le rapport sera déposé au greffe par l'un des experts ou par le magistrat qui l'aura écrit.

Le Greffier constatera le dépôt en faisant mention, sur le rapport, du jour où il lui aura été remis.

Cette mention sera signée par lui et le déposant, s'il sait signer.

第226条 この報告書は、鑑定人の1人によりまたはそれを作成した司法官により書記課に提出される。

書記官は、その報告書に、それが提出された日付を記載することにより、その提出を認証する。

この記載は、書記官と署名可能な提出者により、署名される。

ART.227. A l'audience fixée pour recevoir l'avis des experts, le Greffier fera lecture du rapport déposé.

Les Juges pourront ordonner la comparution des experts à l'audience, pour obtenir de leur bouche les renseignements propres à éclaircir leur rapport écrit.

第227条 鑑定意見を受領するために指定された口頭弁論で、書記官は、提出された報告書を読み上げる。

## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

裁判官は、その報告書を明らかにするに役立つ情報をその口から得るために、その口頭弁論に鑑定人の出廷を命じることができる。

ART.228. Si les Juges ne sont pas suffisamment éclairés par un premier rapport d'experts, ils pourront en ordonner un second par les mêmes ou de nouveaux experts.

第228条 裁判官が最初の鑑定報告により必要な知識〔情報〕を十分に得られないときは、同一または新たな鑑定人により第二の鑑定報告を命じることができる。

### TITRE XVII DU TRANSPORT DES JUGES SUR LES LIEUX

#### 第17編 裁判官による現場検証

ART.229. Lorsque les Juges auront ordonné leur transport sur les lieux, ils pourront y entendre de la manière prescrite dans les Titres précédents, les parties (Titres VII et XIII), les témoins (Tit. XV), les experts (Tit. XVI) et le ministère public (Tit.VIII).

Ils pourront aussi y prononcer leur jugement sans désemparer (T.IX).

第229条 裁判官が現場検証を命じたときは、そこで先行の諸編において規定された方法により、当事者（第7編および第13編）、証人（第15編）、鑑定人（第16編）および検察官（第8編）を尋問することができる。

裁判官は、その場で判決を言い渡すこともできる（第9編）。

ART.230. Les frais de transport du tribunal ne seront point à la charge des parties, et n'entreront, en aucun cas, dans les dépens (Tit.X).

第230条 裁判所の出張費は、当事者の負担にならず、いかなる場合にも、訴訟費用には含まれない（第10編）。

### TITRE XVIII DE LA VÉRIFICATION DES ÉCRITURES

#### 第18編 文書の検真

ART.231. Il y aura lieu à la vérification d'écriture, lorsqu'une pièce produite et utile à la décision de la cause, se trouvera dans l'un des cas suivants:

1° Si l'une des parties soutient que la pièce est fausse;

2° Si, s'agissant d'un acte sous seing privé, attribué à l'une des parties, celle-ci en désavoue l'écriture ou la signature;

3° Si, s'agissant d'un acte sous seing privé, attribué à un tiers ou à l'auteur d'une des parties, celle-ci déclare n'en pas reconnaître l'écriture ou la signature.

第231条 訴訟事件の裁判に提出され有用な書証が、つぎの場合の一つに該当するときは、文書の検真が必要である。

1 当事者の一方が、その書証が偽造されたものであると主張するとき、

2 当事者の一方により作成されたとされる私署証書について、この者がその筆跡または署名を自分のものとは認めないとき、

3 第三者または当事者の一方の被承継人により作成されたとされる私署証書について、この者がその筆跡または署名を自分のものとは認めないと明言するとき。

ART.232. Dans les cas ci-dessus, le tribunal ordonnera aux parties de comparaître en personne à l'audience qu'il fixera.

Il n'en dispensera que les parties qui, à raison d'absence ou d'empêchement grave, seraient dans l'impossibilité de se rendre à l'audience, et qui devront se faire représenter par un fondé de pouvoir spécial.

第232条 上記の場合、裁判所は、その指定する口頭弁論期日に本人自身で出席するよう当事者に命じる。

裁判所は、不在または重大な障害により、口頭弁論期日に出向くことが不可能な状態にある当事者、および特別代理人により代理してもらわねばならない当事者に対してのみ、それを免除する。

ART.233. A l'audience fixée, le tribunal, par l'organe du Président,



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

sommera la partie, qui aura produit la pièce, de déclarer si elle entend s'en servir.

第233条 指定された口頭弁論期日に、裁判所は、裁判所長の代弁者により、書証を提出した当事者に対し、それを使うつもりかどうかを明らかにするよう催告する。

ART.234. Si la partie fait défaut (Titre XI, Sect.I), refuse de répondre, ou déclare qu'elle ne veut pas se servir de la pièce, la pièce sera rejetée du procès.

第234条 当事者が、欠席し（第11編第1節）、答弁を拒絶し、または書証を使うつもりのないことを明言するときは、その書証は、訴訟から除かれる。

ART.235. Si la partie déclare qu'elle entend se servir de la pièce, le tribunal sommera l'autre partie de déclarer, si elle persiste à soutenir que la pièce soit fausse, à en désavouer, ou à n'en pas reconnaître l'écriture ou la signature.

第235条 当事者が、その書証を使うつもりであることを明言するときは、裁判所は、他方の当事者に対して、あくまでその書証が偽造であることを主張し、それを自分のものとは認めず、またはその筆跡もしくは署名を自分のものとは認めないかどうかを明らかにするよう催告する。

ART.236. Si cette partie fait défaut (Tit. XI, Sect.I), refuse de répondre, ou ne persiste pas dans sa première déclaration, la pièce sera admise, et l'écriture ou la signature reconnue.

第236条 この当事者が欠席し（第11編第1節）、答弁を拒絶し、または最初の明言に固執しないときは、その書証は、許容され、その筆跡または署名も承認される。

ART.237. Si la partie persiste dans sa déclaration, le tribunal la sommera d'énoncer les moyens sur lesquels elle la fonde.

Si la pièce est arguée de faux, la partie sera spécialement interpellée de s'expliquer:

Sur l'espèce de faux dont elle prétend que la pièce est entachée;

Sur les personnes qu'elle soutient être auteurs ou complices du faux.

第237条 当事者が、あくまでその明言を変えないときは、裁判所は、この者に対して、その根拠となる攻撃防御方法を明らかにするよう催告する。

その書証が偽造であると主張するときは、当事者は、つぎのことについて説明するよう特別に促される。

その書証が汚されていると主張する偽造の口口、

当事者が偽造の張本人または共犯者であると主張する人物。

ART.238. Dans le cas de l'article précédent la pièce produite sera immédiatement mise sur le bureau. Elle restera déposée en mains du Greffier, après que le tribunal en aura constaté le matériel, les surcharges et les ratures, et que le Président l'aura paraphé.

Les parties ou leurs fondés de pouvoirs parapheront aussi la pièce. S'ils ne le veulent ou ne le peuvent, il en sera fait mention.

第238条 前条の場合、提出された書証は、直ちに問題とされる。それは、裁判所がその素材、加筆と削除を確認し、裁判所長がそれに略署した後、書記官に預けられる。

当事者またはその代理人も、その書証に略署する。これらの者がそれを望まないかできないときは、その旨が記載される。

ART.239. Si la partie, qui argue de faux la pièce, soutient que celui, qui l'a produite, est auteur ou complice du faux, ou si elle désigne tout autre individu vivant et justiciable des tribunaux du Canton comme étant auteur ou complice du faux, l'affaire sera sursise au civil pour être suivie criminellement.

A cet effet le tribunal transmettra au magistrat compétent la pièce arguée de faux, avec une expédition de l'ordonnance de renvoi et du

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

procès-verbal qui aura été dressé (Art.157).

第239条 書証が偽造であると主張する当事者が、それを提出した者が偽造の張本人または共犯であると主張するとき、または当事者が州裁判所の管轄内に在住するその他の個人を偽造の張本人または共犯であると決めつけるときは、当該事件は、刑事事件として追行されるために、民事訴訟は延期される。

この結果、裁判所は、偽造であると主張される書証を、移送命令書および作成された調書（第157条）の謄本と共に、管轄司法官に送付する。

ART.240. S'il n'y a lieu de renvoyer l'affaire au criminel, le tribunal, par une première ordonnance préparatoire, acheminera les parties:

1° A produire les titres, et à articuler les faits, à l'appui de la vérité ou de la fausseté de la pièce;

2° A indiquer les pièces qui pourront servir à la comparaison d'écritures.

Si la pièce contestée n'est produite qu'en expédition, le tribunal pourra ordonner en même temps l'apport de l'original soit minute.

第240条 事件を刑事訴訟に移送する必要がないときは、裁判所は、最初の準備命令により、当事者につきのこを促す。

1 書証の真性または偽りの根拠となる、証書を提出し、事実を逐条的に陳述すること、

2 筆跡鑑定の参考になりうる書証を教示すること、

争われている書証が謄本しか提出されていないときは、裁判所は、その原本がある場合にはその寄託も命じることができる。

ART.241. Les parties se communiqueront respectivement, avant l'audience fixée, les titres qu'elles produiront et les faits qu'elles articuleront (Art.81 et 82).

第241条 当事者は、指定された口頭弁論期日前に、それぞれ提出する証書および逐条的に陳述する事実を、相互に伝達しあう（第81条および第82条）。

ART.242. Le dépositaire de la minute, dont l'apport aura été ordonné, sera cité et contraint de la manière fixée pour les témoins au Titre XV (Art.181, 182, 183 et 184).

第242条 その寄託を命じられた原本の保管者は、第15編で証人について定められた方法で、呼び出されまた拘束される（第181条、第182条、第183条および第184条）。

ART.243. La minute apportée, il sera procédé de la manière prescrite en l'art.238.

Toutefois le tribunal pourra laisser cette minute en mains de son dépositaire, à la charge de la représenter à chaque audience de la cause.

第243条 寄託された原本は、第238条に規定された方法で、処理される。

ただし、裁判所は、当該訴訟事件の口頭弁論の度にそれを提出するという条件で、その保管者のもとにこの原本を預けておくこともできる。

ART.244. A l'audience fixée par la première ordonnance préparatoire, si les titres produits à l'appui de la vérité ou de la fausseté de la pièce sont concluants, le tribunal statuera de suite sur l'admission ou le rejet de la pièce.

第244条 最初の準備命令で指定された口頭弁論期日において、その書証の真偽の根拠として提出された証書が異論の余地のないものであるときは、裁判所は、直ちにその書証の承認または排斥について裁判する。

ART.245. Dans le cas contraire, par une seconde ordonnance préparatoire, le tribunal admettra la vérification par comparaison d'écritures.

Il déterminera les écritures qui devront servir à cette comparaison, et il en ordonnera l'apport.

Il admettra la preuve testimoniale des faits pertinents articulés par les parties.

第245条 これとは逆の場合は、第二の準備命令により、裁判所は、その筆

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

跡鑑定を認める。

裁判所は、この筆跡鑑定に利用する文書を決め、その寄託を命じる。

裁判所は、当事者により逐条的に陳述された関連事実の証言による証拠  
[調べ] を認める。

ART.246. Le tribunal recevra, pour pièces de comparaison, celles dont les parties conviendront.

第246条 裁判所は、鑑定書類として、当事者が合意するそれを受領する。

ART.247. Si les parties n'en conviennent, le tribunal ne recevra pour pièces de comparaison que celles ci-après:

Les actes authentiques;

Les écritures privées reconnues par les parties;

Le surplus de la pièce produite, si la vérification ne porte que sur une partie.

第247条 当事者がそれにつき合意しないときは、裁判所は、鑑定書類として、つぎのそれのみを受領する。

公署証書,

両当事者により認められた私文書,

検真が提出された書証の一部にのみ向けられているときは、その残部。

ART.248. A défaut ou en cas d'insuffisance des pièces de comparaison, la partie, à qui sera attribuée l'écriture ou la signature, pourra être requise de former un corps d'écriture qui lui sera dicté par le Président.

Le refus de faire ce corps d'écriture pourra entraîner la reconnaissance de la pièce.

第248条 筆跡鑑定のもとにされる参考書類〔署名、筆跡〕がないかそれが不十分な場合、その筆跡または署名がその者のものであるとされる当事者は、裁判所長により口述される筆記体を書くよう命じられうる。

この筆記体書取りの拒絶は、当該書証の承認をもたらさうる。

ART.249. Il sera procédé, à l'égard des pièces de comparaison et de leurs dépositaires, de la manière prescrite par les art.242 et 243.

第249条 筆跡鑑定のもとにされる参考書類とその保管人については、第242条および第243条に規定されている方法により、手続が進められる。

ART.250. La vérification, par comparaison d'écritures, sera faite par les Juges eux-mêmes, après avoir entendu les observations des parties.

第250条 筆跡鑑定による検真は、当事者の意見を聴取した後、裁判官自身により行われる。

ART.251. Toutefois, s'ils l'estiment convenable, les Juges pourront s'aider d'avis d'experts.

Les experts, dans ce cas, seront toujours nommés d'office et entendus verbalement en la forme prescrite pour les témoins (Art.221, 222 et 223).

第251条 ただし、適当と判断するときは、裁判官は、鑑定意見を利用することができる。

この場合、鑑定人は、常に職権で選任され、証人について規定された方式で口頭で尋問される（第221条、第222条および第223条）。

ART.252. La preuve testimoniale des faits aura lieu conformément au Titre XV.

第252条 事実の証言による証拠 [調べ] は、第15編に従って行われる。

ART.253. Lorsque de ladite instruction il résultera des indices sur les auteurs ou complices du faux, si ceux-ci sont vivants et justiciables des tribunaux du Canton, les Juges transmettront au magistrat compétent les pièces produites, la procédure et l'ordonnance de renvoi.

Ils suspendront de statuer jusqu'après le jugement criminel.

Ils pourront ordonner l'arrestation des coupables présumés.

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第253条 当該証拠調べの結果、偽造の張本人または共犯についての徴憑が得られ、これらの者が州裁判所の管轄内に在住しているときは、裁判官は、提出された書証、手続および移送命令を管轄司法官に送付する。

裁判官は、刑事判決がでるまで、裁判するのを中止する。

裁判官は、当該被疑者の勾留を命じることができる。

ART.254. Lorsque l'instruction civile sera terminée, s'il n'y a lieu au renvoi ci-dessus, les Juges statueront définitivement sur la vérité ou la fausseté, l'admission ou le rejet, la suppression ou la réformation de la pièce produite.

Ils ordonneront la remise des diverses pièces déposées au greffe.

第254条 民事の審理が終了し、上記の移送がなされないときは、裁判官は、提出された書証の真偽、その承認または排斥、削除または更正について終局的に裁判する。

裁判官は、書記課に提出された様々な書証の返却を命じる。

ART.255. Le jugement ne sera exécuté, relativement à la suppression, la réformation et la remise de la pièce soumise à la vérification, que lorsqu'il sera passé en force de chose jugée (Tit.XXVI, Sect.II).

第255条 判決は、検真に付された書証の削除、更正および返却に関しては、それが既判力を生じたときにのみ執行される（第26編第2節）。

ART.256. Dans toutes les causes de vérification d'écriture, même au Tribunal de commerce, le ministère public sera entendu tant au jugement qu'aux diverses ordonnances préparatoires.

第256条 商事裁判所も含め、文書の検真が問題となるすべての訴訟事件において、検察官は、判決のみならず各種の準備命令に際しても尋問される。

ART.257. Si une cause du ressort du Président du Tribunal civil donne lieu à la vérification d'écriture, elle sera renvoyée au Tribunal

civil, qui statuera tant sur cette vérification que sur le fond de la demande (Art.685 et 751, n° 3).

第257条 民事裁判所長の管轄訴訟事件において文書の検真が必要になるときは、当該訴訟事件は、民事裁判所に移送され、そこで請求の本案とともにこの検真についても裁判される（第685条および第751条3号）。

## TITRE XIX DU PÉTITOIRE ET DU POSSESSOIRE EN MATIÈRE D'IMMEUBLES

### 第19編 不動産に関する本権の訴えおよび占有の訴え

ART.258. Le demandeur agit au pétitoire, s'il revendique, contre le possesseur, la propriété d'un immeuble ou d'un droit immobilier.

第258条 原告は、占有者に対し、不動産の所有権または不動産上の権利を主張するときは、本権の訴えを提起する。

ART.259. Il agit au possessoire, s'il réclame, contre l'auteur du trouble ou de la dépossession, d'être maintenu ou réintégré dans la possession d'un immeuble ou d'un droit immobilier.

第259条 原告は、妨害または占有侵奪の行為者に対し、不動産または不動産上の権利の占有を保持しまたはその回復を請求するときは、占有の訴えを提起する。

ART.260. Ceux des droits immobiliers qui ne s'acquièrent que par titres, ne pourront être l'objet d'une action possessoire.

第260条 証書によってのみ取得される不動産上の権利の占有は、占有の訴えの目的とはなりえない。

ART.261. Le demandeur ne sera recevable à agir au possessoire que si, au moment du trouble ou de la dépossession, il avait par lui ou par ses auteurs, une possession paisible, publique et à titre de propriétaire.



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

Cette possession devra être d'un an au moins, sauf le cas de dépossession par violence.

第261条 原告は、妨害または占有侵奪のとき、自らまたはその前主により、平穩、公然かつ所有者として、占有を保持していた場合に限り、占有の訴えを提起することができる。

この占有は、暴力行為による侵奪の場合を除き、少なくとも1年間なければならない。

ART.262. L'action possessoire ne sera pas recevable, si elle n'a été formée dans l'année du trouble ou de la dépossession.

第262条 占有の訴えは、妨害または占有侵奪から1年内に提起されたものでなければ、受理されえない。

ART.263. Lorsque, d'après l'instruction sur le possessoire, le fait de la possession sera incertain, les Juges ordonneront, jusqu'à la décision du pétitoire, le séquestre de l'immeuble contesté, ou ils en adjudgeront la jouissance provisionnelle à la partie qui aura le droit le plus apparent et qui donnera caution pour la restitution des fruits (Tit.XXVI, Sect.V).

第263条 占有の訴えについての審理の後、占有の事実がはっきりしないときは、裁判官は、本権の訴えの裁判まで、係争不動産の管理を命じ、またはもっともそれらしき権利を有しかつ果実返還のための保証人（第26編第5節）を立てる当事者にそれに対する仮の使用収益権を与える。

ART.264. Le défendeur, qui aura succombé au possessoire, ne sera recevable à se pourvoir au pétitoire qu'après avoir pleinement satisfait aux condamnations prononcées contre lui, à moins que le défaut ou le retard d'exécution ne provînt du demandeur.

第264条 占有訴訟に敗訴した被告は、自分に対して言い渡された有責判決を完全に履行した後でなければ、本権の訴えを提起することはできない。ただし、その履行の欠如または遅延が原告に由来する場合は、この限りでない。

ART.265. Celui, qui aura d'abord agi au pétitoire, ne sera plus recevable à agir au possessoire.

第265条 まず本権の訴えを提起した者は、もはや占有の訴えを提起することはできない。

ART.266. Le possessoire et le pétitoire ne seront point cumulés; ils seront instruits et jugés l'un après l'autre, à moins que le pétitoire ne fût de nature à être vidé plus promptement ou aussi promptement que le possessoire.

第266条 占有の訴えと本権の訴えの併合は、認められない〔占有の訴えにおける本案審理の違法〕。すなわち、それらは、一つずつ審理され判決される。ただし、本権の訴えが占有の訴えより迅速にまたは同じくらい迅速に処理されうるような場合は、この限りでない。

## TITRE XX DE L'INTERVENTION

### 第20編 参加

ART.267. Celui qui a intérêt dans un procès suivi entre d'autres parties, pourra demander à y intervenir.

第267条 他の当事者間で追行されている訴訟に利害関係を有する者は、その訴訟への参加を請求することができる。

ART.268. La demande en intervention sera formée à l'audience.

Avant de statuer sur son admission, les Juges pourront ordonner à l'intervenant de produire et de communiquer aux parties en cause, dans le délai qu'ils fixeront, ses conclusions, moyens et pièces justificatives.

第268条 参加請求は、口頭弁論においてなされる。その許可について裁判する前に、裁判官は、その定める期間内に、その主張書面、理由書および証拠書類を係争中の当事者に提示し伝達するよう参加人に命じることができる。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.269. Si l'intervention est admise, l'intervenant pourra demander la communication des écritures et des pièces produites jusqu'alors par les parties principales.

L'instruction postérieure et le jugement lui deviendront communs avec elles.

第269条 参加が認められるときは、参加人は、そのときまでに主たる当事者により提出された証拠書類の伝達を請求することができる。

その後の審理および判決は、主たる当事者と共同でなされる。

ART.270. Si l'intervenant est sans intérêt, ou si sa demande est concertée dans le but unique d'éloigner le jugement du procès, l'intervention sera rejetée (Art.751, n° 4).

第270条 参加人に利害関係がないとき、またはその請求が専ら当該訴訟の判決を遅延させることのみを目的に企てられたものであるときは、参加は排斥される（第751条4号）。

ART.271. L'intervenant étranger sera tenu de donner caution pour les dépens et les dommages-intérêts dans les mêmes cas où la Loi l'exige du demandeur (Art.67 et 68).

第271条 外国人の参加人は、本法が保証人の提供を原告につき要求しているのと同様な場合には（第67条および第68条）、訴訟費用および損害賠償のための保証人を立てなければならない。

TITRE XXI

SUSPENSION, REPRISE ET PÉREMPTION D' INSTANCE

第21編 訴訟手続の停止、受継および滅効

ART.272. L'instance sera suspendue si toutes les parties le requièrent.

第272条 訴訟手続は、両当事者の要請があるときは、停止する。

ART.273. Elle sera encore suspendue:

Par le défaut de comparution de toutes les parties;

Par le décès de l'une d'elles;

Par son interdiction;

Par la cessation des fonctions en vertu desquelles elle agissait;

Par le décès, la démission, la suspension ou l'exclusion du Procureur constitué dans la cause.

第273条 それは、さらにつぎの事由によっても停止する。

両当事者の欠席,

当事者の一人の死亡,

その禁治産,

その訴訟追行の基礎となる職務の停止,

訴訟事件で選任された代訴士の死亡, 辞任, 停職または除名。

ART.274. Les circonstances énoncées dans l'article précédent n'arrêteront ni les conclusions du ministère public ni la prononciation du jugement, si la plaidoirie est terminée, ou si l'instruction par écrit (Tit.VII, Sect.II), qui doit en tenir lieu, est complète.

第274条 前条で明記された事由は、弁論が終結し、またはその代わりとなる書面審理（第7編第2節）が完了しているときは、検察官の論告も判決の言渡しも停止させない。

ART.275. L'instance sera reprise par un exploit d'ajournement, si elle ne l'est entre les parties d'un commun accord,

Sur cette reprise, il sera procédé d'après les derniers errements.

第275条 訴訟手続は、両当事者合意の上で受継されるのでないときは、呼出状により再開される。

この再開後は、訴訟手続は、その停止直前の状態で続行される。

ART.276. L'instance sera périmée de plein droit, même à l'égard des

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

mineurs et des interdits, si elle n'est reprise:

Dans les deux années de la suspension pour le cas de décès ou d'interdiction de l'une des parties;

Dans l'année pour les autres cas.

第276条 訴訟手続は、つぎの期間内に受継〔再開〕されないときは、未成年者および禁治産者に対しても、法律上当然に失効する。

当事者の一方の死亡または禁治産の場合は、停止後2年、  
その他の場合は、1年。

ART.277. La péremption d'instance emportera extinction de la procédure et de toutes ordonnances préparatoires.

Elle n'éteindra pas l'action.

Chaque partie supportera les frais qu'elle aura faits dans l'instance périmée.

第277条 訴訟手続の滅効は、手続およびすべての準備命令の消滅をもたらす。

それは、訴権を消滅させる。

各当事者は、失効した訴訟手続においてそれぞれが支出した費用を負担する。

ART.278. Nonobstant la péremption, si l'action est de nouveau intentée, les parties pourront se prévaloir:

1° Des aveux, déclarations et serments judiciaires insérés dans la feuille d'audience (Art.108), ou dont il aurait été dressé procès-verbal circonstancié (Art.157);

2° Des dépositions des témoins décédés dès lors, s'il en a été dressé aussi procès-verbal circonstancié.

第278条 滅効にもかかわらず、再び訴えが提起されるときは、当事者は、つぎの事項を援用することができる。

1 口頭弁論期日記録に載せられ（第108条）またはそれにつき詳細な調

書が作成された（第157条）、自白、供述および裁判上の宣誓、

2 それについても詳細な調書が作成されているときは、その後死亡した証人の証言。

ART.279. La péremption de l'instance de recours contre un jugement par opposition (Tit.XI, Sect.II) ou autre voie (Tit.XXII et XXIII), emportera de plein droit la déchéance du recours.

第279条 故障申立て（第11編第2節）またはその他の方法（第22編および第23編）による判決に対する不服申立訴訟手続の滅効は、法律上当然に不服申立権の喪失をもたらす。

## TITRE XXII DE L'INTERPRÉTATION ET DE LA RÉVISION DE JUGEMENTS

### 第22編 判決の解釈および訂正

SECTION I Des cas donnant lieu à interprétation et à révision.

#### 第1節 解釈および訂正の理由となる場合

ART.280. Il y aura lieu à interprétation d'un jugement, si le dispositif (Art.107, n° 6) contient ambiguïté ou obscurité dans les expressions, ou dans les dispositions.

第280条 主文（第107条6号）がその表現上または文脈上、曖昧ないし難解な点を含んでいるときは、判決の解釈の理由となる。

ART.281. Il y aura lieu à révision d'un jugement:

- 1° S'il y a contrariété dans ses dispositions;
- 2° S'il a été prononcé sur choses non demandées;
- 3° S'il a été adjugé plus qu'il n'a été demandé;
- 4° S'il a été omis de prononcer sur l'un des chefs de demande;
- 5° Si le jugement préjudicie à une partie dans l'intérêt de laquelle le

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ministère public devait être entendu, et ne l'a pas été (Tit. VIII).

第281条 つぎの場合には、判決の訂正の理由となる。

- 1 その文脈に矛盾があるとき、
- 2 請求されていない事項について言渡しがなされたとき、
- 3 請求された以上に認容されたとき、
- 4 請求項目の一つにつき言渡しを脱漏したとき、
- 5 ある当事者のために検察官が審尋されなければならないのに (第8編)、それがなされなかったことにより、判決がこの者に損害を与えるとき。

ART.282. Il y aura lieu à révision s'il y a contrariété de jugements rendus par le même tribunal, entre les mêmes parties, sur le même objet et les mêmes moyens.

第282条 同じ裁判所により、同じ当事者間で、同じ目的につき同じ攻撃防御方法に基づいて下された判決に矛盾があるときは、訂正の理由となる。

ART.283. Il y aura lieu à révision du jugement rendu sur des offres, aveux ou consentements donnés ou acceptés, sans mission, par les Avocats, Procureurs ou Huissiers, à l'audience ou dans des exploits ou écritures du procès, lorsque ces offres, aveux ou consentements seront désavoués.

第283条 口頭弁論または執達書もしくは訴訟書類において、弁護士、代訴士または執行吏により、受任なしに、提供されまたは承諾された申し出、自白または同意が、否認されるときは、これらに基づいてなされた判決の訂正の理由となる。

ART.284. Il y aura lieu à révision d'un jugement:

1° Si, depuis sa prononciation, il a été recouvert des pièces décisives, retenues par une circonstance de force majeure, ou par le fait de la partie qui aura obtenu le jugement;

2° S'il a été jugé sur pièces que l'une des parties, lors du jugement,

ignorait avoir été déjà reconnues ou déclarées fausses, ou sur pièces reconnues ou déclarées fausses depuis le jugement;

3° Si, le jugement ayant été rendu sur une enquête (Tit.XV) ou sur un serment déféré (Tit.XIV), un ou plusieurs témoins, à raison de leur déposition dans l'enquête, ou la partie, à raison du serment qu'elle aura prêté, sont condamnés pour faux témoignage ou faux serment;

4° Si le jugement a été obtenu par toute autre surprise ou machination frauduleuse.

第284条 つぎの場合には、判決の訂正の理由となる。

1 判決の言渡し後、不可抗力の事情または勝訴した当事者の行為により留め置かれていた決定的証拠が、発見されたとき、

2 すでに偽りであることが認められまたは表明されていたことを当事者の一方が判決時に知らずにいた書証、または判決後に偽りであることが認められまたは表明された書証、に基づいて判決がなされたとき、

3 判決が証人尋問に基づいて（第15編）または要求された宣誓に基づいて（第14編）下された場合において、一人もしくは複数の証人が、その証人尋問における証言を理由に、または当事者がその行った宣誓を理由に、偽証または偽りの宣誓で有罪判決を受けたとき、

4 判決が、その他の不正な不意打ちまたは企てにより取得されたとき。

ART.285. Il y aura lieu à révision des jugements rendus au préjudice des mineurs et des interdits:

1° Si leurs tuteurs ont négligé de produire des pièces décisives;

2° Si, s'agissant de leur état civil, des moyens pertinents ont été omis;

3° S'il y a eu violation des lois établies spécialement en leur faveur.

第285条 つぎの場合には、未成年者および禁治産者の利益に反して下された判決の訂正の理由となる。

1 これらの者の後見人が決定的証拠の提出を怠ったとき、

2 これらの者の民事身分に関して、関連のある攻撃防御方法が言い落とされたとき、



## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

3 とくにこれらの者のために制定された法律の違反があったとき。

ART.286. Les créanciers ou ayants droit pourront attaquer par voie de révision les jugements qui seraient rendus contre leur débiteur ou leur auteur, s'il y a eu collusion frauduleuse ou atteinte à leurs droits.

第286条 債権者または権利承継人は、自分達の権利に対する不正な共謀または侵害があったときは、その債務者またはその前主に対して下された判決に対し訂正の方法で異議を申し立てることができる。

ART.287. La voie d'interprétation ou de révision ne sera employée, ni pour une erreur matérielle dans la rédaction du jugement sur les noms, qualités et conclusions des parties (Art.107), ni pour une simple erreur de calcul dans le dispositif (Art.107, n° 6).

La réparation en sera demandée par requête; elle sera faite en marge ou au bas de la minute même du jugement.

第287条 解釈または訂正の方法は、当事者の氏名、地位および主張書面（第107条）に関する判決作成時の〔判断ではなく実作業上の〕うっかりミスや主文（第107条6号）における単純な計算ミスについては、利用されない。

その更正は、申請により請求され、判決の原本自身の欄外または末尾になされる。

## SECTION II

Des délais pour se pourvoir en interprétation et en révision.

### 第2節 解釈および訂正の請求期間

ART.288. Le délai, pour se pourvoir en interprétation et en révision, sera de deux semaines à compter:

1° De la signification du jugement dans les cas des art.280, 281 et 283;

2° De celle du dernier jugement dans le cas de l'art.282 (Art.113, 738 à

743).

第288条 解釈および訂正の請求期間は、つぎの日から2週間である。

- 1 第280条, 第281条および第283条の場合は, 判決の送達,
- 2 第282条の場合は (第113条, 第738条~第743条), 最後の判決の送達。

ART.289. Toutefois, lorsqu'une partie justifiera qu'à raison d'absence, de maladie grave ou d'autre circonstance de force majeure, elle n'a pu connaître le jugement ou se pourvoir dans le délai fixé, la demande en révision pour cause de désaveu (Art.283) sera recevable, si, dès la cessation de l'obstacle ou dès la connaissance acquise du jugement, la partie n'a laissé écouler les délais fixés pour l'opposition, dans les mêmes cas, par les art.139 et 140.

第289条 ただし, 当事者が, 不在, 重病またはその他の不可抗力の事情を理由に, 判決を知り得ず, または定められた期間内に請求できなかったことを証明するときは, 否認 (第283条) を理由とする訂正請求は, その障害が止んだ後または判決を知った後, 当事者が, 同様な場合に第139条および第140条で故障申立てについて定められた期間を徒過させなかったときは, 受理されうる。

ART.290. Dans les cas prévus par l'art.284, le délai, pour se pourvoir en révision, sera de trois mois à compter du jour de la découverte des pièces nouvelles, ou de la fraude, ou du jour où le faux aura été reconnu ou déclaré.

第290条 第284条に規定された場合, 訂正の請求期間は, 新証拠の発見もしくは不正行為の日から, またはその偽りであることが認められもしくは表明された日から, 3ヶ月である。

ART.291. Dans les cas prévus par les art.284 et 285, le délai, pour se pourvoir en révision, sera prorogé, en faveur des mineurs et des interdits jusqu'à l'expiration des trois mois dès la signification du jugement,

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

faite depuis la cessation de la minorité ou de l'interdiction.

Au défaut de cette signification, ce délai sera prorogé de toute la durée de l'action en rescision.

第291条 第284条および第285条に規定された場合、訂正の請求期間は、未成年または禁治産の終了後になされる判決の送達後3ヶ月の満了まで、未成年者および禁治産者のために延長される。

この送達がなければ、この期間は、取消しの訴えの期間中、延長される。

ART.292. Dans le cas de l'art.286, les créanciers ou ayants droit auront, pour se pourvoir en révision, trois mois à compter du jour où ils auront juridiquement acquis la connaissance du jugement.

第292条 第286条の場合、債権者または権利承継人は、訂正請求のため、これらの者が法的に判決を確認した日から3ヶ月を有する。

SECTION III De la manière de former et d'instruire la  
demende en interprétation et celle en révision.

第3節 解釈請求および訂正請求を提起し審理する方法

ART.293. La demande en interprétation et celle en révision seront formées, à peine de nullité, par un exploit d'ajournement (Art.41, 60 et 61).

Elles seront portées devant le tribunal qui aura rendu le jugement.

第293条 解釈請求および訂正請求は、無効の制裁のもとに、呼出状により提起される(第41条、第60条および第61条)。

それらの請求は、[その対象となる]判決を下した裁判所に提起される。

ART.294. Lorsque la demande en révision reposera sur des offres, aveux ou consentements désavoués (Art.283), l'Avocat, le Procureur ou l'Huissier, qui les aura faits, soit ses héritiers, devront être mis en cause.

第294条 訂正請求が、否認された申し出、自白または同意を理由とすると

きは（第283条）、それらを行った弁護士、代訴士または執行吏あるいはこれらの者の後継者は、喚問されなければならない。

ART.295. La demande en interprétation et celle en révision seront instruites comme toute autre demande principale.

Le ministère public y sera toujours entendu.

第295条 解釈請求および訂正請求は、他の本訴請求と同様に審理される。

検察官は、そこで常に審尋される。

ART.296. La demande en interprétation et celle en révision n'arrêteront point l'exécution du jugement attaqué.

Toutefois le tribunal, si les circonstances l'exigent, pourra surseoir l'exécution moyennant caution, ou assujettir la partie même, qui poursuivra l'exécution, à donner caution (Art.279).

第296条 解釈請求および訂正請求は、不服の対象となっている判決の執行を停止しない。

ただし、裁判所は、必要な場合には、保証人 [の提供] と引換えに執行を停止し、または執行を求める当事者自身に保証人の提供義務を課することができる（第279条）。

#### SECTION IV Des jugements d'interprétation et de révision.

##### 第4節 解釈および訂正判決

ART.297. Si le tribunal estime qu'il y ait lieu à interprétation, il admettra la demande, et il lèvera l'ambiguïté ou l'obscurité qui existait dans le jugement, sans en changer le fond.

第297条 裁判所は、解釈の必要があると判断するときは、その請求を認容し、本案 [に対する判断] を変えることなく、当該判決に存する曖昧さや難解な点を取り除く。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.298. Si le tribunal estime qu'il y ait lieu à révision, il admettra la demande, et il rétractera le jugement attaqué, en tout ou en partie, selon que les moyens de révision porteront sur la totalité du jugement ou sur quelques chefs.

第298条 裁判所は、訂正の必要があると判断するときは、その請求を認容し、訂正の理由が判決の全体かまたはいくつかの項目に向けられているかにより、不服の対象となっている判決を、全部または一部取り消す。

ART.299. Le tribunal, par le même jugement ou par un jugement séparé, suivant la nature de l'affaire, statuera sur le fond même de la contestation qui a été l'objet du jugement rétracté.

第299条 裁判所は、事件の性質に応じて、同じ判決によりまたは別の判決により、取り消された判決の目的であった争訟の本案そのものについて裁判する。

ART.300. Le tribunal, en admettant la demande en révision à raison de contrariété de deux jugements (Art.282), rétractera le dernier rendu et il ordonnera l'exécution du premier.

第300条 裁判所は、二つの判決の矛盾を理由に訂正請求を認容するときは(第282条)、後で下された判決を取り消し、最初の判決の執行を命じる。

ART.301. Le Greffier fera mention du jugement d'interprétation ou de révision en marge de la minute du jugement primitif.

第301条 書記官は、元の判決原本の欄外に解釈または訂正判決を記載する。

ART.302. La demande en interprétation et celle en révision ne seront jamais recevables:

Contre le jugement déjà attaqué par cette voie;

Contre le jugement, qui aura statué sur la demande en interprétation ou en révision;

Contre le jugement, qui, dans le cas d'admission de la demande en révision, aura statué de nouveau sur le fond de la contestation (Art.751, n° 4; 761, n° 4; et 769).

第302条 つぎの判決に対する解釈請求および訂正請求は、受理されえない。  
既にこの方法により不服申立てがなされている判決、  
解釈請求および訂正請求につき裁判した判決、  
訂正請求認容に際して、再び争訟の本案について裁判した判決（第751条4号、第761条4号および第769条）。

### TITRE XXIII

#### DE L'APPEL A LA COUR DE JUSTICE CIVILE

##### 第23編 民事上級裁判所への上訴

#### SECTION I Des cas où l'appel est admis.

##### 第1節 上訴が認められる場合

ART.303. On pourra appeler à la Cour de justice civile de tous les jugements rendus par les tribunaux inférieurs dans les causes et sur les incidents, dont ils ne peuvent connaître qu'en premier ressort d'après la Loi sur l'organisation judiciaire.

第303条 訴訟事件およびその付帯事件につき、司法組織法により第一審としてのみ管轄権を有しうる下級裁判所により下された判決に対しては、民事上級裁判所に上訴することができる。

ART.304. On pourra encore appeler à la Cour de justice civile des jugements rendus par les tribunaux inférieurs dans les causes et sur les incidents dont ils peuvent, d'après la même Loi, connaître en dernier ressort:

1° Si ces tribunaux, lors de la prononciation, n'étaient pas composés comme la Loi l'ordonne;

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

2° Si les règles sur la publicité de la plaidoirie et de la prononciation des jugements ont été violées (Tit.VII, Sect.I, et Tit.IX, Sect. I);

3° Si le dispositif du jugement contient une contravention expresse au texte de la Loi (Art.107, n° 6);

4° S'il s'agit de l'application de la contrainte par corps (Titre XXXI, Sect.I);

5° S'il y a contrariété entre deux jugements rendus par différents tribunaux inférieurs entre les mêmes parties, sur le même objet et les mêmes moyens.

第304条 さらに、つぎの場合には、同法により、訴訟事件およびその付帯事件につき、終審としての管轄権限を有しうる下級裁判所により下された判決に対しても、民事上級裁判所に上訴〔再審の訴え〕することができる。

1 当該裁判所が、その言渡しのときに、法律が命じているようには構成されていなかったとき、

2 弁論および判決の言渡しの公開に関する規定に違反したとき（第7編第1節および第9編第1節）、

3 判決主文が法文に対する明らかな違反を含んでいるとき（第107条6号）、

4 [債務者の] 身体拘束の執行が問題とされるとき（第31編第1節）、

5 同じ当事者間で、同じ目的につき同じ攻撃防御方法に基づいて、異なる下級裁判所により下された二つの判決間に矛盾があるとき。

ART.305. Toute partie, qui aura formellement acquiescé à un jugement, ne sera plus recevable à en appeler.

第305条 明確に判決を認諾した当事者は、もはやそれに対して上訴することは認められない。

ART.306. La partie défaillante ne sera point recevable à appeler du jugement qui l'aura condamnée par défaut (Tit.XI, Sect.I).

第306条 欠席 [判決を受けた] 当事者は、その欠席判決（第11編第1節）に対して上訴することは認められない。

ART.307. On pourra appeler des ordonnances préparatoires dans les mêmes cas que des jugements (Tit.XII).

Toutefois l'appel n'en sera recevable qu'avec celui du jugement au fond, à moins que lesdites ordonnances n'admissent une espèce de preuve ou d'instruction dans un cas où la Loi l'aurait interdite.

L'exécution de l'ordonnance préparatoire, sans protestation, ne sera point considérée comme un acquiescement.

第307条 準備命令（第12編）に対しては判決と同時に上訴することができる。

ただし、その上訴は、本案判決に対するそれと一緒にのみ受理されうる。ただし、上記命令が、法律がそれを禁止している場合に、証拠調べのようなものを認めたものである場合は、この限りでない。

準備命令の執行は、異議申立てがなくても、認諾とはみなされない。

## SECTION II Du délai d'appel.

### 第2節 上訴期間

ART.308. L'appel ne pourra être interjeté, ni avant une semaine dès la prononciation du jugement (Tit.IX, Sect.I), ni après trois mois dès sa signification (Tit.IX, Sect.IV), sauf les exceptions spécialement admises par la Loi (Art.310, 311, 409, 620, 644).

第308条 上訴は、法律によりとくに認められた例外（第310条、第311条、第409条、第620条および第644条）を除き、判決の言渡し（第9編第1節）から一週間内、同送達（第9編第4節）から3ヶ月後は、提起されえない。

ART.309. Dans le cas de contrariété de deux jugements (Art.304, n° 5), le délai de trois mois courra du jour de la signification du dernier juge-



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ment (Art.748 à 743).

第309条 二つの判決が矛盾する場合 (第304条 5号), 3ヶ月の期間は, 後の判決の送達の日から進行する (第738条~第743条)。

ART.310. Toutefois, en cas d'appel de l'autre partie, celle qui aura fait signifier le jugement pourra jusqu'au jour de la plaidoirie exclusivement, interjeter appel nonobstat l'expiration du délai ci-dessus.

第310条 ただし, 相手方当事者による上訴の場合, 判決の送達を受けた [他方] 当事者は, 弁論期日に入るまでなら, 上記期間の満了後でも上訴を提起することができる。

ART.311. Dans les causes concernant l'état civil des mineurs et des interdits le délai de l'appel sera prorogé comme il est dit en l'art.291.

第311条 未成年者および禁治産者の民事身分に関する訴訟事件の場合, 上訴期間は, 第291条で定められているのと同様に, 延長される。

SECTION III De la forme d'appel.

第3節 上訴の方式

ART.312. L'appel sera formé, à peine de nullité, par un exploit d'ajournement (Art.41, 60 et 61).

Les griefs de l'appelant y seront sommairement énoncés.

第312条 上訴は, 無効の制裁のもとに, 呼出状 (第41条, 第60条および第61条) により提起される。

上訴理由は, そこに簡潔に明記される。

ART.313. Dans le cas de l'art.310, l'appel pourra être interjeté par la simple production, avant la plaidoirie, de conclusions motivées (Art.81).

第313条 第310条の場合, 上訴は, 弁論前に, 理由を付した主張書面の簡易

提出により（第81条）、提起されうる。

SECTION IV De l'exécution provisoire en cas d'appel.

第4節 上訴の場合の仮執行

ART.314. L'appel, émis dans le cas de l'art.303, le délai et la forme ci-dessus fixés (Sect.II et III), suspendra l'exécution du jugement, à moins que, par le même jugement, le tribunal de première instance n'en eût ordonné l'exécution provisoire, nonobstant l'appel.

第314条 第303条の場合、前記に定められた期間と方式（第2節および第3節）で提起された上訴は、判決の執行を停止する。ただし、同じ判決で、第一審裁判所が、上訴にもかかわらず、その仮執行を命じていた場合はこの限りでない。

ART.315. Les premiers Juges devront ordonner l'exécution provisoire, nonobstant l'appel, avec ou sans caution, lorsqu'il y aura titre authentique, promesse reconnue, ou qu'il s'agira du possessoire (Tit.XIX).

第315条 第一審裁判官は、公署名義、承認された約定があるとき、または占有の訴え（第19編）が問題となるときは、上訴にもかかわらず、保証人〔の提供〕とともにまたはなしで、仮執行を命じなければならない。

ART.316. Les premiers Juges pourront ordonner cette exécution provisoire avec caution dans tous les autres cas, où elle ne serait pas irréparable en définitive.

第316条 第一審裁判官は、それが終局的に回復不可能とはならないその他の場合にも、保証人〔の提供〕とともに仮執行を命じることができる。

ART.317. Si l'exécution provisoire n'a pas été prononcée par les premiers Juges, l'intimé pourra la requérir et la Cour de justice civile l'ordonner dès la première audience où la cause sera portée devant elle.

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第317条 仮執行が第一審裁判官により言い渡されなかったときは、被上訴人は、それを申請することができ、民事上級裁判所は、当該訴訟事件の最初の口頭弁論期日においてそれを命じることができる。

ART.318. Sur la demande de l'appelant, la Cour de justice civile pourra, suivant les circonstances et dès la première audience:

Défendre ou suspendre, en tout ou en partie, l'exécution provisoire;

Assujettir à fournir caution l'intimé qui en aurait été dispensé par les premiers Juges.

L'exécution provisoire ne pourra être ni défendue ni suspendue si elle a été ordonnée d'après l'art.315.

第318条 上訴人の請求に基づき、民事上級裁判所は、事情に応じて、最初の口頭弁論期日に、つぎのことをすることができる。

仮執行の、全部または一部の、禁止または停止、

第一審裁判官により被上訴人に免除された保証人の提供を命じること。

仮執行は、第315条により命じられたときは、禁止も停止もされえない。

ART.319. L'appel interjeté dans les divers cas de l'art.304 ne suspendra pas l'exécution du jugement attaqué.

Toutefois, si les circonstances le requièrent, la Cour de justice civile pourra assujettir l'intimé à donner caution, ou surseoir l'exécution moyennant caution de la part de l'appelant.

第319条 第304条の諸場合に提起される上訴は、不服申立ての対象となっている判決の執行を停止しない。

ただし、必要があれば、民事上級裁判所は、被上訴人に対し保証人の提供を命じ、または上訴人側の保証人 [の提供] と引換えにその執行を停止することができる。

SECTION V De la manière de procéder sur l'appel.

第5節 上訴審の手続方式

ART.320. Seront observées en appel devant la Cour de justice civile les dispositions des Titres IV à VIII et des Titres XIX à XXI inclusivement, sous les modifications ci-après.

第320条 民事上級裁判所における上訴審手続では、第4編から第8編および第19編から第21編までの規定が、以下のような修正のもとに、適用される。

ART.321. Aucune écriture ne sera permise en appel et n'entrera en taxe, s'il n'y a lieu de prendre des conclusions nouvelles, ou de proposer des moyens ou exceptions qui n'auraient pas été employés en première instance.

第321条 新たな主張書面が受理され、または第一審で使われなかった理由付けもしくは抗弁を提出するのではないときは、いかなる証拠書類も上訴審では認められず、また公定訴訟費用にも含まれない。

ART.322. Le ministère public sera toujours entendu lorsque l'appel aura lieu dans l'un des cas de l'art.304.

第322条 検察官は、上訴が第304条の場合の一つを理由に提起されるときは、常に審尋される。

ART.323. La Cour de justice civile pourra ordonner que les procédures probatoires, qui auraient eu lieu en première instance et qui lui paraîtraient défectueuses ou insuffisantes, soient refaites devant elle.

Elle pourra aussi ordonner toute autre espèce d'instruction ou de preuve qui n'aurait pas été ordonnée par les premiers Juges.

Dans les cas ci-dessus il sera procédé devant la Cour de justice civile conformément aux Titres XII à XVIII inclusivement (Art.279).

第323条 民事上級裁判所は、第一審で行われたものの不完全または不十分と思われる証明手続の上訴審におけるやり直しを命じることができる。

同裁判所はまた、第一審裁判官により命じられなかったその他の種類の証拠調べも命じることができる。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

上記の場合、第12編から第18編までの規定に従って（第279条）、民事上級裁判所での手続が行われる。

SECTION VI Des jugements d'appel.

第6節 上訴審判決

ART.324. La Cour de justice civile confirmera ou infirmera, en tout ou en partie, les jugements dont l'appel a été porté devant elle.

Elle statuera, par de nouvelles dispositions, sur les points qu'elle aura infirmés.

第324条 民事上級裁判所は、上訴の対象となった判決を、全部または一部、維持または取り消す。

同裁判所は、新たな心証に基づいて、自ら取り消した事項について裁判する。

ART.325. Lorsque, dans le cas de l'art.304, l'appel aura lieu sur l'application de la contrainte par corps, la Cour de justice civile ne statuera que sur cette application, sans toucher au fond.

第325条 第304条の場合に、上訴が〔債務者の〕身体拘束の執行につき提起されるときは、民事上級裁判所は、本案に触れることなく、この執行についてのみ裁判する。

ART.326. Lorsque l'appel sera fondé sur la contrariété de deux jugements de tribunaux différents (Art.304, n° 5), la Cour de justice civile maintiendra celui qui aura été rendu par le tribunal compétent, et si les deux tribunaux étaient également compétents, le jugement prononcé le premier.

第326条 上訴が異なる裁判所間の二つの判決の矛盾を理由とするときは（第304条5号）、民事上級裁判所は、管轄裁判所により下された判決を維持し、二つの裁判所がともに管轄権限を有するときは、先に言い渡された判決

を維持する。

ART.327. Si le jugement, dont il y a appel, n'a décidé qu'un incident, la Cour de justice civile ne statuera que sur cet incident; la décision du fond sera renvoyée aux Juges de première instance.

第327条 上訴が提起された判決が、付帯請求についてのみ判断していたときは、民事上級裁判所は、この付帯請求についてのみ裁判することとし、本案の裁判は、第一審の裁判官に移送される。

ART.328. Néanmoins dans le cas ci-dessus la Cour de justice civile, en infirmant la décision des premiers Juges, pourra, par le même jugement, prononcer sur le fond:

Si toutes les parties le requièrent;

Si, s'agissant de l'appel d'une ordonnance préparatoire, dans le cas où il est admissible avant celui du jugement au fond (Art.307), la cause est en état de recevoir une décision définitive.

第328条 上記の場合でも、つぎの場合には、民事上級裁判所は、第一審裁判官の裁判を取り消したうえで、その同じ判決で、本案についても言い渡すことができる。

両当事者がそれを希望するとき、

準備命令に対する上訴について、本案判決に対する上訴の前にそれが認められている場合に（第307条）、訴訟事件が終局的裁判のできる状態にあるとき。

ART.329. La Cour de justice civile ne pourra statuer sur aucun chef de demande qui n'aurait pas été soumis aux premiers Juges, à moins qu'il ne s'agisse:

De compensation pour cause postérieure au jugement de première instance;

D'intérêts, loyers et autres accessoires échus depuis ce jugement;

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

De dommages-intérêts pour le préjudice souffert dès lors;  
De demande provisionnelle pendant la litispendance.

第329条 民事上級裁判所は、第一審裁判官に付託されなかった請求項目については裁判することができない。ただし、つぎの事項については、この限りでない。

第一審判決後の事由による相殺、  
この判決後に期限の到来する利息、地代、その他の付帯金、  
その後に被った損害の賠償請求、  
訴訟係属中の仮請求。

ART.330. Seront observés en appel devant la Cour de justice civile les Titres IX, X et XI.

第330条 民事上級裁判所における上訴手続については、第9編、第10編および第11編が準用される。

ART.331. Toutefois celui qui, sur l'appel, emploiera des pièces, exceptions ou moyens décisifs, non produits devant les premiers Juges, pourra, même en obtenant gain de cause, être condamné à la totalité ou à une partie des dépens.

第331条 ただし、上訴審において、第一審裁判官に提出されなかった書証、抗弁または決定的な理由付けを使用する者は、訴訟に勝訴した場合であっても、訴訟費用の全部またはその一部の支払いを命じられうる。

ART.332. Un extrait de tout jugement sur appel sera transmis, dans la semaine où il aura été rendu, par le Greffier de la Cour de justice civile à celui du tribunal inférieur.

Ce dernier en fera mention, sans retard, en marge de la minute du jugement de première instance (Art.751, n<sup>os</sup> 4 et 5).

第332条 上訴審判決の抄本は、それが下された週内に、民事上級裁判所の書記官から、下級裁判所の書記官に、送付される。

後者は、遅滞なく、第一審判決原本の末尾にその旨を記載する（第751条4号および5号）。

SECTION VII De l'interprétation et de la révision des  
jugements d'appel.

第7節 上訴審判決の解釈および訂正

ART.333. La voie d'interprétation et celle de révision seront ouvertes contre les jugements d'appel dans les cas où elles le sont contre les jugements de première instance (Tit.XXII, Sect.I).

La voie de révision sera encore ouverte lorsque l'une des deux premières circonstances de l'art.304 se rencontrera dans lesdits jugements d'appel.

第333条 上訴審判決に対する解釈および訂正は、第一審判決に対すると同様の場合に（第22編第1節）、認められる。

訂正は、さらに第304条の最初の二つの事由の一つが当該上訴審判決に存在するときにも、認められる。

ART.334. La demande en interprétation et celle en révision seront formées et jugées devant la Cour de justice civile conformément aux dispositions des trois dernières Sections du Titre précédent.

第334条 解釈および訂正請求は、前編の最後の3節の規定に従って、民事上級裁判所に提起され、判決される。

TITRE XXIV DE L'ARBITRAGE

第24編 仲裁

SECTION I Des cas où l'arbitrage est permis.

第1節 仲裁が許される場合



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.335. Les personnes, ayant le libre exercice de leurs droits et de leurs actions, pourront soumettre à des arbitres la décision de leurs différends.

第335条 その実体権および訴権の自由行使 [権] を有する者は、自分達の [間に存する] 紛争の裁定を仲裁人に付託することができる。

ART.336. Elles pourront, à l'égard de contestations éventuelles, s'obliger d'avance à en porter la décision à des arbitres.

Une telle stipulation, tant qu'elle n'est pas révoquée par toutes les parties, rendra l'arbitrage forcé.

L'arbitrage sera encore forcé dans tous les cas où il serait ordonné par la Loi.

第336条 これらの者は、将来の争いに関し、その裁定を仲裁人に提起することを予め約束することができる。

そのような約定は、両当事者によって撤回されない限り、仲裁を強制的なものとする。

仲裁は、さらに法律によって命じられる場合にも強制的である。

ART.337. Ne pourront point être soumis à la décision d'arbitres:

Les questions d'État;

Les demandes en divorce ou en séparation de corps ou de biens entre époux;

Les objets sur lesquels la Loi ne permettrait pas de transiger.

第337条 つぎの事項は、仲裁人の裁定に付託されえない。

国家の問題、

離婚、別居または夫婦間の財産分離請求、

法律が和解を認めていない係争物。

SECTION II Nomination, acceptation, révocation et  
récusation des arbitres.

第2節 仲裁人の選任, 受諾, 解任および忌避

ART.338. Les arbitres seront nommés:

Par jugement;

Par acte notarié;

Par acte sous signature privée;

Ou par acte passé devant l'Auditeur de l'arrondissement ou le Maire de la commune, en la forme des transactions conciliatoires.

第338条 仲裁人は、つぎの方法で選任される。

判決により、

公正証書により、

私署証書により、

または勧解手続において、郡の法務官または市長の前で作成された証書により。

ART.339. Les arbitres seront nommés au nombre trois, à moins que les parties ne conviennent d'un autre nombre impair.

第339条 仲裁人は、三人選任される。ただし、当事者が別の奇数人につき合意する場合はこの限りでない。

ART.340. Dans le cas de l'arbitrage forcé, si les parties ne s'accordent sur le choix, les arbitres seront nommés d'office par le tribunal qui aurait connu de la contestation au défaut d'arbitrage.

第340条 強制仲裁の場合に、その選定につき当事者間に合意がないときは、仲裁人は、仲裁がなければ当該争訟につき管轄権限を有する裁判所により職権で選任される。

ART.341. Les objets soumis à la décision des arbitres seront désignés dans l'acte de nomination.

第341条 仲裁人の裁定に付託される事項は、選任書に表示される。

ART.342. L'acceptation des arbitres sera constatée par écrit.

Elle pourra l'être par leurs signatures à la suite de l'acte de nomination.

第342条 仲裁人の受諾は、書面により確認される。

それは、選任書の末尾における彼らの署名によりなされうる。

ART.343. Les arbitres ne pourront être révoqués que du consentement unanime des parties.

第343条 仲裁人は、当事者全員の合意によってのみ解任されうる。

ART.344. Les arbitres pourront être récusés pour cause survenue depuis la nomination.

Ils ne pourront l'être que pour une cause antérieure, à moins qu'ils n'aient été nommés d'office (Art.340).

第344条 仲裁人は、その選任後に生じた予見不能の原因を理由に、忌避されうる。

[選任] 前の原因についてのみ前項と同様である。ただし、職権で選任された場合は(第340条)この限りでない。

ART.345. Les causes de récusation seront les mêmes que pour les Juges.

Elles seront jugées dans la même forme par le tribunal indiqué en l'art.340.

第345条 忌避理由は、裁判官のそれと同様である。

それは、第340条で示された裁判所により、同様の手続で裁判される。

### SECTION III De l'instruction devant les arbitres.

#### 第3節 仲裁人の面前における審理

ART.346. Les parties remettront aux arbitres leurs pièces et mémoires

dans le délai dont elles seront convenues, et à défaut de convention sur ce point, dans le délai qui sera déterminé par les arbitres eux-mêmes.

Ce délai expiré, les arbitres jugeront sur les seuls mémoires et pièces qui leur auront été remis.

第346条 当事者は、その合意した期間内に、またこの点について合意がない場合は、仲裁人自身により決められた期間内に、その申立理由書および書証を仲裁人に提出する。

この期間が満了すれば、仲裁人は、その提出された申立理由書および書証だけに基づいて判断する。

ART.347. Toute ordonnance préparatoire ou d'instruction, rendue par les arbitres, sera exécutoire sans autre formalité, à l'égard des parties présentes, à dater de sa prononciation, et à l'égard des parties non présentes, à dater du jour où la copie leur en sera transmise par les arbitres.

第347条 仲裁人によりなされる準備または審理命令は、出席した当事者に対しては、その言渡しから、また出席しなかった当事者に対しては、その謄本が仲裁人によりこれらの者に伝達された日から、当然に執行力を有する。

ART.348. Les mesures d'instruction se feront dans la forme et le délai fixés par l'acte de nomination, et, à défaut, par les arbitres.

第348条 証拠調べは、選任書により、それがない場合は仲裁人により定められた方法と期間内で行われる。

ART.349. Lorsqu'il y aura lieu au serment d'une partie, d'un témoin ou d'un expert, ce serment sera reçu par un Auditeur en présence des arbitres, dans la forme des art.174, 194, 221 et 222.

第349条 当事者、証人または鑑定人の宣誓が必要なときは、この宣誓は、第174条、第194条、第221条および第222条の方式で、仲裁人の出席のもとに、法務官により受理される。

SECTION IV Du jugement arbitral.

第4節 仲裁判断

ART.350. Tout jugement arbitral contiendra:

La désignation des parties;

Leurs conclusions;

La décision et les motifs.

Il sera daté et signé par les arbitres.

第350条 仲裁判断には、つぎの事項が含まれる。

当事者の表示、

これらの者の主張書面、

仲裁判断およびその理由。

それは、仲裁人により日付が入れられ、署名される。

ART.351. Il suffira de la signature de la majorité des arbitres:

Si cette majorité est autorisée à prononcer en l'absence des autres arbitres;

Si la minorité présente refuse de signer.

Ce refus sera constaté par les arbitres qui signeront.

第351条 つぎの場合には、仲裁人の過半数の署名で十分である。

この過半数 [の仲裁人] が、他の仲裁人の欠席の場合に [仲裁判断を] 言い渡す権限を与えられているとき、

出席した少数 [の仲裁人] が、署名を拒絶したとき。

この拒絶は、署名する仲裁人により認証される。

ART.352. Le jugement arbitral sera déposé par l'un des arbitres au greffe du tribunal qui aurait connu de la contestation, s'il n'y avait pas eu arbitrage.

L'acte de dépôt, écrit au bas ou en marge du jugement, sera signé par le déposant et le Greffier.

第352条 仲裁判断は、仲裁人の一人により、仮に仲裁がなかったならば、当該争訟につき管轄権限を有する裁判所の書記課に寄託される。

仲裁判断の下部または欄外に記載された寄託証書は、寄託者および書記官により署名される。

ART.353. Le jugement arbitral, qui ne sera pas déposé dans les dix jours de sa date, sera réputé non avenu, à moins que les parties n'aient commencé à l'exécuter ou qu'elles n'y aient donné leur acquiescement de l'une des manières indiquées en l'art.338.

第353条 仲裁判断は、その日付から10日以内に寄託されない場合は、無効とみなされる。ただし、当事者が既にその執行を開始していたとき、または第338条に列挙された方法の一つでそれに同意していた場合は、この限りでない。

ART.354. Seront déposés en même temps que le jugement arbitral:

L'acte de nomination des arbitres;

Les ordonnances et les actes d'instruction.

第354条 つぎのものが、仲裁判断と同時に寄託される。

仲裁人選定書、

審理命令および審理記録。

ART.355. Le jugement arbitral sera rendu exécutoire en vertu d'une ordonnance du Président du tribunal au greffe duquel il aura été déposé (Art.352).

Cette ordonnance sera mise au bas ou en marge de la minute, et transcrite sur l'expédition.

第355条 仲裁判断は、それが寄託された書記課（第352条）の裁判所長の命令により、執行力が付与される。

この命令は、その原本の下部または欄外に書き込まれ、その正本に書き写される。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.356. Le jugement arbitral revêtu de l'ordonnance d'exécution, sera assimilé, quant à ses effets, aux jugements rendus par les tribunaux.

Il sera exécuté par les mêmes voies.

第356条 執行命令が付された仲裁判断は、その効力において、裁判所によりなされた判決と同一である。

それは、[判決と] 同様の方法で執行される。

SECTION V Des voies de recours contre le jugement arbitral.

第5節 仲裁判断に対する不服申立て

ART.357. Un jugement arbitral ne sera, en aucun cas, sujet à l'opposition pour défaut (Tit.XI).

第357条 仲裁判断は、いかなる場合でも、欠席判決に対する故障申立て（第11編）の対象とはならない。

ART.358. L'acte qualifié jugement arbitral pourra être attaqué de nullité:

1° Si ceux, qui l'ont rendu, n'ont reçu aucune mission des parties;

2° Si les arbitres ont prononcé depuis l'expiration de l'arbitrage (Section VI ci-après);

3° Si la décision a porté sur des points qui ne leur étaient pas soumis;

4° Si le prétendu jugement n'a été rendu que par quelques-uns des arbitres non autorisés à juger en l'absence des autres;

5° S'il s'agit de cas où la Loi interdit l'arbitrage (Art.337).

La demande en nullité sera formée par un exploit d'ajournement, contenant opposition à l'ordonnance d'exécution.

第358条 仲裁判断と称される行為は、つぎの場合には無効として不服申立てがなされうる。

1 それを下した者が、当事者からいかなる付託も受けていなかったとき、

2 仲裁人が、仲裁の満了後（後記第6節）に言い渡したとき、

3 その裁定が、仲裁人に付託されていない事項についてもたらされたとき、

4 判断と称されるものが、他の仲裁人の欠席の場合には判断する権限を与えられていない仲裁人の何人かによってのみ下されたとき、

5 それが法律により仲裁が禁止されている場合（第337条）に該当するとき。

無効請求は、執行命令に対する異議申立てを含んだ、呼出状によりなされる。

ART.359. Les jugements arbitraux pourront être attaqués par la voie de la révision dans les cas, les délais et la forme fixés au Titre XXII.

第359条 仲裁判断は、第22編に定められている場合に、その期間内および方法で、訂正請求により異議を申し立てられうる。

ART.360. La demande en nullité (Art.358) et celle en révision (Art.359) seront portées devant le tribunal désigné dans l'art.352 pour le dépôt du jugement arbitral.

第360条 無効請求（第358条）および訂正請求（第359条）は、第352条で仲裁判断の寄託について定められた裁判所に提起される。

ART.361. L'appel à la Cour de justice civile (Tit. XXIII) ne sera point admis contre un jugement arbitral sur une contestation qui, portée devant les tribunaux inférieurs, eût été jugée en dernier ressort.

第361条 民事上級裁判所への上訴（第23編）は、仮に下級裁判所に提起されたなら、終審として裁判される争訟についての仲裁判断に対しては、認められない。

ART.362. Dans les autres cas, l'appel ne sera recevable qu'autant que la faculté en aura été expressément réservée par l'acte de nomination des arbitres.



1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第362条 その他の場合は、上訴は、その権能が仲裁人の選定書により明示的に留保されていた場合に限り、受理されうる。

ART.363. Nonobstant les dispositions ci-dessus et toute renonciation contraire, le jugement arbitral sera toujours susceptible d'appel quant à l'application de la contrainte par corps (Art.304, n° 4, et 325).

第363条 上記諸規定およびその反対解釈にもかかわらず、[債務者の] 身体拘束の執行（第304条4号および第325条）についての仲裁判断に対しては、常に上訴可能である。

ART.364. L'appel des jugements arbitraux sera interjeté et jugé dans le délai et la forme du Titre XXIII.

Toutefois les parties pourront restreindre, par l'acte de nomination des arbitres, les délai de trois mois fixé pour l'appel (Art.308).

第364条 仲裁判断に対する上訴は、第23編の期間内および方式により、提起され、裁判される。

ただし、当事者は、仲裁人の選定書において、上訴のために定められている3ヶ月の期間（第308条）を縮減することができる。

SECTION VI De l'expiration de l'arbitrage.

第6節 仲裁の満了

ART.365. La mission des arbitres cessera par la prononciation du jugement arbitral.

第365条 仲裁人の任務は、仲裁判断の言渡しにより終了する。

ART.366. L'arbitrage prendra encore fin, sauf stipulation contraire:

1° Par l'expiration du délai fixé dans l'acte de nomination, ou, à défaut de fixation, par l'expiration du délai de trois mois dès la date de cet acte;

2° Par la révocation des arbitres du consentement unanime des parties (Art.343);

3° Par le décès, la récusation, la démission ou l'empêchement de l'un d'eux;

4° Par le décès de l'une des parties, si l'arbitrage n'est pas forcé (Art. 336).

第366条 さらに、仲裁は、反対の約定がない限り、つぎの事由によっても終了する。

- 1 選任書で定められた期間の満了により、または定めがない場合は、この選任書の日付から3ヶ月の期間の満了により、
- 2 当事者全員の合意による仲裁人の解任（第343条）により、
- 3 仲裁人の一人の死亡、忌避、辞任または差支えにより、
- 4 仲裁が強制的（第336条）でないときは、当事者の一人の死亡により。

ART.367. Les arbitres qui, après avoir accepté leur mission (Art.342) et sans juste motif, se démettraient ou n'auraient pas prononcé dans le délai de l'arbitrage, seront condamnés aux dommages-intérêts des parties.

第367条 その任務を受諾（第342条）した後、正当な理由なく、辞任しまたは仲裁期間内に言渡しをしなかった仲裁人は、当事者に対する損害賠償の責めに任ずる。

## TITRE XXV DES ACTES ASSIMILÉS AUX JUGEMENTS

### 第25編 判決と同一の〔効力を有する公証人〕証書

ART.368. Les actes, passés devant les Notaires du Canton, seront assimilés, quant à l'exécution forcée, aux jugements en dernier ressort.

第368条 州の公証人のもとで作成された証書は、強制執行については、終審としての判決と同一の効力を有する。

ART.369. Toutefois, dans le cas où il y aurait instance pendante en

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

nullité, rescision ou faux, les Juges pourront, suivant les circonstances:

1° N'autoriser l'exécution de l'acte qu'avec caution;

2° En surseoir l'exécution, avec ou sans caution de la part de celui qui attaquera l'acte.

第369条 ただし、無効、取消または偽造を理由とする係属中の訴訟があるときは、裁判官は、事情により、つぎの裁判をなすことができる。

1 保証人 [の提供] と共にのみ証書の執行を許可すること、

2 証書に対して異議を申し立てる側の保証人 [の提供] と共にまたはそれなしで、その執行を延期すること。

ART.370. Les expéditions exécutoires des actes notariés seront revêtues de la même formule que celle des jugements (Art.110).

第370条 公正証書の執行正本には、判決と同様の執行文（第110条）が付与される。

ART.371. Seront observés, relativement auxdites expéditions, les articles 110 et 111.

Une nouvelle expédition exécutoire ne sera délivrée à la même partie qu'en vertu d'ordonnance du Président du Tribunal civil et que conformément à l'art.112 (Art.764).

第371条 前記正本については、第110条および第111条が準用される。

新たな執行正本は、同一の当事者に対しては、民事裁判所長の命令により、かつ第112条に従ってのみ、交付される（第764条）。

ART.372. Les Notaires ne pourront, sans l'ordonnance du Président du Tribunal civil, délivrer expédition ou copie, ni donner connaissance des actes à d'autres qu'aux parties, leurs héritiers ou ayants droit (Art. 764).

第372条 公証人は、民事裁判所長の命令なしには、当事者、その相続人または権利承継人以外の者に、証書の正本または謄本を交付することも、その

内容を通知することもできない（第764条）。

ART.373. Les dispositions de l'art.368 seront étendues aux actes émanant des autorités administratives, auxquels la Loi aura accordé la force de jugements ou d'actes notariés.

Celles de l'art.369 seront étendues aux cas où lesdits actes seraient attaqués par quelque voie légale.

第373条 第368条の規定は、法律が判決または公正証書の効力を付与した、行政機関から発せられる証書にも準用される。

第369条の規定は、上記証書が何らかの法的手段により異議を申し立てられている場合に準用される。

(強制執行編省略)

## TITRE XXXIII DISPOSITIONS GÉNÉRALES

### 第33編 一般規定

#### SECTION I Des délais.

##### 第1節 期間

ART.737. Les délais de procédure, fixés par jours, s'entendent de jours francs; ils ne comprendront ni le jour d'où ils partent, ni celui de l'échéance.

第737条 日をもって定められた手続上の期間は、全1日と解釈され、その初日および末日を含まない。

ART.738. Les délais fixés par mois ou par semaines, expireront au jour du mois ou de la semaine, correspondant à celui d'où ils partiront.

Le délai, qui partira du 29, 30 ou 31 d'un mois, et dont l'échéance tombera sur un mois n'ayant pas de jour correspondant, expirera au

dernier jour du mois.

第738条 週または月をもって定められた期間は、[最後の] 週または月においてその起算日に相当する日をもって満了する。

月の29日、30日または31日から起算し、その末日につき [最後の] 月に応当日がない期間は、その月の末日をもって満了する。

ART.739. Tout délai qui expirera un Dimanche ou un autre jour de fête légale, sera prorogé au jour suivant.

第739条 日曜日、その他の法定祝日に満了する期間は、翌日に延長される。

ART.740. Tout délai, qui partira de la signification d'un jugement (Art.113), courra contre la partie même à la requête de qui cette signification aura eu lieu.

第740条 判決の送達（第113条）から起算される期間は、その申請に基づいてこの送達がなされた当該当事者に対しては、その申請 [の日] から起算される。

ART.741. Les délais réglés par la Loi ne pourront être abrogés ni prorogés par les Juges hors les cas où la faculté leur en est expressément réservée.

第741条 法律に規定された期間は、その権能が裁判官に明示的に留保されている場合を除いて、裁判官により、廃止されることも延長されることもできない。

ART.742. L'expiration du délai, accordé par la Loi pour l'exercice d'un droit, entraînera la déchéance.

第742条 法律により権利行使のために付与された期間の満了は、その失権をもたらす。

ART.743. Toutefois ledit délai sera suspendu par le décès de la partie.

Il ne reprendra son cours contre ses héritiers qu'à compter de l'expiration des délais pour faire inventaire et délibérer.

第743条 ただし、上記期間は、当事者の死亡により停止される。

その相続人に対しては、財産調査をし検討する期間の満了からのみ、その進行が再開される。

ART.744. Les délais, laissés à la discrétion des Juges, devront être du temps strictement nécessaire à l'objet pour lequel ils seront obtenus.

Ils ne seront point prorogés sans juste motif.

第744条 裁判官の裁量に委ねられた期間は、それが付与される目的に見合った時間である必要がある。

それは、正当な理由なく延長されえない。

## SECTION II Des nullités.

### 第2節 無効

ART.745. Sera annulé, sous les conditions ci-après (Art.746 à 748), tout acte de procédure fait en contravention à la présente Loi:

1° S'il émane d'un magistrat ou officier judiciaire incompetent;

2° Si la contravention a causé à la partie qui l'oppose un préjudice qui ne soit réparable qu'en annulant l'acte;

3° Si la nullité en est formellement prononcée par la Loi.

第745条 つぎの場合には、本法に違反してなされた訴訟行為は、後記要件（第746条～第748条）のもとに、無効とされる。

1 それが、管轄権限のない司法官または司法補助吏によりなされたとき、

2 その違反が、それに異議を申し立てる当事者に、その行為を無効とすることによってのみ回復可能な損害を、引き起こしたとき、

3 その無効が、法律により明示されているとき。

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

ART.746. La nullité ne pourra être prononcée qu'à la demande de la partie en faveur de laquelle la Loi l'aura admise, ou qui aura un intérêt à l'opposer, sauf le cas du défaut (Art.133, n° 1).

第746条 無効は、欠席の場合（第133条1号）を除いて、法律により認められた、またはその行為に異議を申し立てる利益を有する、その当事者の請求によってのみ、言い渡されうる。

ART.747. La demande en nullité d'un acte de procédure cessera d'être recevable:

1° Si la partie, qui oppose la nullité, a laissé sciemment procéder sur cet acte;

2° Si, la Loi ayant limité le délai de la demande en nullité, ce délai est expiré (Art.564, 619 et 620).

第747条 訴訟行為の無効請求は、つぎの場合には、受理されなくなる。

1 無効を主張する当事者が、それを知りながら、この行為に基づき手続を行わせたとき〔責問権の喪失〕、

2 法律が無効請求の期間を限定している場合に、この期間が満了したとき（第564条、第619条および第620条）。

ART.748. Une procédure ne pourra être annulée qu'à partir de l'acte qui aura donné lieu à la nullité.

第748条 訴訟手続は、無効の原因となった行為から以降についてだけ、無効とされうる。

ART.749. Lorsqu'un acte de procédure contiendra une contravention, qui n'entraînerait pas nullité, il sera réparé par un acte postérieur, si la partie le requiert et y a intérêt.

第749条 訴訟行為が、無効を来さない〔法律〕違反を含んでいるときは、当事者がそれを要望しかつその利益があれば、その後の行為により改められる。

SECTION III Des peines contre les parties.

第3節 当事者に対する制裁

ART.750. Celui, qui dirigera plusieurs instances, soit contre le même débiteur, soit contre plusieurs codébiteurs, dans un cas où une seule aurait suffi, sera tenu de l'excédant de dépens qu'il aura par là occasionné.

Il en sera de même dans le cas de cumulation de poursuites, prévu par l'art.407.

第750条 一つの訴訟で十分な場合に、同じ債務者に対してであれ、複数の共同債務者に対してであれ、複数の訴訟を提起する者は、それによって生じた訴訟費用の超過分を負担しなければならない。

第407条に定められた執行申立ての競合の場合も、それと同様である。

ART.751. Seront condamnés aux dommages-intérêts envers les parties lésées et à l'amende:

1° Celui qui, sur un faux exposé, se serait fait autoriser à l'une des mesures provisionnelles décrites dans le Titre II;

2° Celui qui capterait des délais sur de faux motifs;

3° Celui qui, pour fonder sa demande ou sa défense, aurait recours à des allégations ou dénégations mensongères, à des imputations calomnieuses, ou à tous autres moyens de mauvaise foi;

4° Celui qui, sans légitime fondement, formerait une demande en intervention (Tit.XX), eu interprétation ou révision (Tit.XXII), ou émettrait appel d'un jugement en dernier ressort (Art.304);

5° Celui dont l'appel, dans tout autre cas, serait jugé téméraire;

6° Celui qui, en vertu de jugements ou d'actes éteints par le paiement ou toute autre voie de droit, aurait fait procéder à exécution sur la personne ou sur les biens de son prétendu débiteur;

7° Celui qui, au mépris de jugements ou d'ordonnances, enfreindrait les défenses à lui faites, ou ne satisferait pas aux restitutions de meubles



ou d'immeubles en sa possession;

8° Celui qui soustrairait ou tenterait de soustraire ses biens à l'exécution forcée, ou qui, de toute autre manière, chercherait à éluder ou à paralyser cette exécution.

第751条 つぎの者は、権利を害された当事者に対する損害賠償および罰金を科される。

1 虚偽の説明により、第2編に規定された仮の措置の一つを許可させた者、

2 虚偽の理由により、猶予期間を得た者、

3 その請求または抗弁を理由付けるため、偽りの主張または否認、中傷的非難その他の虚偽的手段を弄した者、

4 正当な根拠なく、参加請求（第20編）、解釈もしくは訂正請求（第22編）をし、または終審としての判決に対して上訴（第304条）した者、

5 その他の場合に、その上訴が軽率と判示された者、

6 弁済その他の正当な方法により〔債務が〕消滅した判決または証書により、その債務者とされる者の身体または財産上に執行を実施させた者、

7 判決または命令を無視して、この者に対してなされた禁止に違反し、またはその占有する動産もしくは不動産の返還に応じない者、

8 その財産を強制執行から免脱させまたはさせようとし、またはその他の方法で、この執行を回避しもしくは不能にしようとした者。

ART.752. Les tiers qui, par des oppositions ou revendications non fondées, entraveraient ou concourraient à entraver l'exécution des jugements ou des autres actes exécutoires, seront condamnés aux dommages-intérêts des parties lésées.

Il seront condamnés à l'amende, s'il y a mauvaise foi ou connivence avec le débiteur.

第752条 根拠のない異議申立てまたは取戻請求により、判決その他の執行証書による執行を妨げまたは妨げることに加担した第三者は、権利を害された当事者の損害賠償を科される。

これらの者は、悪意または債務者との共謀があるときは、罰金が科される。

ART.753. L'amende n'excédera pas:

Cinquante florins si elle est prononcée par le Président du tribunal civil;

Deux cent cinquante florins dans les cas où les autres tribunaux inférieurs jugent en dernier ressort;

Mille florins dans les autres cas.

第753条 罰金は、つぎの額を超えない。

それが民事裁判所長により言い渡されるときは、50フローリン、  
その他の下級裁判所が終審として裁判する場合は、250フローリン、  
その他の場合は、1000フローリン。

ART.754. Les dommages-intérêts devront toujours comprendre une pleine indemnité (Art.121 et 688, n° 1).

第754条 損害賠償は、常に十分な賠償金を含むものでなければならない  
(第121条および第688条1号)。

ART.755. En cas de concurrence sur les biens de la partie condamnée, entre l'amende et les dommages-intérêts, ceux-ci seront payés par préférence.

第755条 敗訴当事者の財産に対して、罰金と損害賠償が競合する場合は、  
後者が優先的に支払われる。

ART.756. Indépendamment des peines ci-dessus, si les plaidoyers ou les écrits produits au procès, contiennent des imputations calomnieuses ou injurieuses, les Juges pourront ordonner la suppression desdits écrits, et, au besoin, l'impression et l'affiche de leur jugement, sans préjudice de la voie criminelle lorsqu'elle aura été réservée aux parties ou que lesdites imputations concerneront des tiers.

## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第756条 前記制裁とは別に、弁論〔調書〕または訴訟に提出された書面に、中傷的または誹謗的な非難が含まれているときは、裁判官は、上記書面の除去を命じ、また必要があれば、それが当事者に留保されているかまたは上記非難が第三者に関するものであるときは、刑事的手段を損なうことなく、その裁判の印刷および公示を命じることができる。

ART.757. Les peines, portées dans les articles précédents, seront prononcées, sur la réquisition des parties intéressées, par le tribunal saisi de la cause.

L'amende pourra aussi être prononcée, sur la réquisition du ministère public et même d'office par le tribunal.

Les peines de l'art.756 seront toujours prononcées en premier ressort par les tribunaux inférieurs.

第757条 前数条で規定されている制裁は、利害関係を有する当事者の請求に基づき、訴訟事件が提起されている裁判所により、言い渡される。

罰金は、検察官の請求または裁判所の職権によっても、言い渡されうる。

第756条の制裁は、常に下級裁判所により第一審として言い渡される。

## SECTION IV Des peines contre les officiers judiciaires.

### 第4節 司法補助吏に対する制裁

ART.758. Dans le cas de l'art.750, les tribunaux pourront, suivant les circonstances, mettre les frais occasionnés par la cumulation des instances ou des poursuites, à la charge des Procureurs ou des huissiers qui les auront dirigées.

第758条 第750条の場合に、裁判所は、事情により、訴訟または執行申立ての競合により生じた費用を、そのように導いた代訴士または執行吏の負担にすることができる。

ART.759. Dans les cas prévus par les art.751 et 756, si le Procureur

est l'auteur du faux exposé, des imputations calomnieuses ou injurieuses, ou s'il y a coopéré sciemment, il sera condamné, suivant les circonstances, seul ou solidairement avec son client, aux peines prononcées par ces articles.

第759条 第751条および第756条に規定された場合に、代訴士が虚偽の説明、中傷的もしくは誹謗的非難の張本人であるとき、または事情を知りながらそれに加担したときは、代訴士は、事情により、単独でまたは依頼人と連帯して、これらの条文に規定された制裁を科される。

ART.760. Les procédures et les actes, annulés ou frustratoires, seront à la charge des Greffiers, Procureurs ou huissiers qui les auront faits.

Il en sera de même des actes faits en réparation de procédures dans le cas de l'art.749.

第760条 無効または不用な訴訟行為は、それを行った書記官、代訴士または執行吏の〔費用〕負担となる。

第749条の場合で手続のやり直しとしてなされた行為についても、これと同様である。

ART.761. Seront condamnés aux dommages-intérêts envers les parties lésées et à l'amende:

1° Les Greffiers, Procureurs et huissiers qui auraient fait un acte déclaré nul (Art.745);

2° Les Procureurs qui, par négligence ou de concert, retarderaient l'instruction des procès et en différeraient l'issue;

3° Ceux qui ne restitueraient pas au terme fixé les pièces reçues en communication (Art.82 et 94);

4° Les Procureurs et les huissiers contre lesquels un désaveu aurait été admis (Art.283).

L'amende n'excédera pas cinq cents florins dans les trois premiers cas et mille florins dans le dernier.

1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

第761条 つぎの者は、権利を害された当事者に対する損害賠償および罰金を科される。

- 1 無効とされた行為（第745条）を行った書記官、代訴士または執行吏、
- 2 不注意でまたは協同して、訴訟の審理を遅らせその解決を引き延ばせた代訴士、
- 3 伝達により受け取った書類（第82条および第94条）を定められた期間内に返却しなかった代訴士、
- 4 否認（第283条）が認められた [その対象となる行為をした] 代訴士および執行吏。

罰金は、最初の三つの場合には500フローリンを、最後の場合は1000フローリンを越えない。

ART.762. Les Greffiers, Procureurs et huissiers, qui contreviendraient ou ne se conformeraient pas aux dispositions de la présente Loi, pourront être condamnés, pour chaque contravention, lors même qu'elle n'entraînerait pas nullité, à une amende de deux cent cinquante florins au plus.

第762条 本法の諸規定に違反しまたは従わない書記官、代訴士または執行吏は、各違反につき、それが無効とはならない場合であっても、最高250フローリンの罰金を科せられうる。

ART.763. Cette amende pourra être doublée:

- 1° Contre les huissiers dans le cas de l'art.56;
- 2° Contre les Greffiers dans le cas de l'art.112;
- 3° En cas de récidive dans l'année.

第763条 この罰金は、つぎの場合には、2倍になりうる。

- 1 第56条の場合における執行吏に対し、
- 2 第112条の場合における書記官に対し、
- 3 一年内に再び同じ過ちを犯した場合。

ART.764. Les peines prononcées, par les deux articles précédents, seront appliquées aux Notaires, pour contravention de leur part aux articles 371 et 372.

第764条 前2箇条により言い渡される制裁は、その関与による第371条および第372条違反につき、公証人に準用される。

ART.765. Dans le cas de contravention à l'art.704, le geôlier sera tenu solidairement avec l'huissier des peines de l'art.761, et dans celui de contravention à l'art.724, il sera soumis aux peines des art.762 et 763.

第765条 第704条違反の場合は、看守は、執行吏と連帯して第761条の制裁を科され、第724条違反の場合は、看守は第762条および第763条の制裁に服する。

ART.766. Sera nul, de plein droit, tout traité d'après lequel un Procureur, à titre de salaire ou autrement, aurait une part dans l'affaire où il occupe.

Le Procureur, qui aurait accepté un tel traité, sera en outre condamné à une amende qui n'excédera pas mille florins.

第766条 代訴士が、訴訟代理人となっている訴訟事件において、給与その他の名目で、分け前を得ることとなる契約は、当然に無効である。

そのような契約を受諾した代訴士は、さらに1000フローリンを越えない罰金を科される。

ART.767. Indépendamment des peines portées en la présente Section, les tribunaux, selon la gravité des circonstances, pourront prononcer ou provoquer, contre les Officiers judiciaires, la censure, la suspension ou l'exclusion de leurs fonctions, en se conformant aux dispositions de la Loi sur l'organisation judiciaire.

第767条 前節に規定された制裁とは別に、裁判所は、事情の重大性に応じて、司法補助吏に対し、司法組織法の諸規定に従い、その職務の禁止、停止

## 1819年のジュネーヴ民事訴訟法(1)

または解任を言い渡しまたは指示することができる。

ART.768. Toutes lesdites peines seront appliquées conformément à ce qui est prescrit par l'art.757, l'Officier judiciaire entendu ou appelé.

Elles ne seront jamais prononcées qu'en premier ressort par les tribunaux inférieurs.

第768条 前記制裁は、審尋されまたは呼び出される司法補助吏に対し、第757条に規定されているところに従い、適用される。

それらは、下級裁判所により第一審としてのみ言い渡される。

ART.769. Les dispositions ci-dessus seront étendues aux Avocats qui se trouveraient dans les cas prévus par les art.759, 761, n° 4, et 766.

第769条 上記諸規定は、第759条、第761条4号および第766条に規定された場合に該当する弁護士に準用される。

## SECTION V Du formulaire.

### 第5節 書式

ART.770. Le Conseil d'État fera dresser et imprimer, avec les blancs nécessaires et les directions pour les remplir, les formules des actes de procédure les plus usuels.

En marge ou au bas seront rappelées succinctement les dispositions dont la connaissance importera le plus aux parties.

第770条 コンセイユ・デタは、必要な白地とそれに必要事項を記入するための教示の付いた、最も一般的な訴訟行為の定型用紙を作成し印刷させる。

欄外または下部に、当事者にとって知っておくべき最も重要な諸規定が、簡潔に注記される。

ART.771. L'emploi de ces formules imprimées sera obligatoire (Articles 762 et 763).

第771条 この印刷された定型用紙の使用は義務的である（第762条および第763条）。